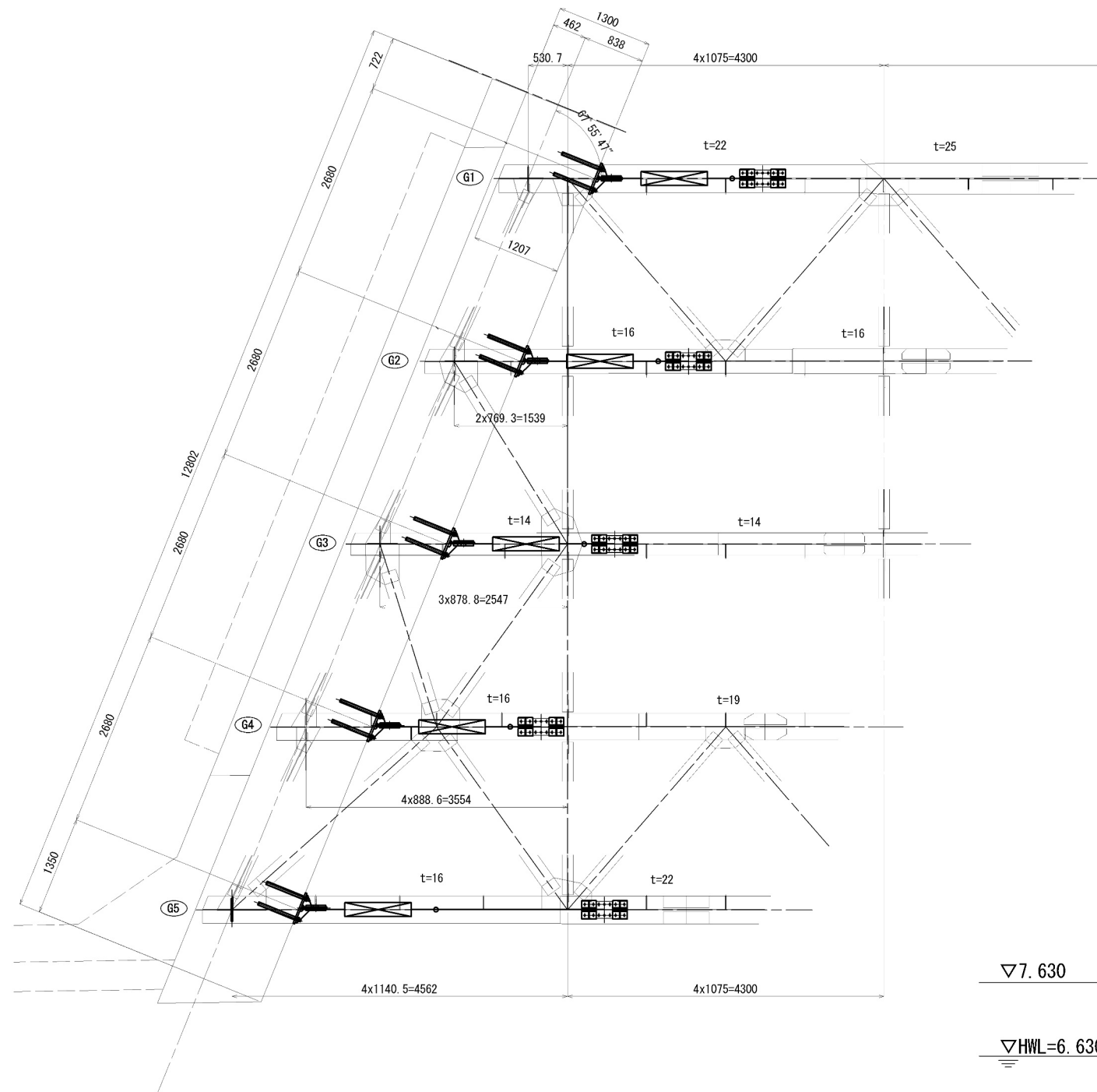
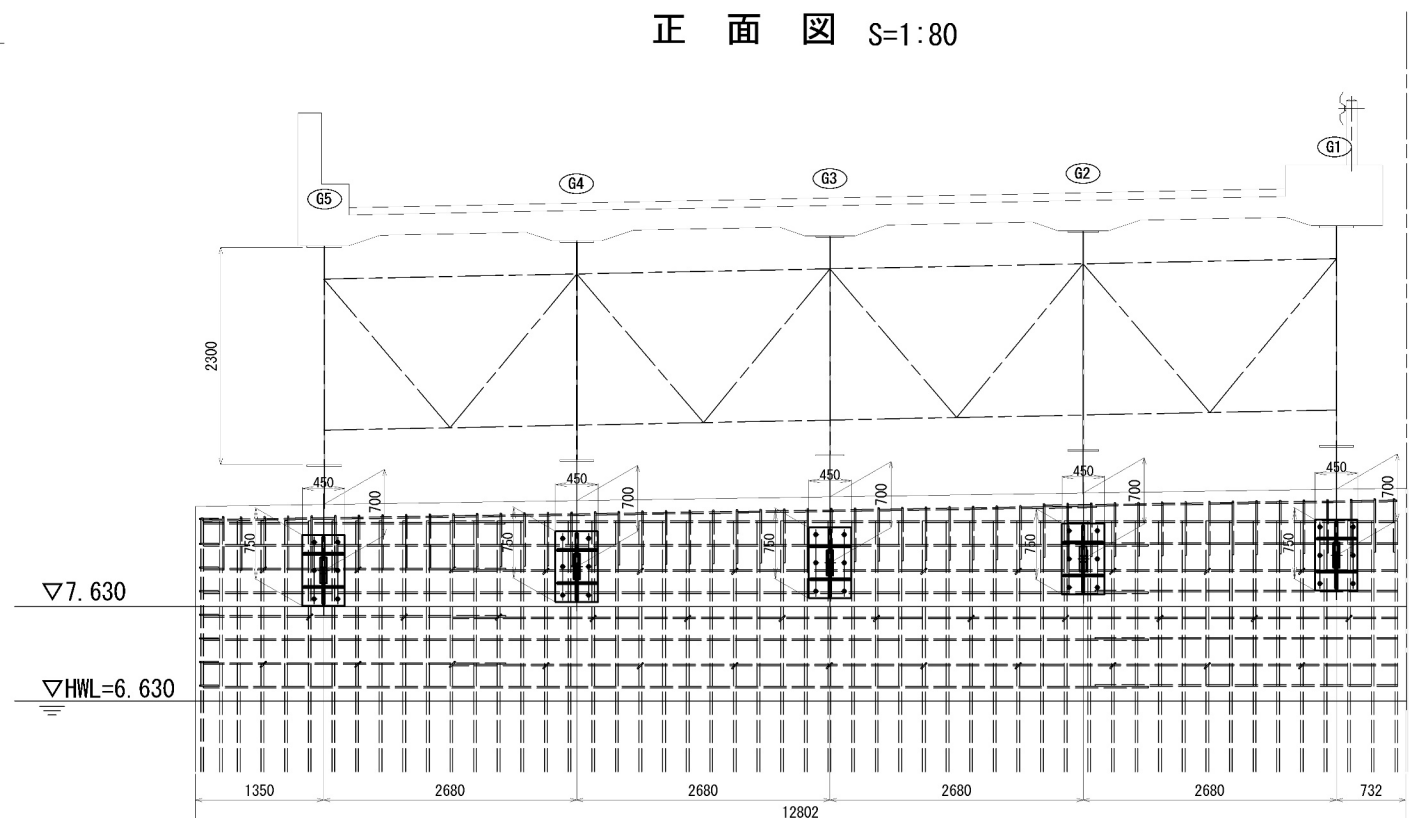


平面图 S=1:80



正 面 图 S=1:80



注)

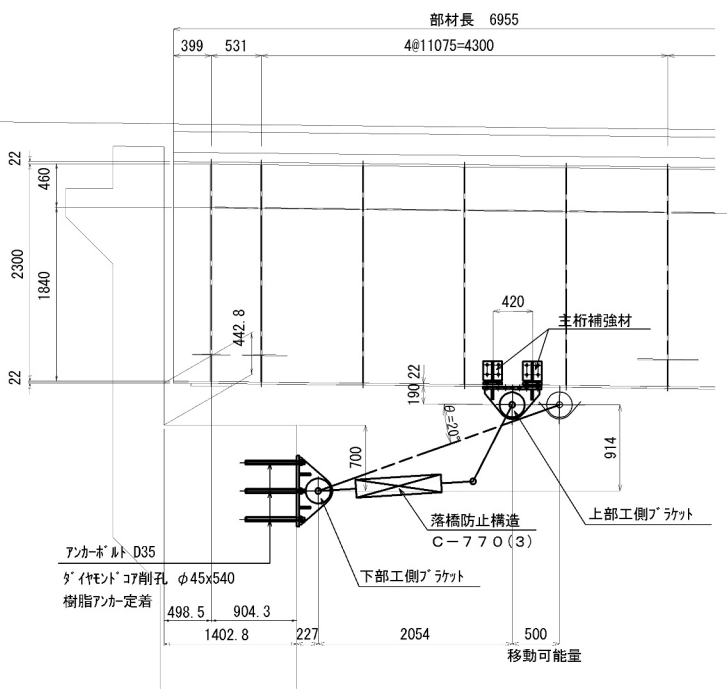
1. 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。

八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	A1橋台 落橋防止構造図 (その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

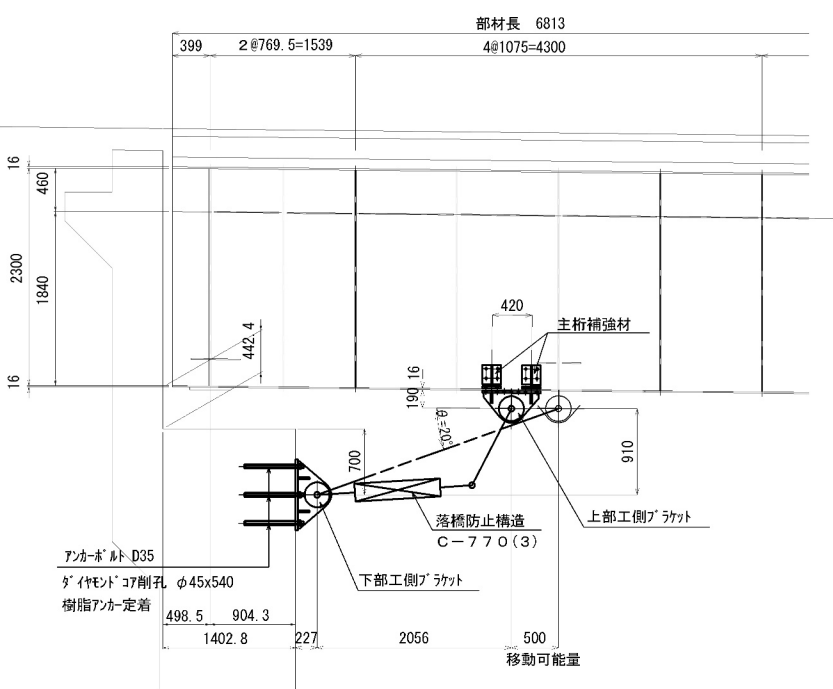
奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造図(その2)

上り線
G1-G4 C-770(3)、G5 C-790(11)
側面図 S=1:80

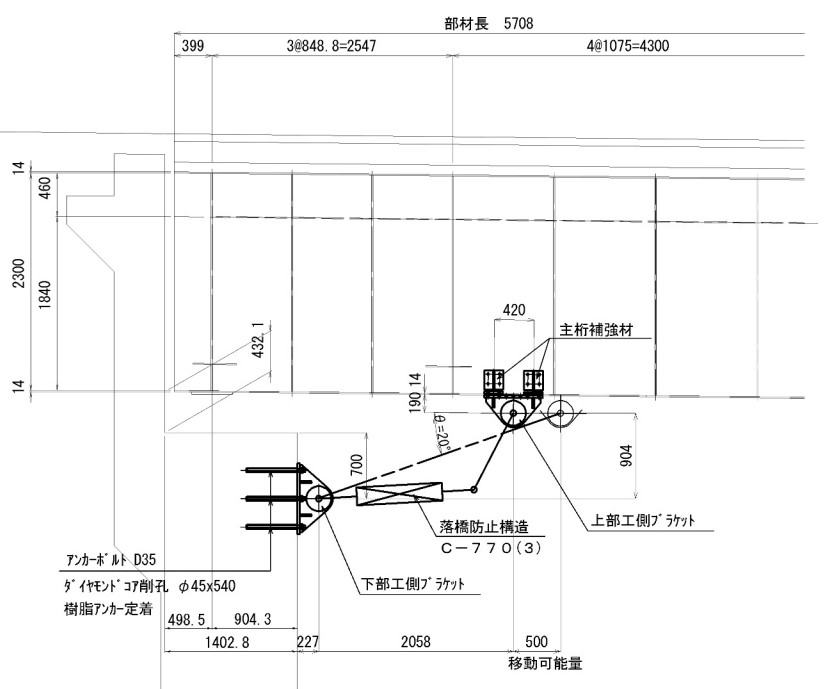
G 1 桁



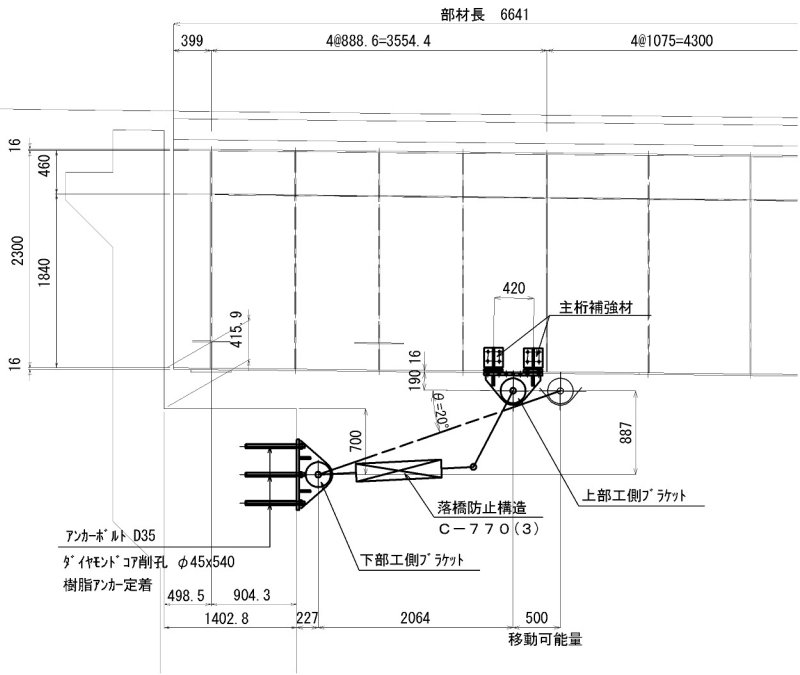
G 2 桁



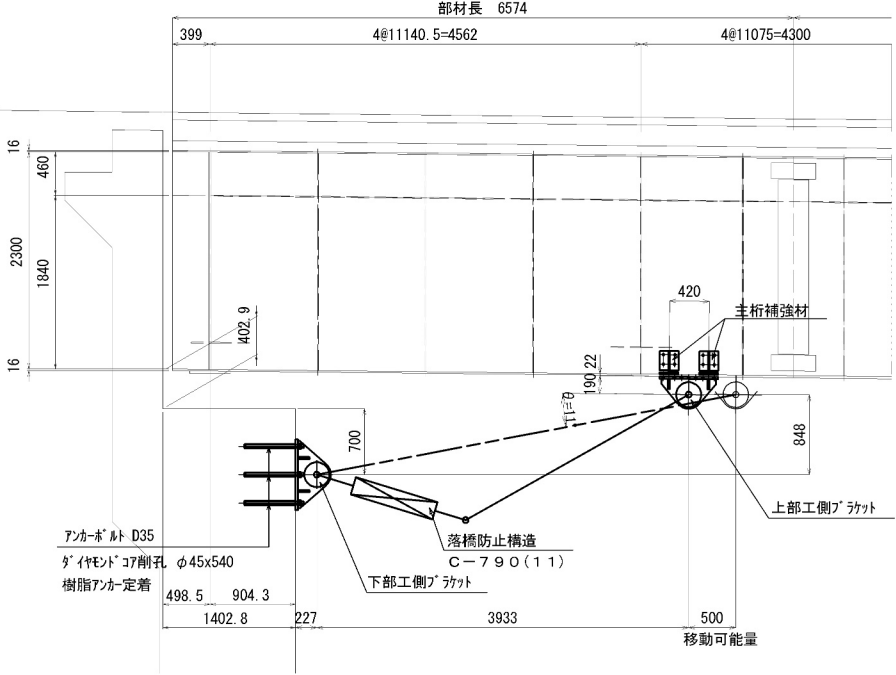
G 3 桁



G 4 桁



G 5 桁



注)
1. 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。

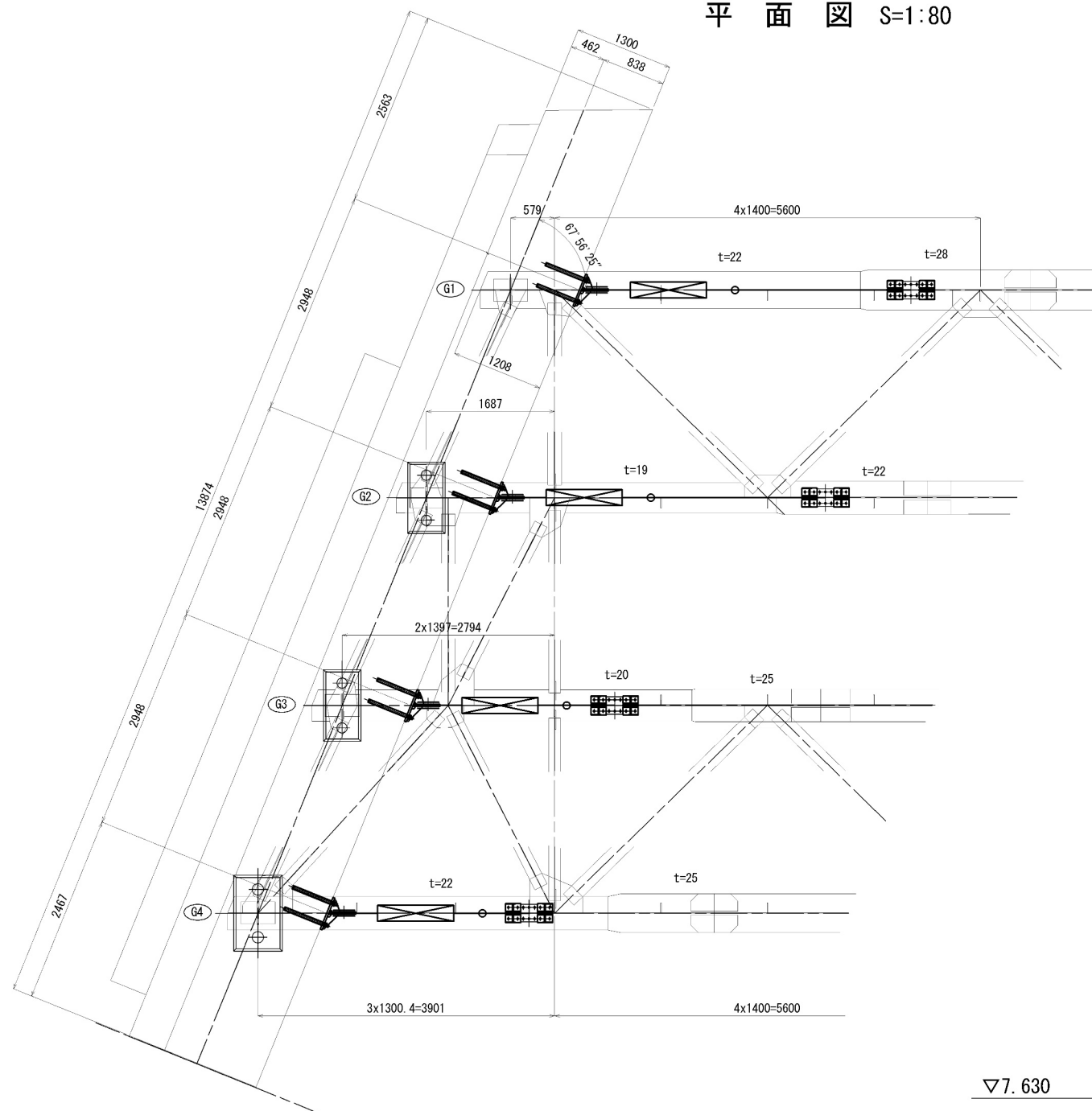
八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造図(その3)

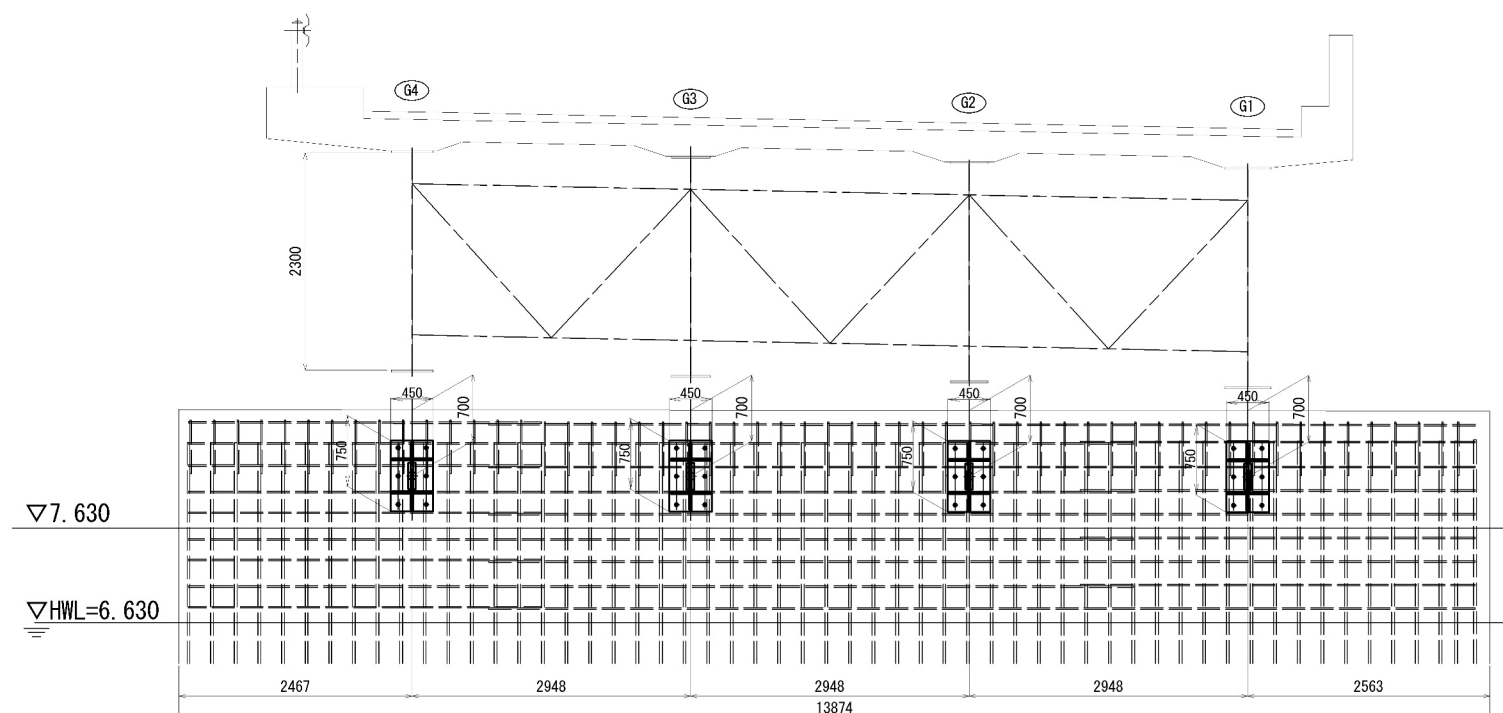
下り線

G1, G2 C-920(9)、G3, G4 C-920(3)

平面図 S=1:80



正面図 S=1:80



注)

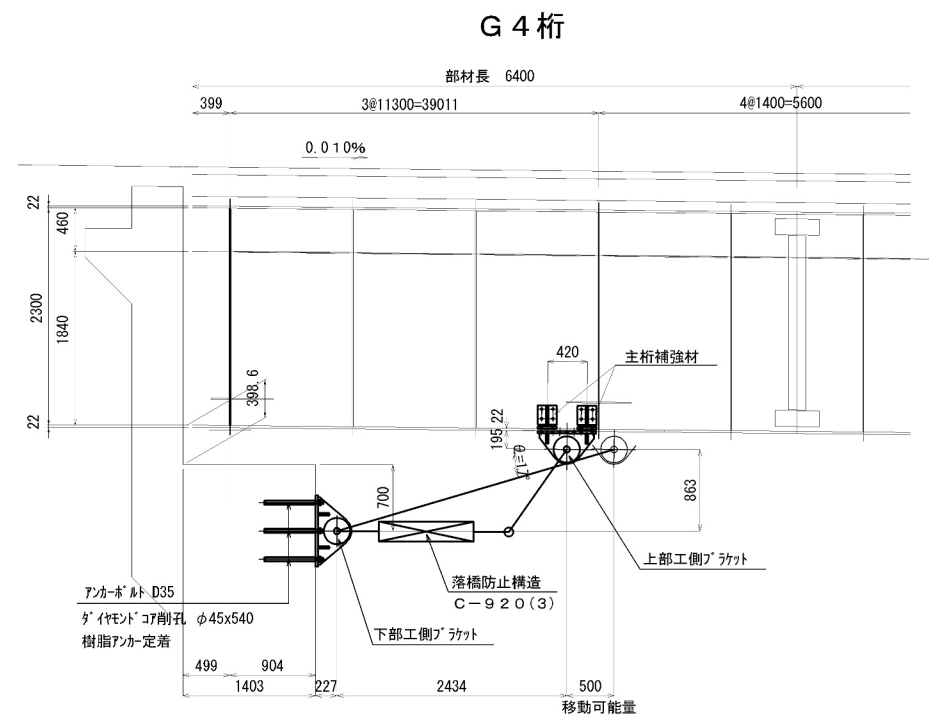
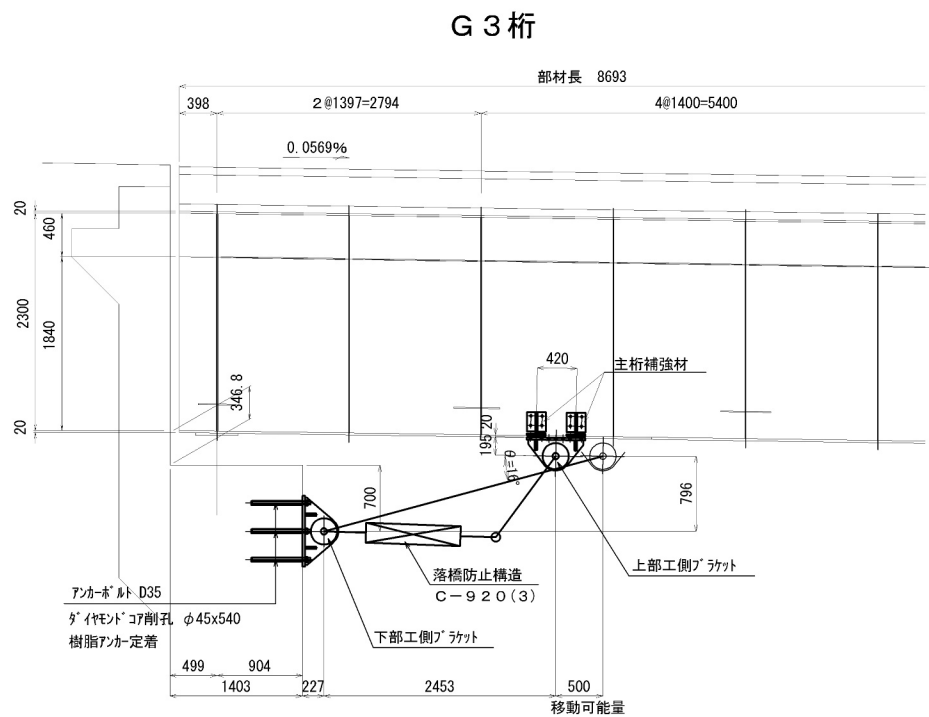
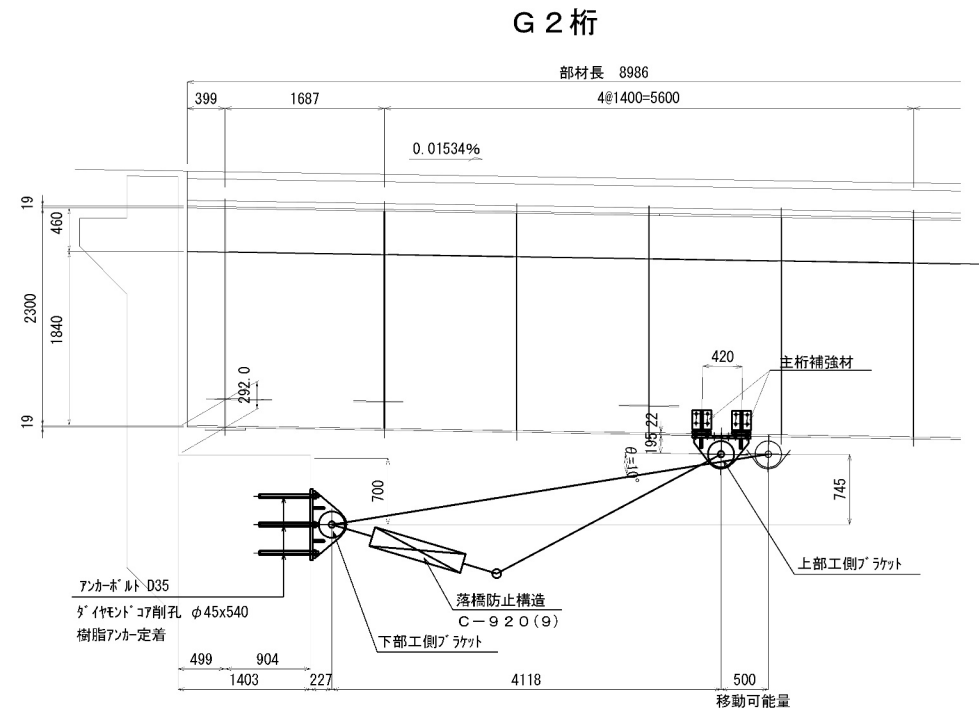
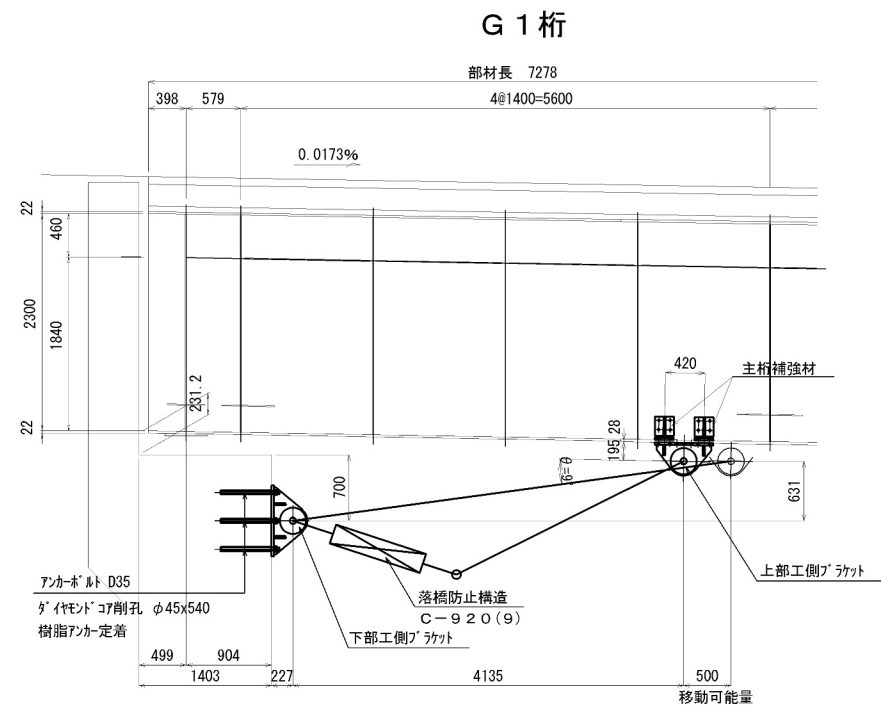
1. 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋		
	A1橋台 落橋防止構造図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造図(その4)

下り線
G1, G2 C-920(9)、G3, G4 C-920(3)

側面図 S=1:80



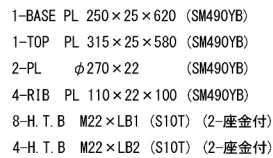
注)
1. 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線

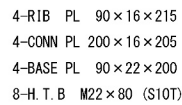
G1-G4 C-770(3)、G5 C-790(11)

S=1:10

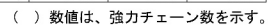


	上り線A1上		
	G1, G5	G2, G4	G3
t	22	16	14
LB1	110	105	105
LB2	90	85	80

S=1:10



S=1 : 20

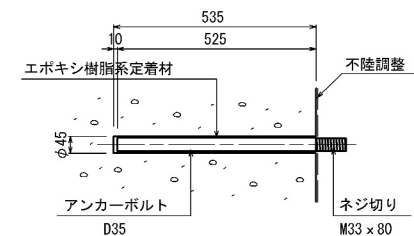


上り線 A 1 橋台上



＜＞内は下り線、上り線A2橋台上を示す

S=1:10



配置図



上り線

リンク

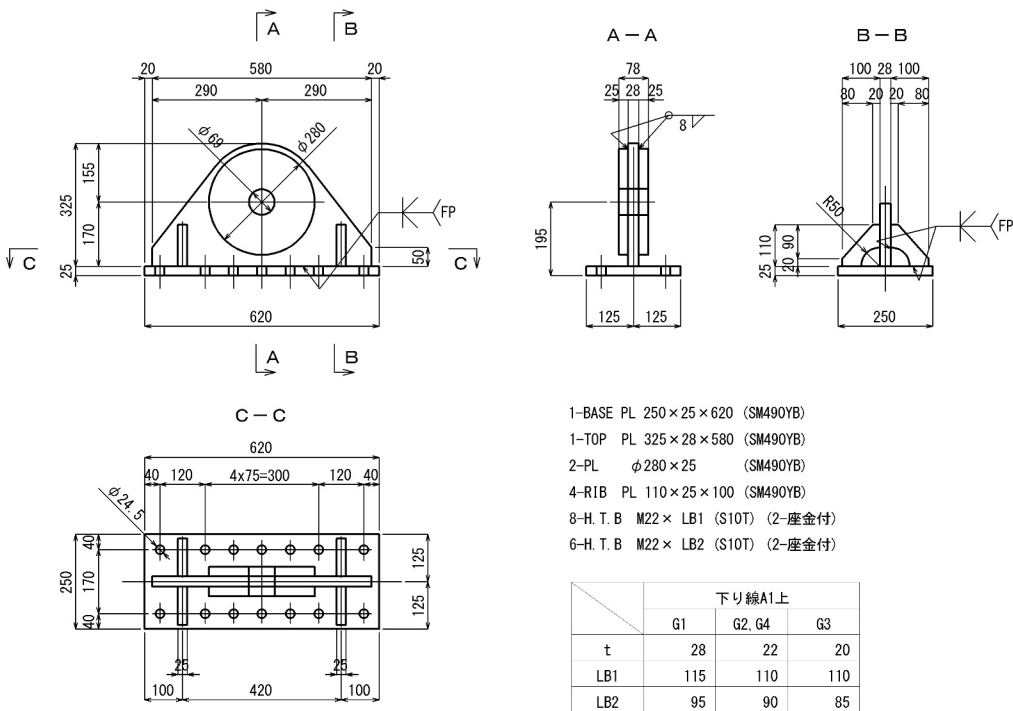
- ① チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないように偶数倍の増減を行う。
- ② 既設の状況によってアンカー、TCB間隔等を変更する場合は、部材検討を行うこと。

<p align="center">八 戸 自 動 車 道 橋引馬淵川橋耐震補強工事</p>			
<p>図面の種類</p>		<p>奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造詳細図(その1)</p>	
<p>縮 尺</p>	<p>図 示</p>	<p>図面番号</p>	
<p>設計会社名</p>	<p>株式会社オリエンタルコンサルタンツ</p>		
<p>施工会社名</p>	<p></p>		
<p>事務所名</p>	<p>東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所</p>		

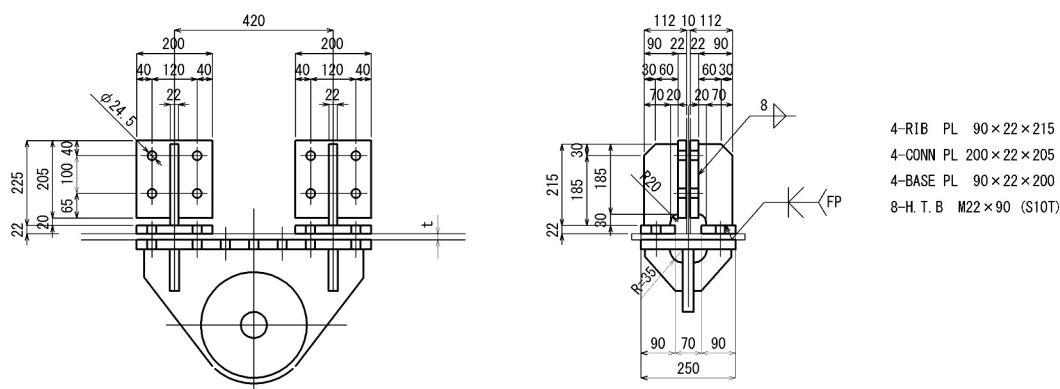
下り線

G1, G2 C-920(9)、G3, G4 C-920(3)

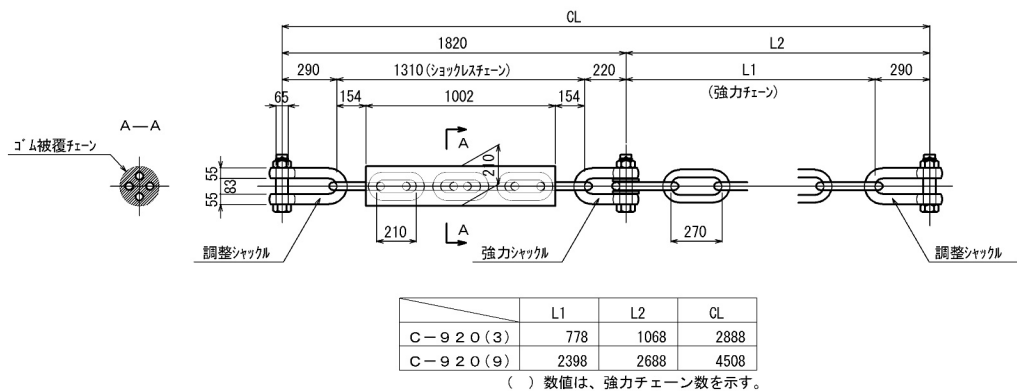
上部工用ブラケット S=1:10



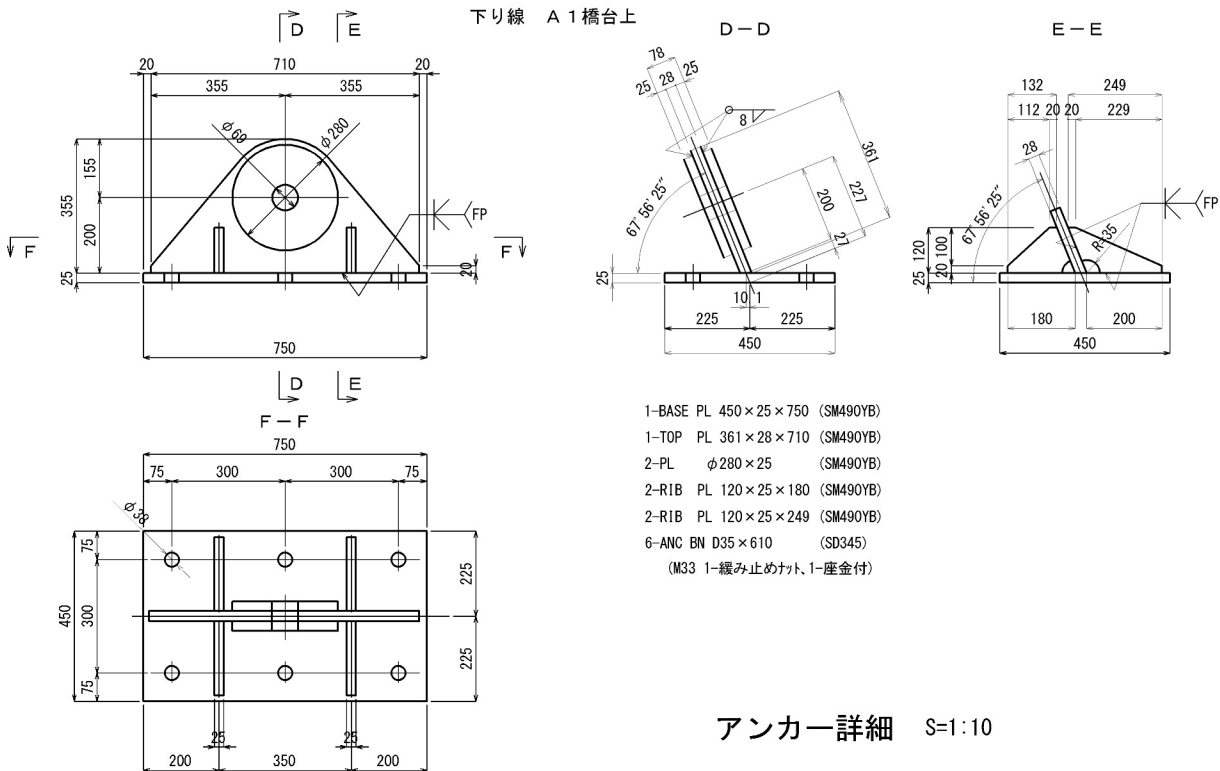
主桁補強材 S=1:10



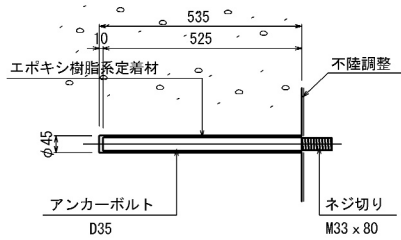
緩衝チェーン構成図 S=1:20



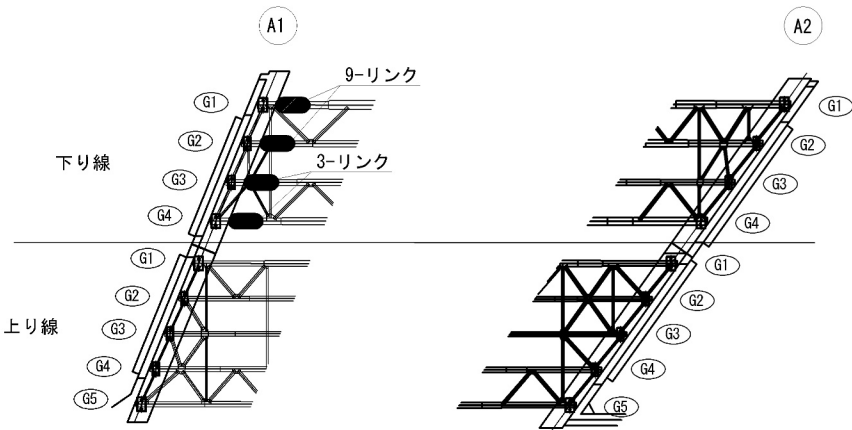
下部工用ブラケット



アンカー詳細 S=1:10



配置図



- 注)
- 特記なき材質は、SM400Aとする。
 - FPの表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。
 - 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - チェーン緩衝部はゴムにより被覆された構造とする。
 - チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 - 下部工側ブラケットは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT77)
 - アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT49)
 - アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 - 上部工側ブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 - 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
 - チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないよう偶数倍の増減を行う。
 - 既設の状況によってアンカー、TCB間隔等を変更する場合は、部材検討を行うこと。

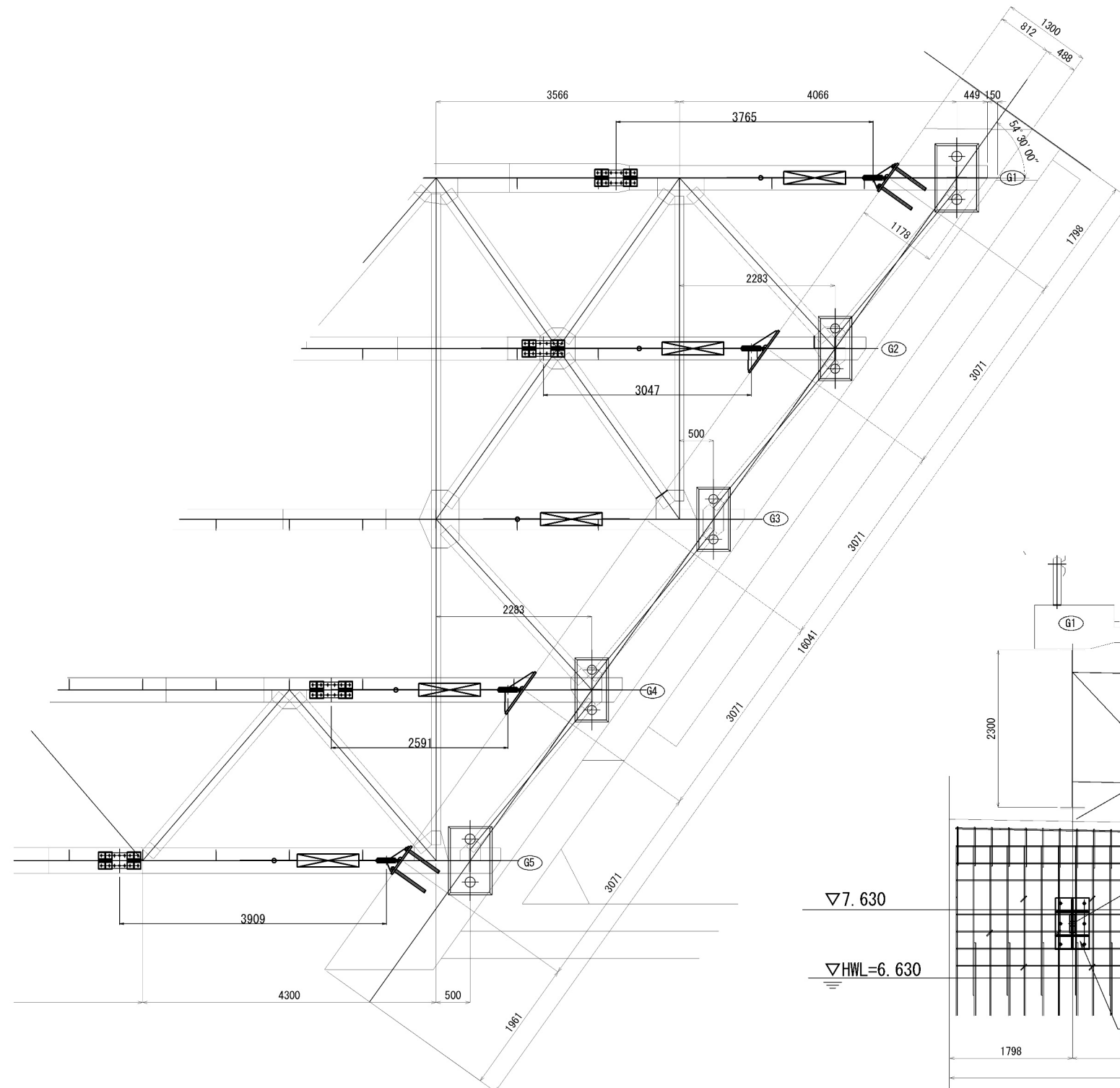
八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A1橋台 落橋防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造図(その1)

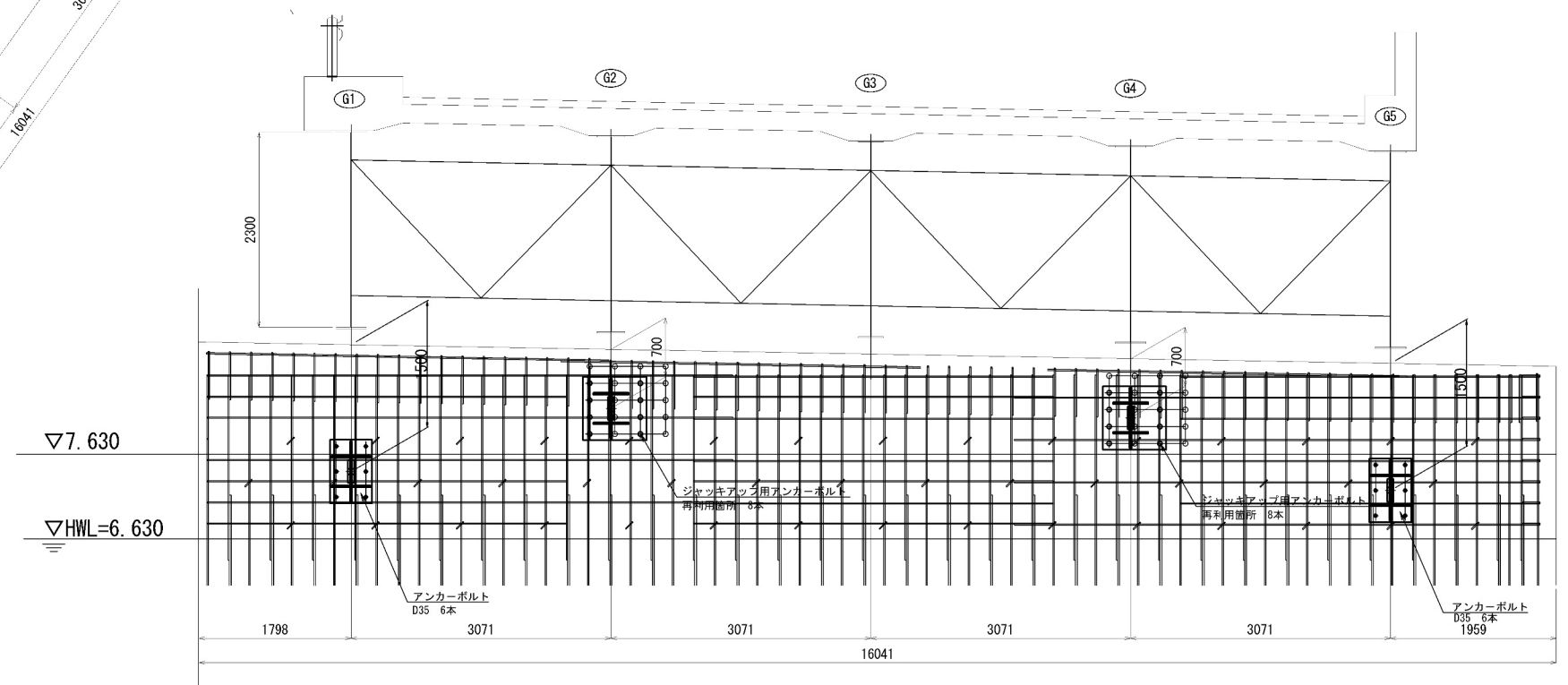
上り線

G1 C-790(9)、G2 C-790(7)
G4 C-650(5)、G5 C-790(11)

平面図 S=1:80



正面図 S=1:80



注)

- 竣工図データ不足により添接板、補剛材等の位置関係は想定し作図。
- 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。

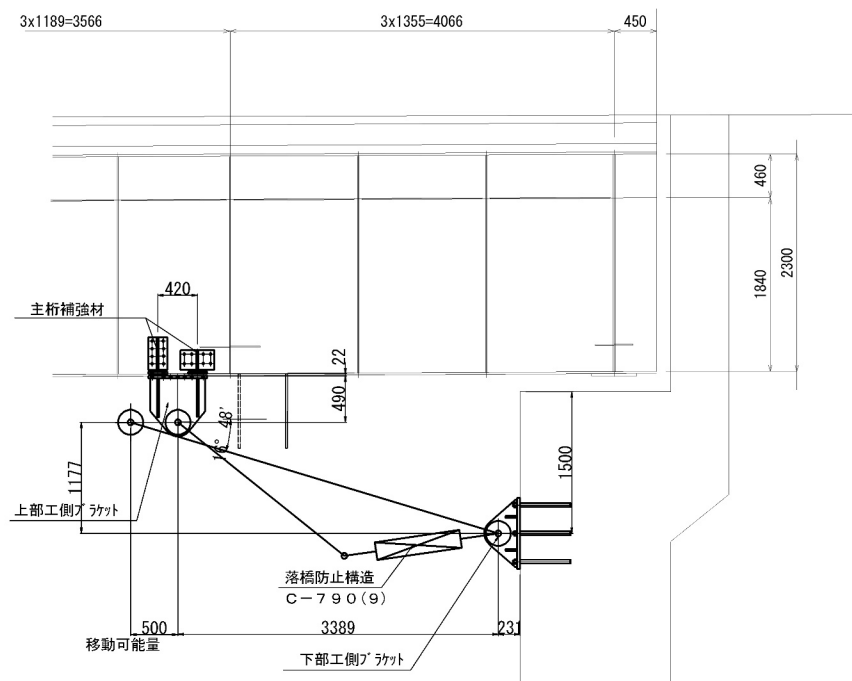
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造図(その2)

上り線
G1 C-790(9)、G2 C-790(7)
G4 C-650(5)、G5 C-790(11)

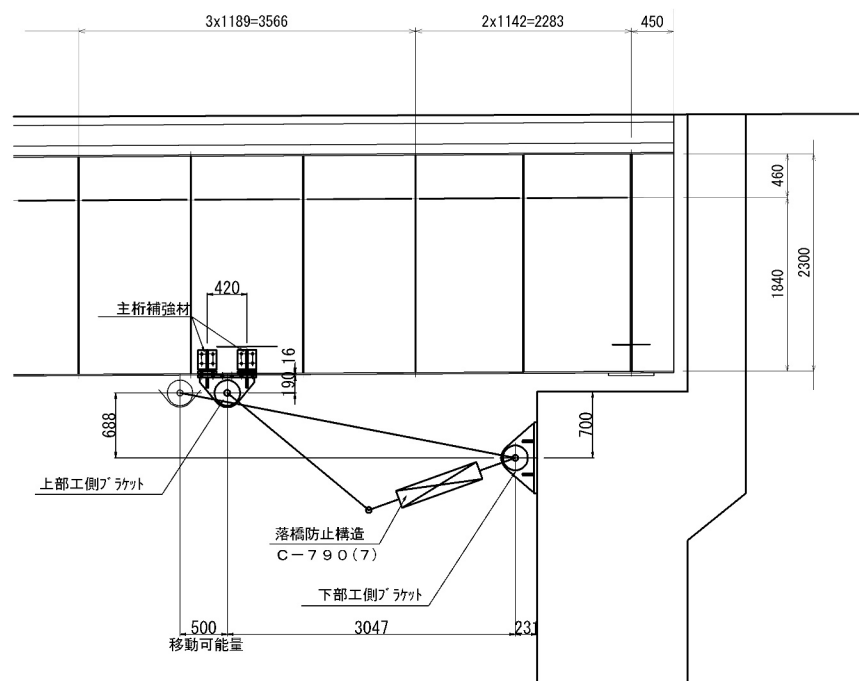
側面図 S=1:80

G 1 桁



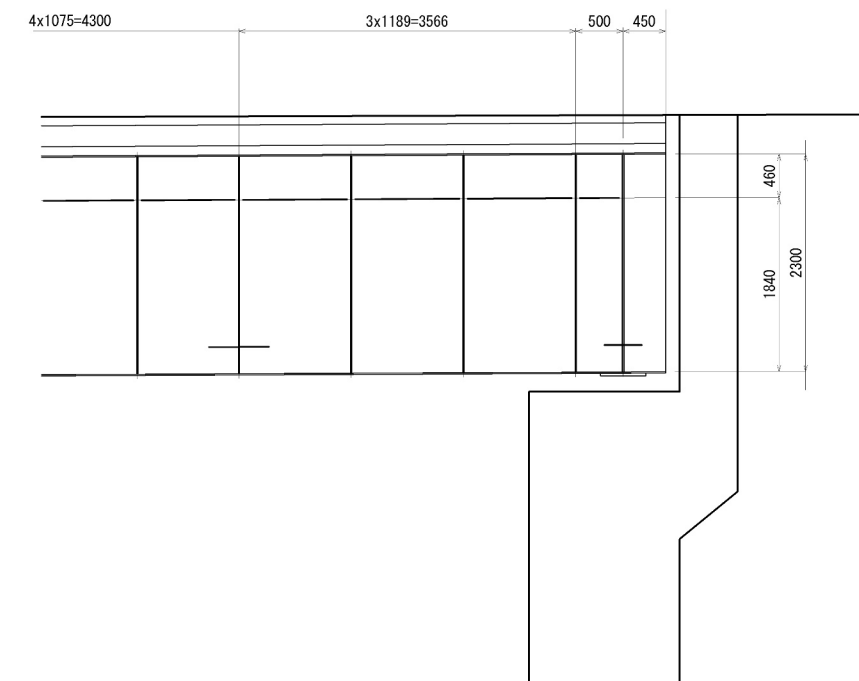
ブラケット・アンカー新設

G 2 桁

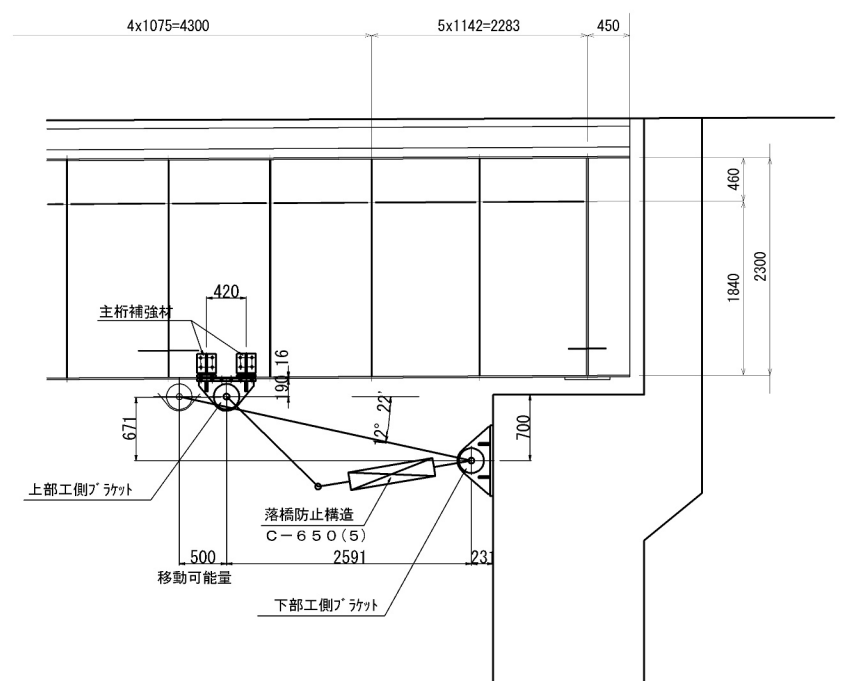


ジャッキアップ用アンカー再利用

G 3 桁

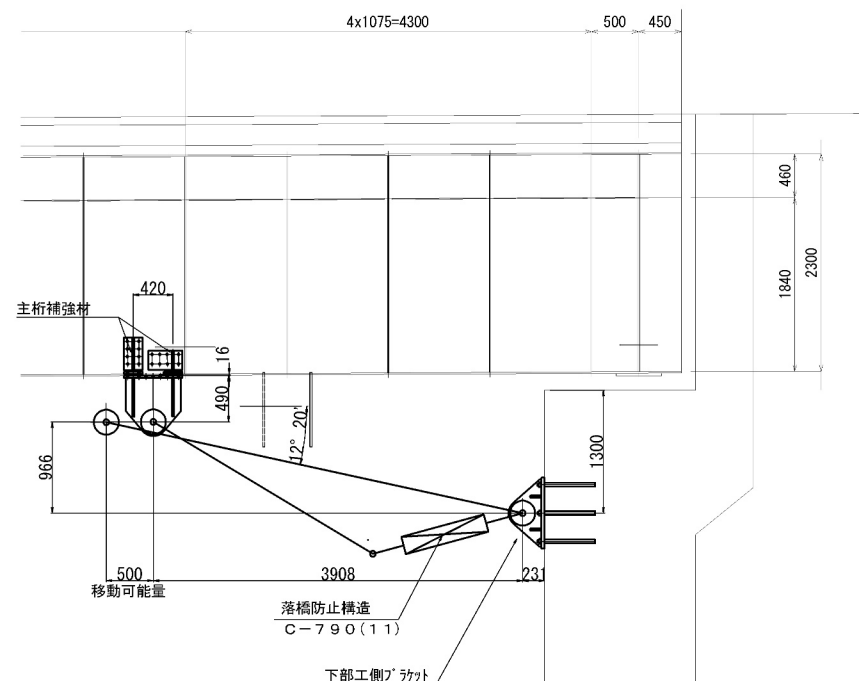


G 4 桁



ジャッキアップ用アンカー再利用

G 5 桁

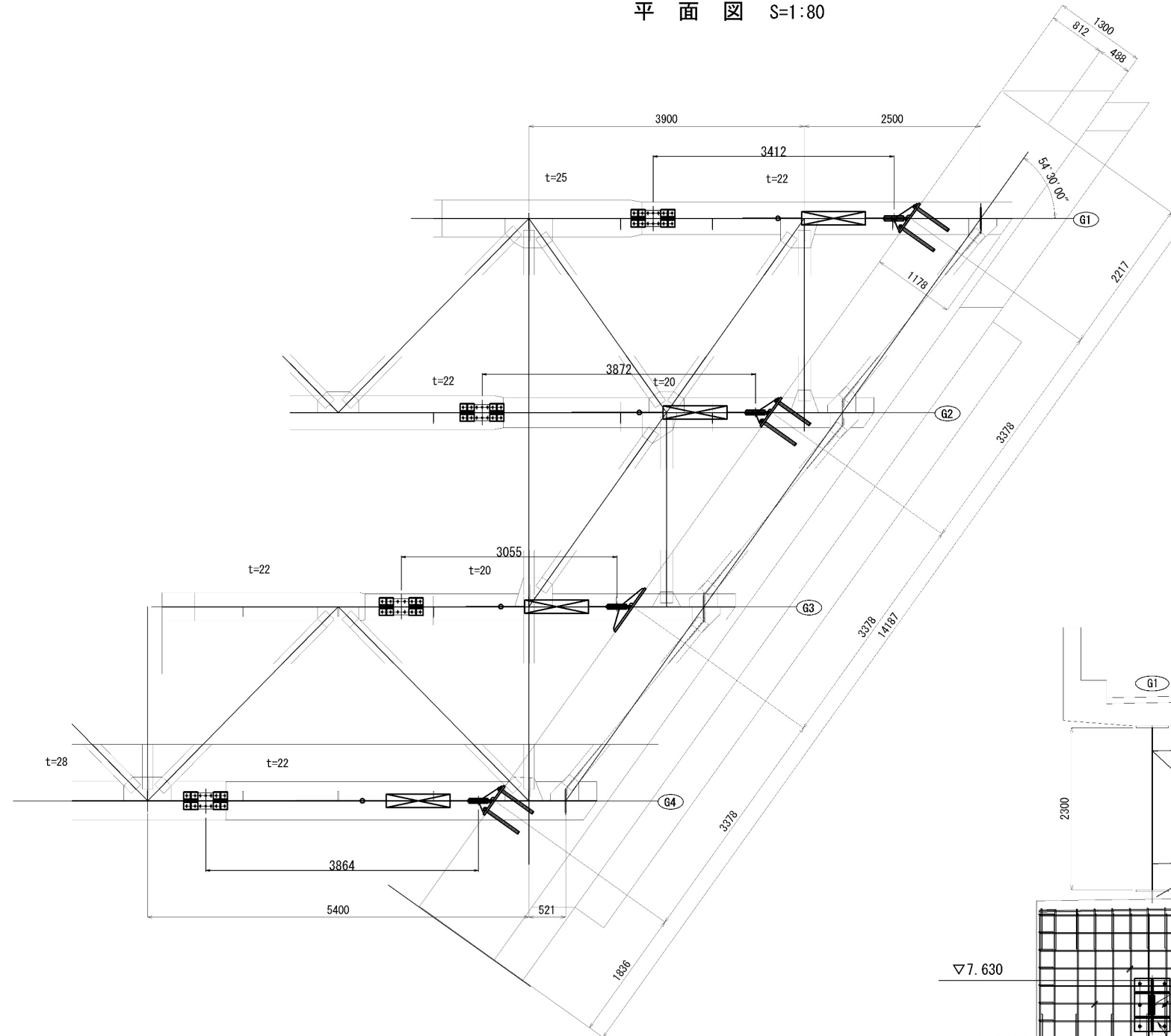


ブラケット・アンカー新設

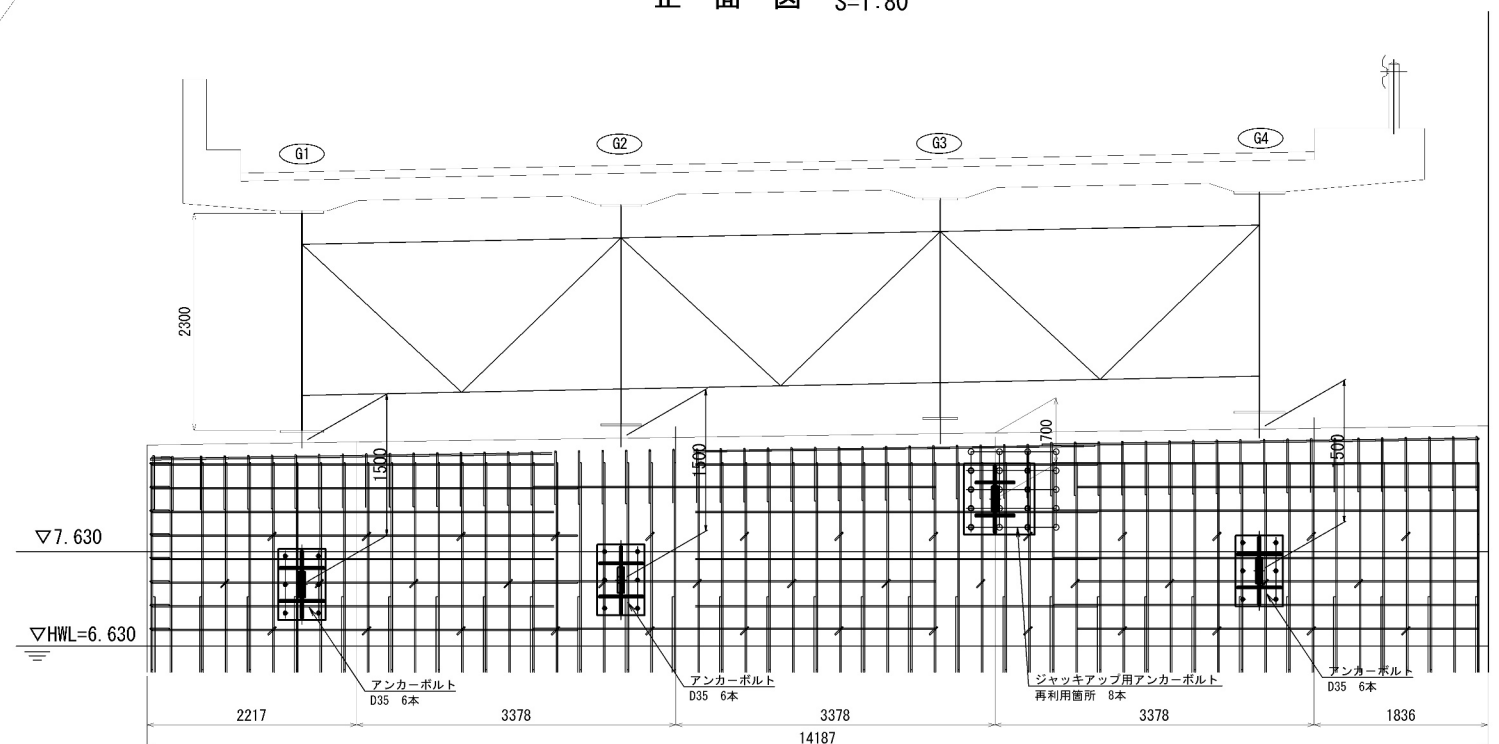
- 注)
- 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - 下部工側アンカーボルトはジャッキアップ用を再利用する。

八戸自動車道 奥入瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

平面图 S=1:80



正 面 图 S=1:80



注)

1. 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。

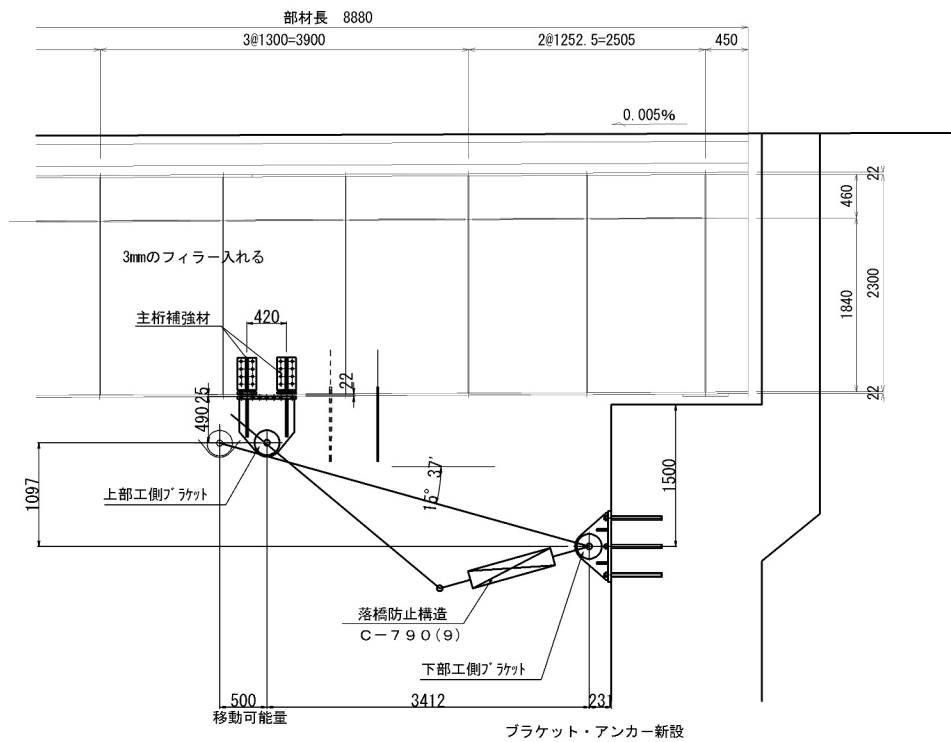
八戸自動車道 楢引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	A2橋台 落橋防止構造図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸 管 理 事 務 所		

奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造図(その4)

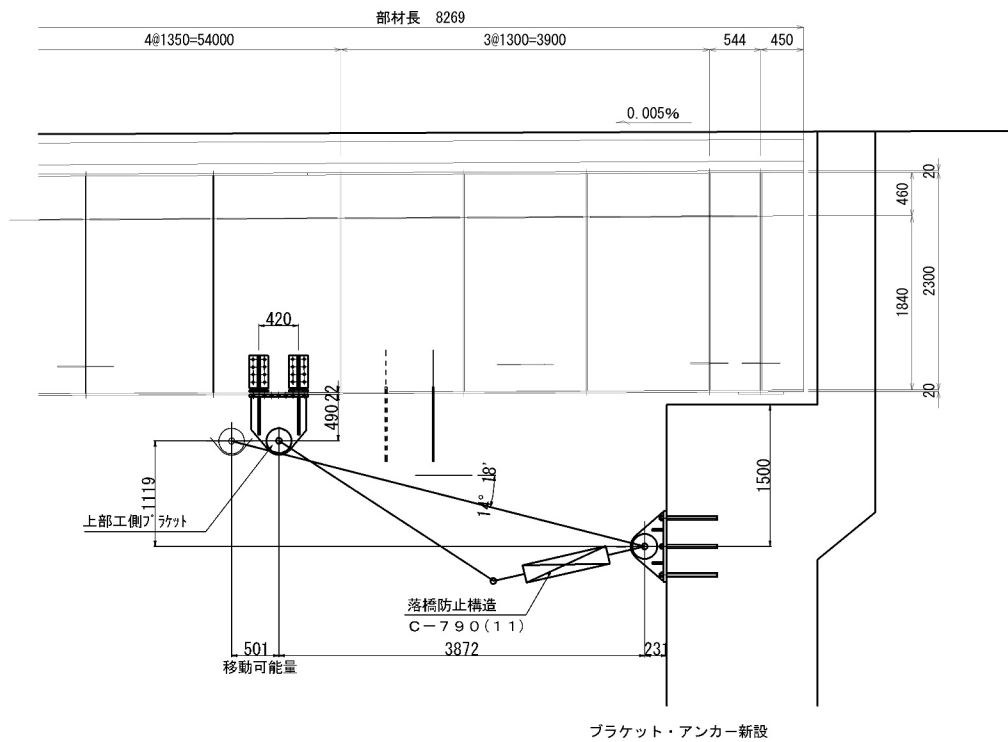
下り線
G1 C-790(9)、G3 C-790(7)
G2,G4 C-790(11)

側面図 S=1:80

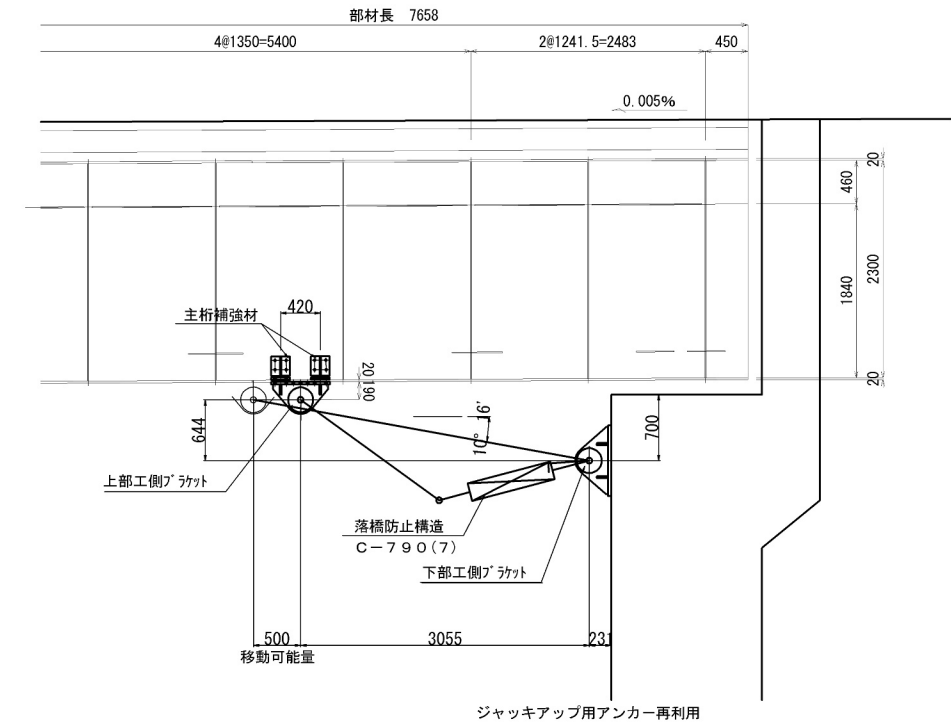
G 1 桁



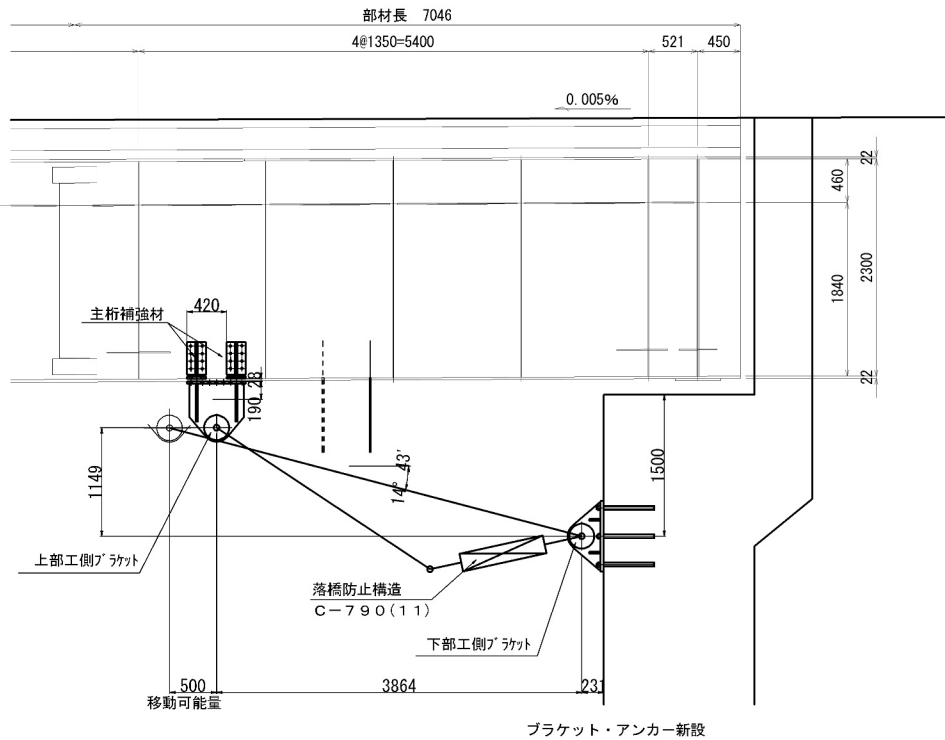
G 2 桁



G 3 桁



G 4 桁



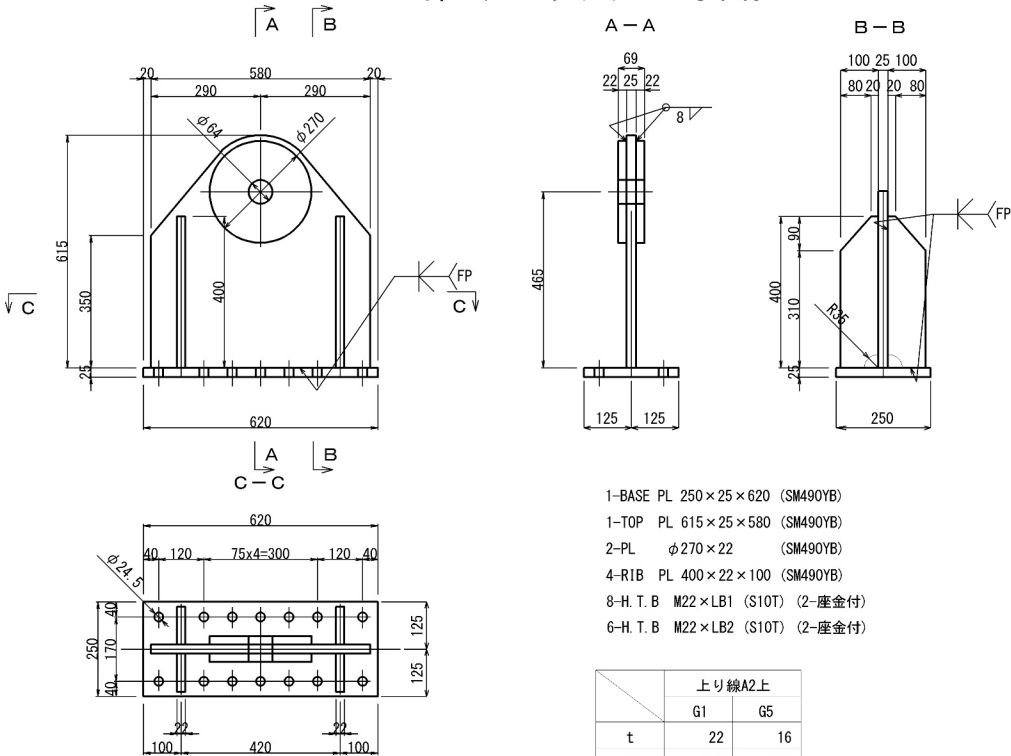
- 注)
- 緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - G3桁の下部工側アンカーボルトはジャッキアップ用を再利用する。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

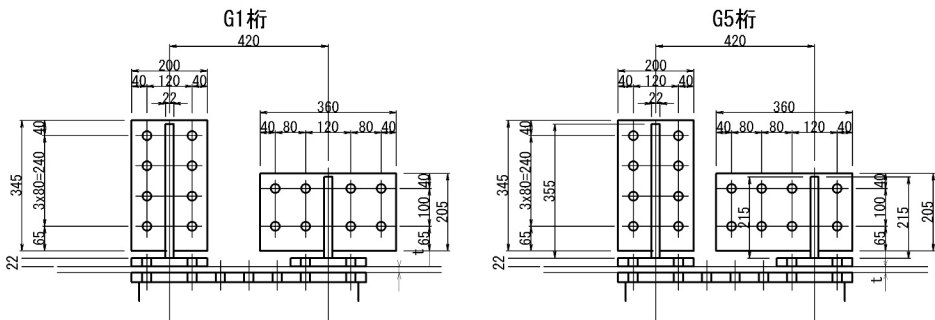
奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その1)

上り線 (G1, G5)
G1 C-790(9)、G5 C-790(11)

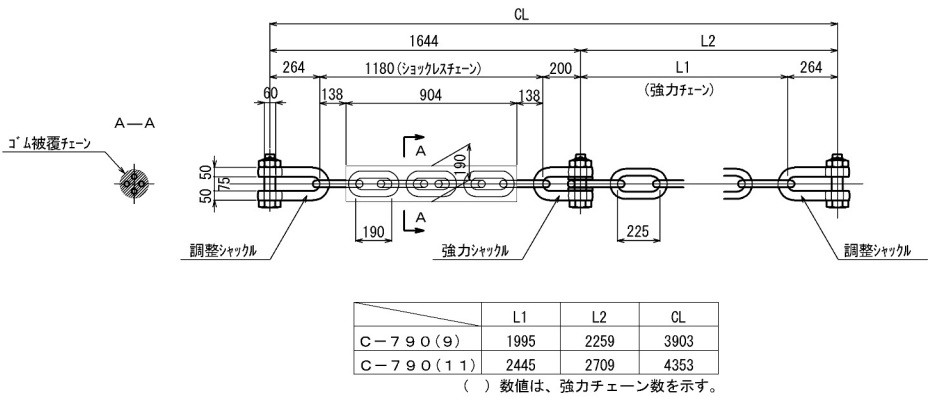
上部工用ブラケット S=1:10



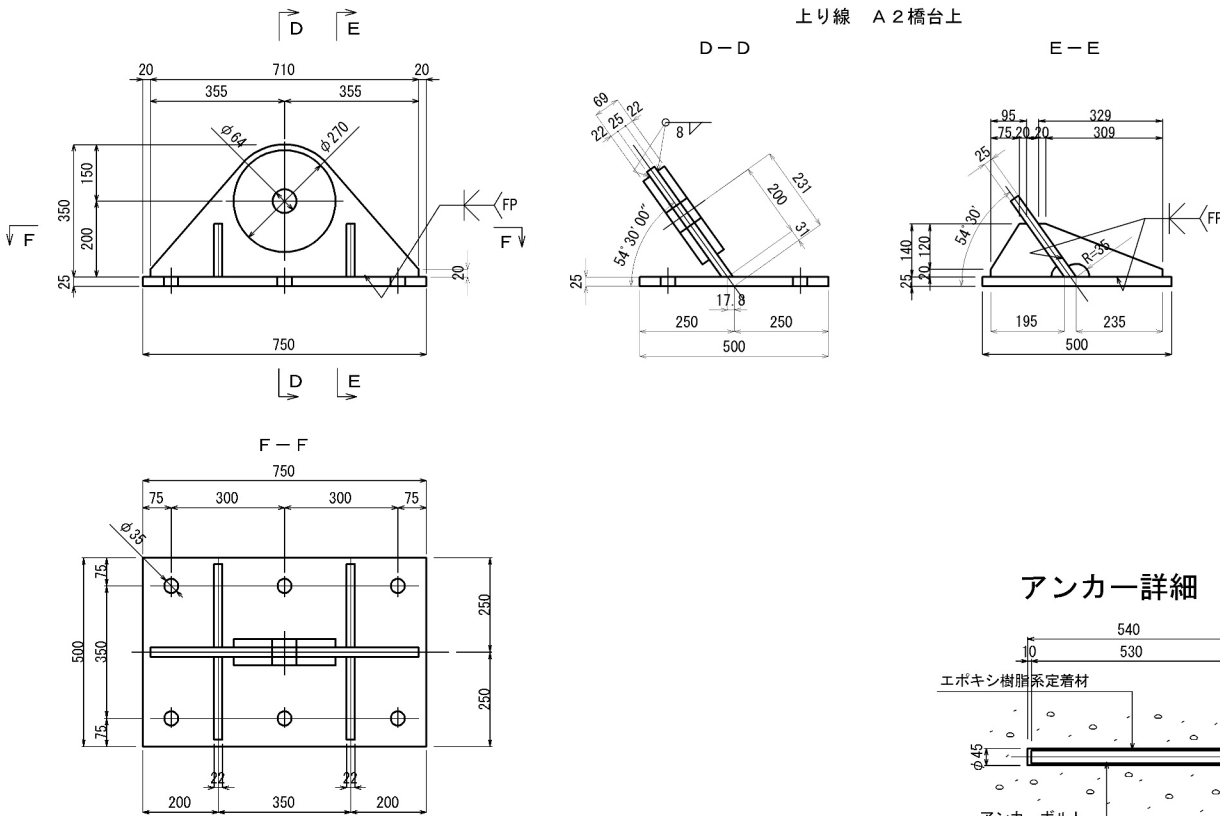
主桁補強材 S=1:10



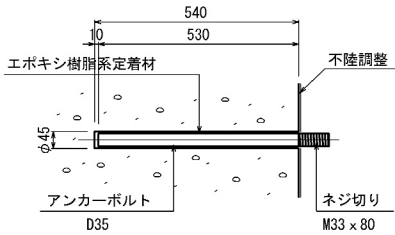
緩衝チェーン構成図 S=1:20



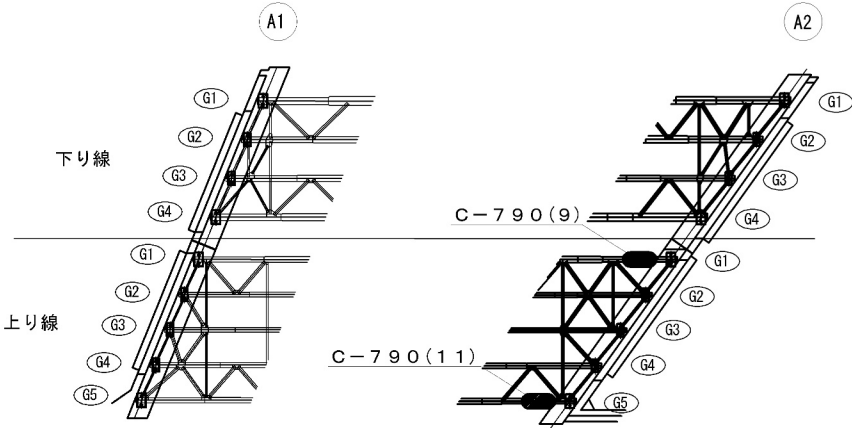
下部工用ブラケット



アンカー詳細 S=1:10



配置図



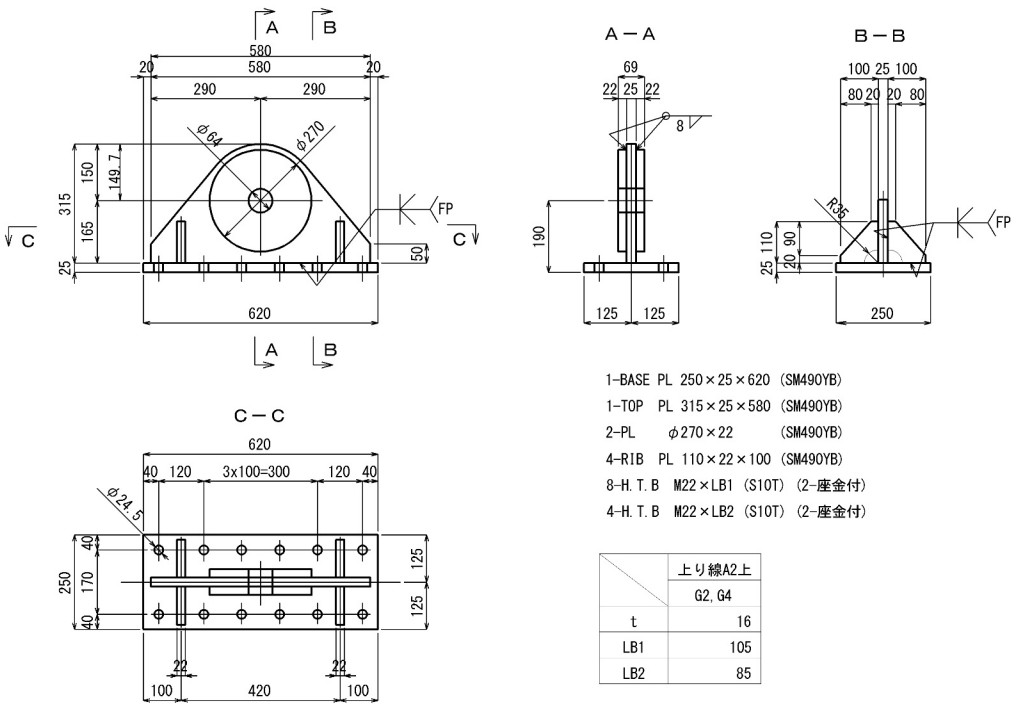
- 注)
- 特記なき材質は、SM400Aとする。
 - FPの表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。
 - 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - チェーン緩衝部はゴムにより被覆された構造とする。
 - チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 - 下部工側ブラケットは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT77)
 - アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT49)
 - アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 - 上部工側ブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 - 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
① チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないように偶数倍の増減を行う。
② 既設の状況によってアンカー、TCB間隔等を変更する場合は、部材検討を行うこと。

八戸自動車道 柵引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

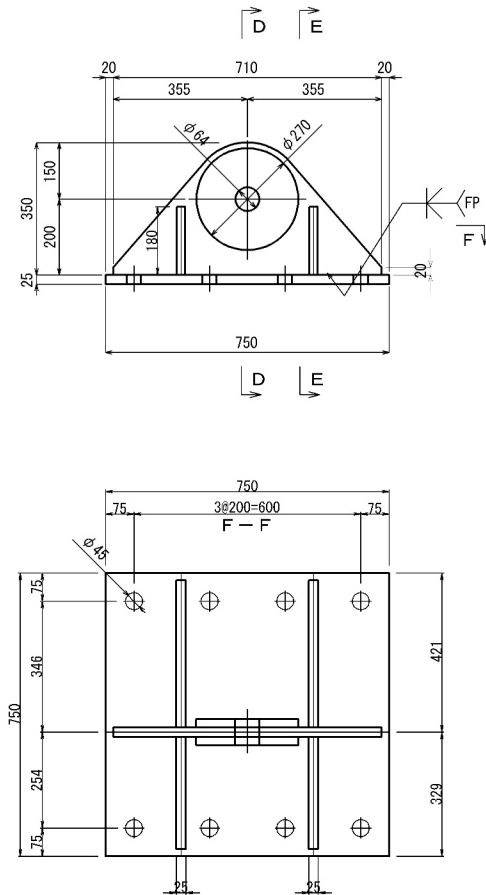
奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その2)

上り線 (G2, G4)
G2 C-790(7)、G4 C-650(5)

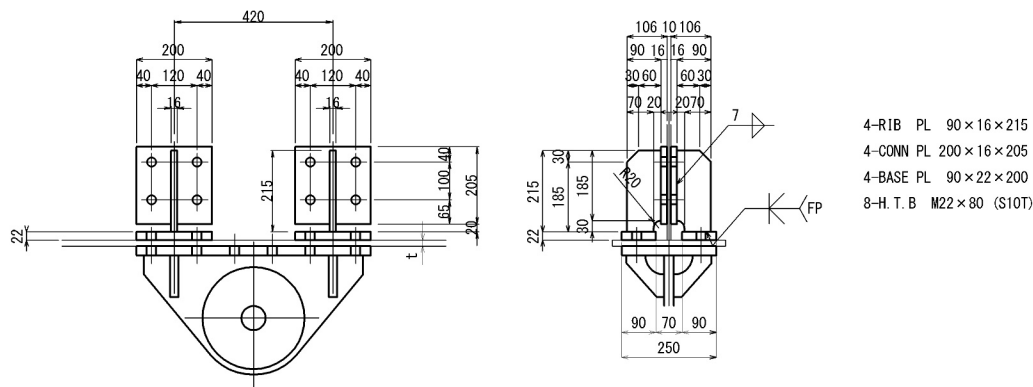
上部工用ブラケット S=1:10



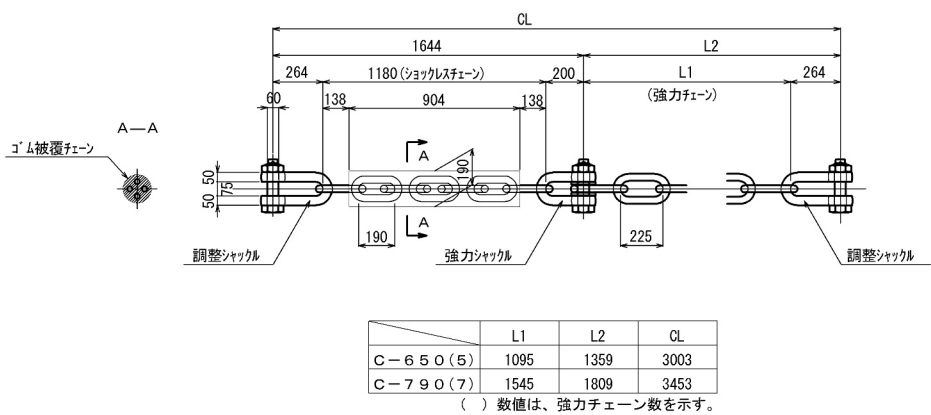
下部工用ブラケット



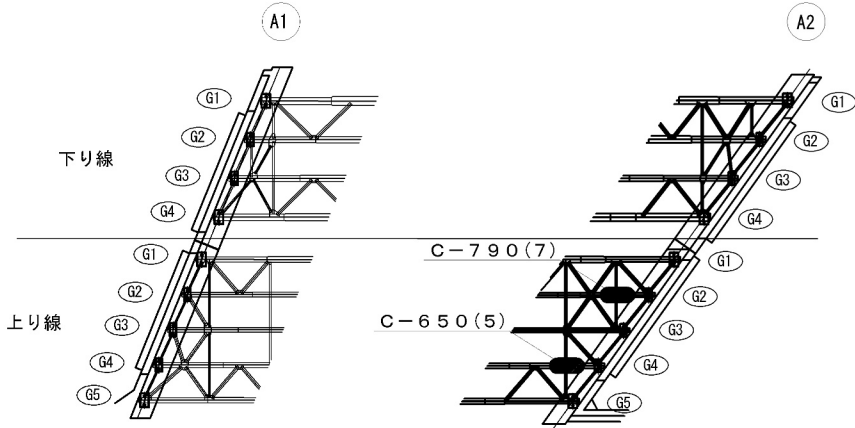
主桁補強材 S=1:10



緩衝チェーン構成図 S=1:20



配置図



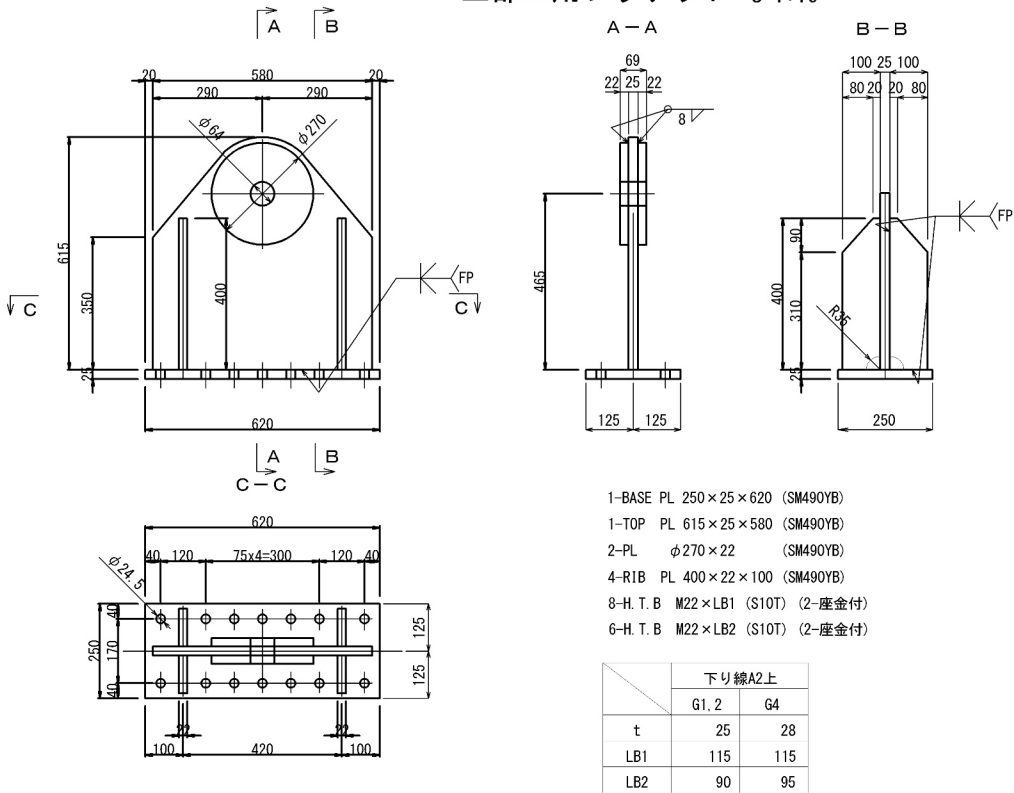
- 注)
- 特記なき材質は、SM400Aとする。
 - FPの表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。
 - 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - チェーン緩衝部はゴムにより被覆された構造とする。
 - チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 - 下部工側ブラケットは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT77)
 - アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT49)
 - アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 - 上部工側ブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 - 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
① チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないように偶数倍の増減を行う。
② 既設の状況によってアンカー、TCB間隔等を変更する場合は、部材検討を行うこと。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエントラルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

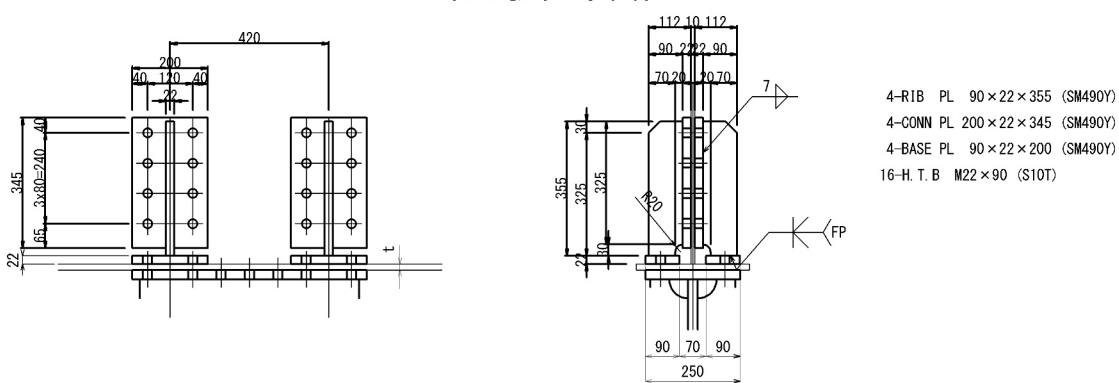
奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その3)

下り線 (G1, G2, G4)
G1 C-790(9)、G2, G4 C-790(11)

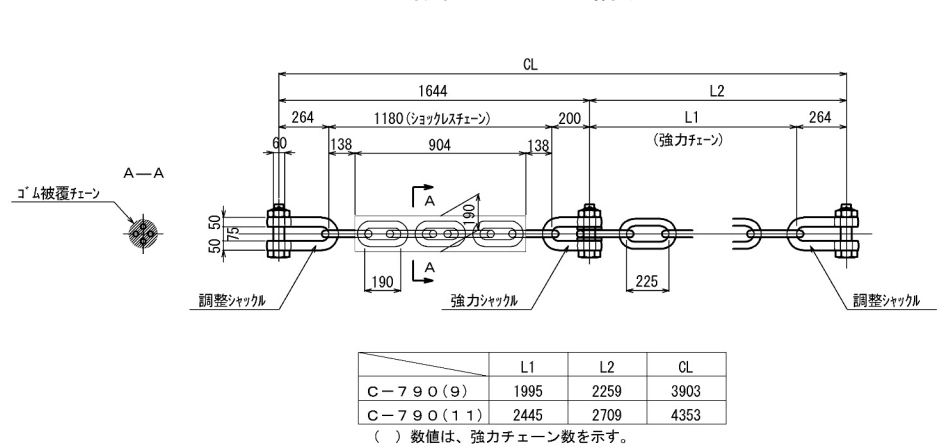
上部工用ブラケット S=1:10



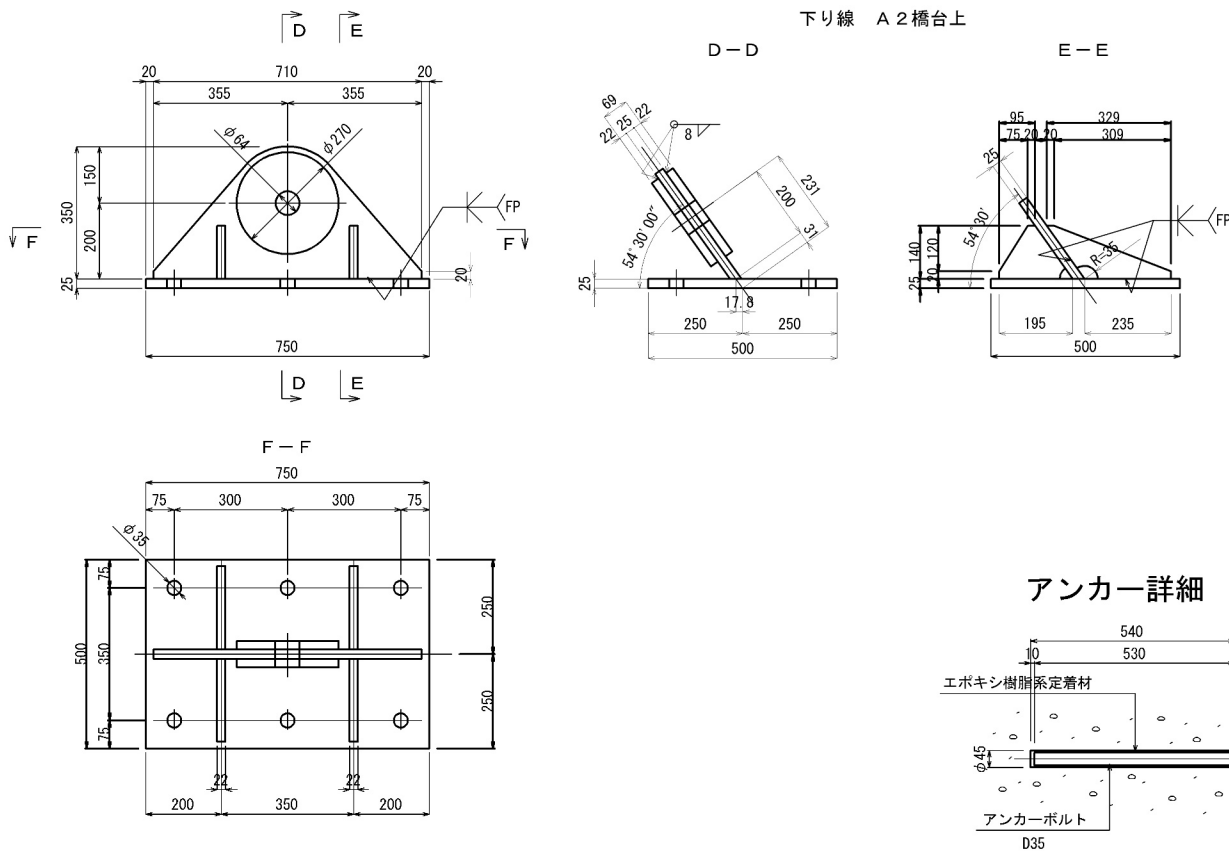
主桁補強材 S=1:10



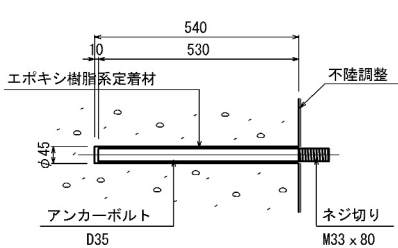
緩衝チェーン構成図 S=1:20



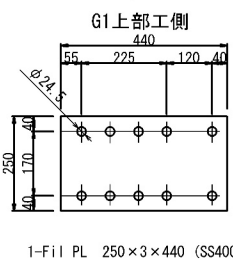
下部工用ブラケット



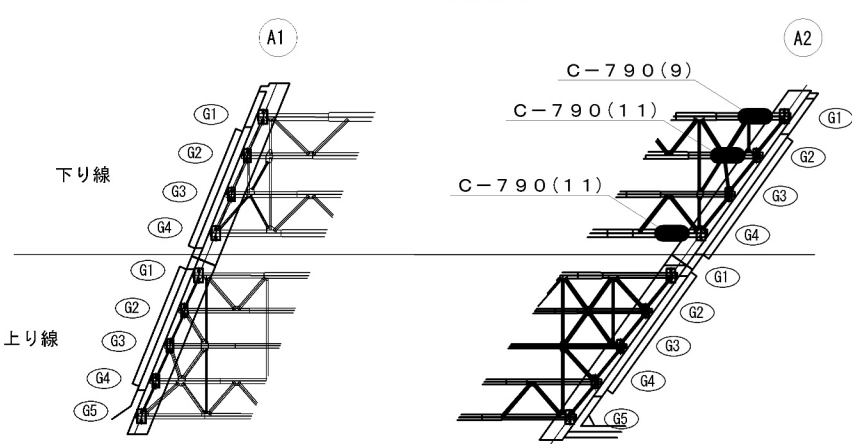
アンカー詳細 S=1:10



フィラーPL S=1:10



配置図

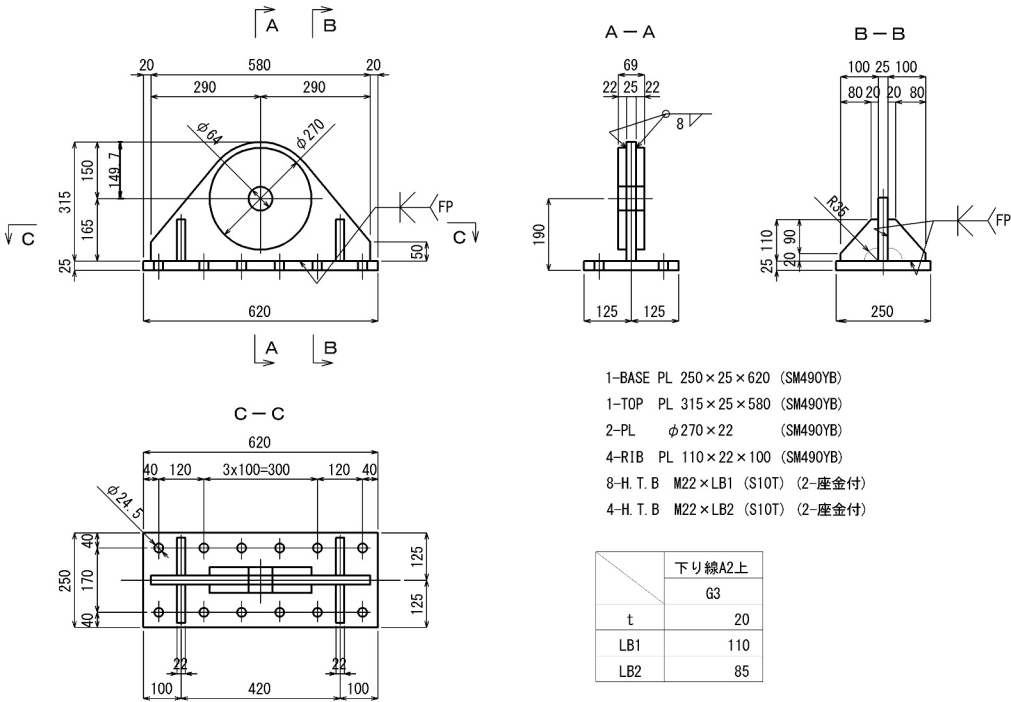


- 注)
1. 特記なき材質は、SM400Aとする。
 2. FPの表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。
 3. 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 4. チェーン緩衝部はゴムにより被覆された構造とする。
 5. チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 6. 下部工側ブラケットは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT77)
 7. アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT49)
 8. アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 9. 上部工側ブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 10. 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
① チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないように偶数倍の増減を行う。
② 既設の状況によってアンカー、TCB間隔等を変更する場合は、部材検討を行うこと。

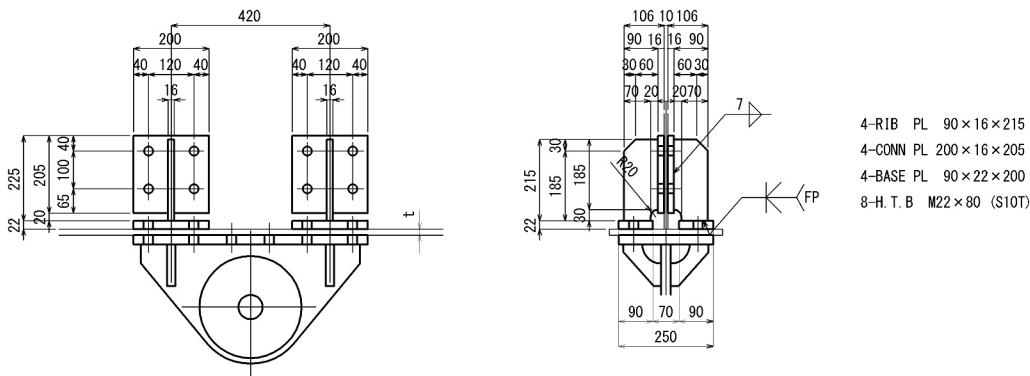
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 (G3)
G3 C-790(7)

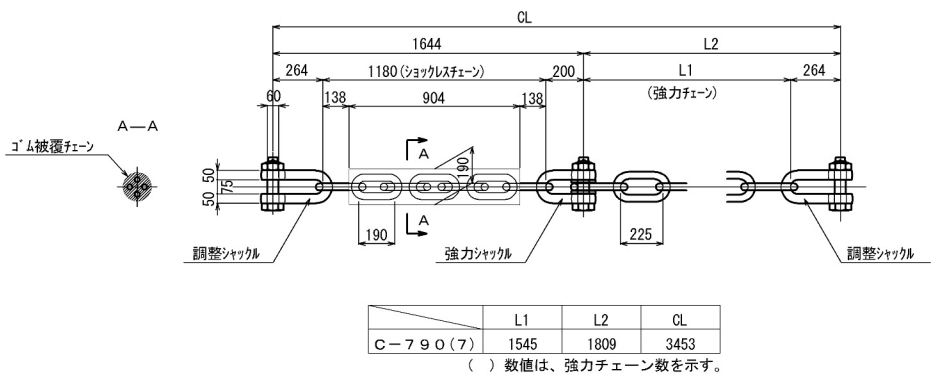
上部工用ブラケット S=1:10



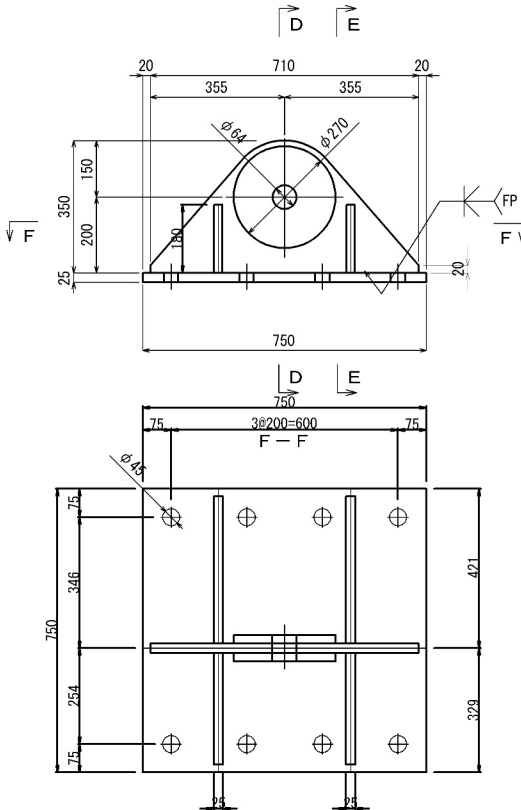
主桁補強材 S=1:10



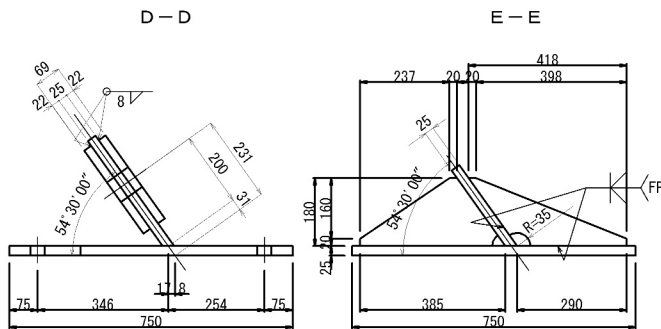
緩衝チェーン構成図 S=1:20



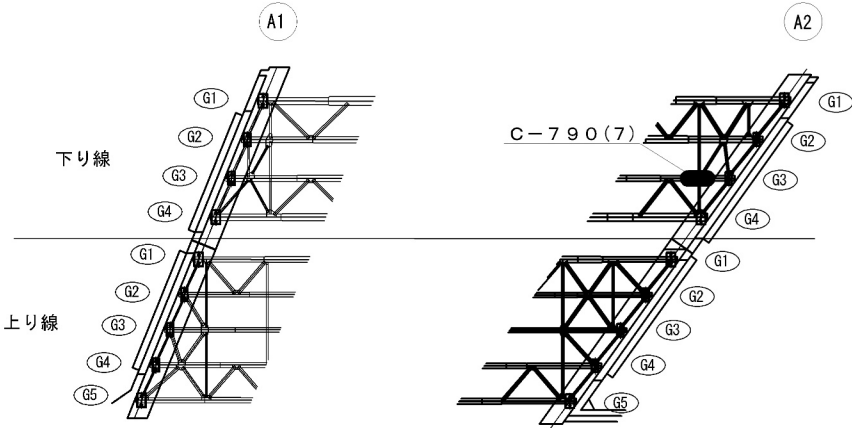
下部工用ブラケット



下り線 A2橋台上



配置図

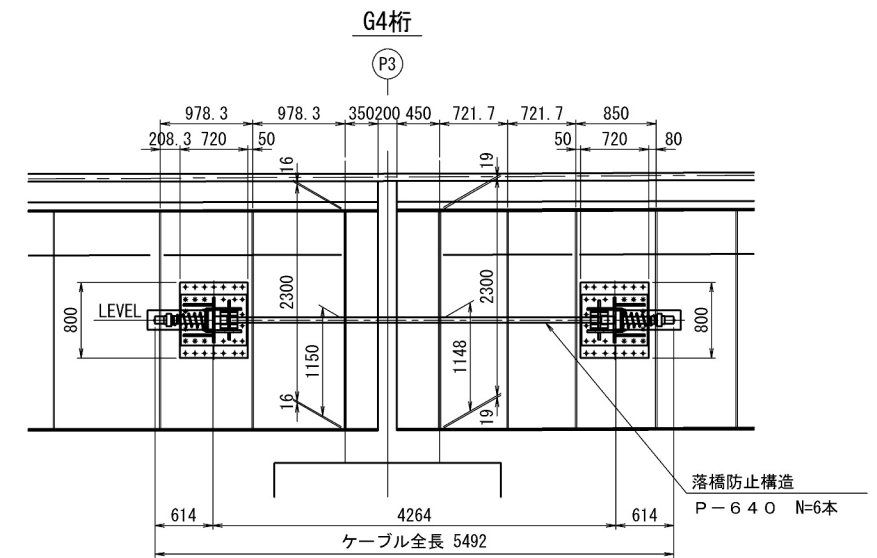
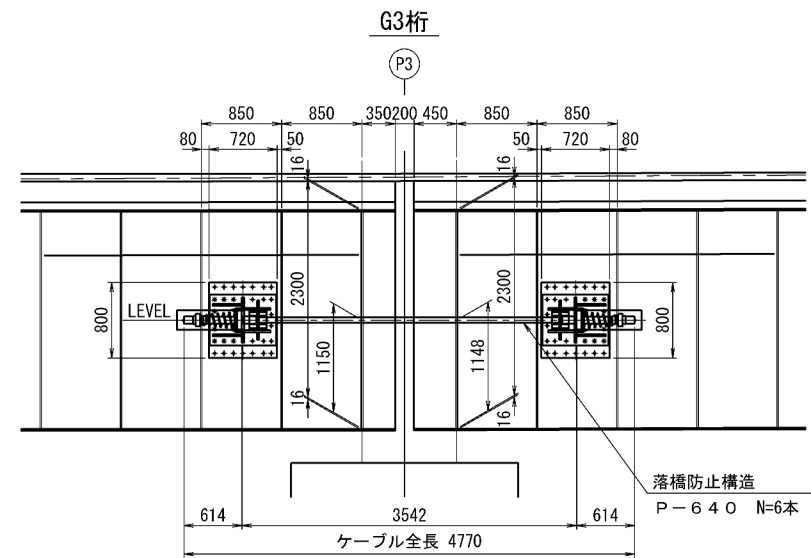
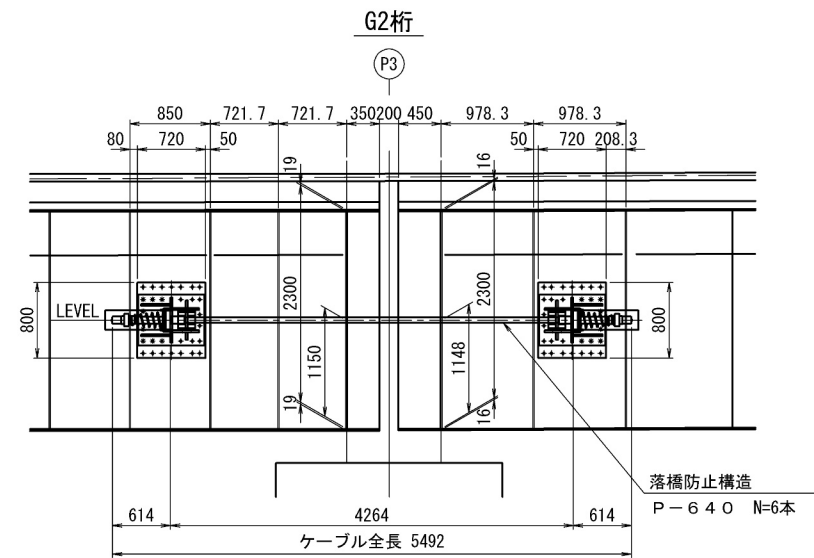


- 注)
- 特記なき材質は、SM400Aとする。
 - FPの表示のある箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。
 - 鋼材加工、緩衝チェーン長さ及び取付位置は、現地調査の上、最終決定のこと。
 - チェーン緩衝部はゴムにより被覆された構造とする。
 - チェーン及びシャックルの材質は、SCM鋼または同等品とする。
 - 下部工側ブラケットは、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT77)
 - アンカーボルトのネジ切り部は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。(HDZT49)
 - アンカー削孔の際は、既設鉄筋を破断せぬよう、配筋調査を行うこと。
 - 上部工側ブラケット取付面は、下地処理を行うこと。
 - 現地調査の結果、変更を行う場合は下記を原則とする。
① チェーンの長さを変更する場合は、強力チェーンのリンク数によって行い、ねじれが発生しないよう偶数倍の増減を行う。
② 既設の状況によってアンカー、TCB間隔等を変更する場合は、部材検討を行うこと。

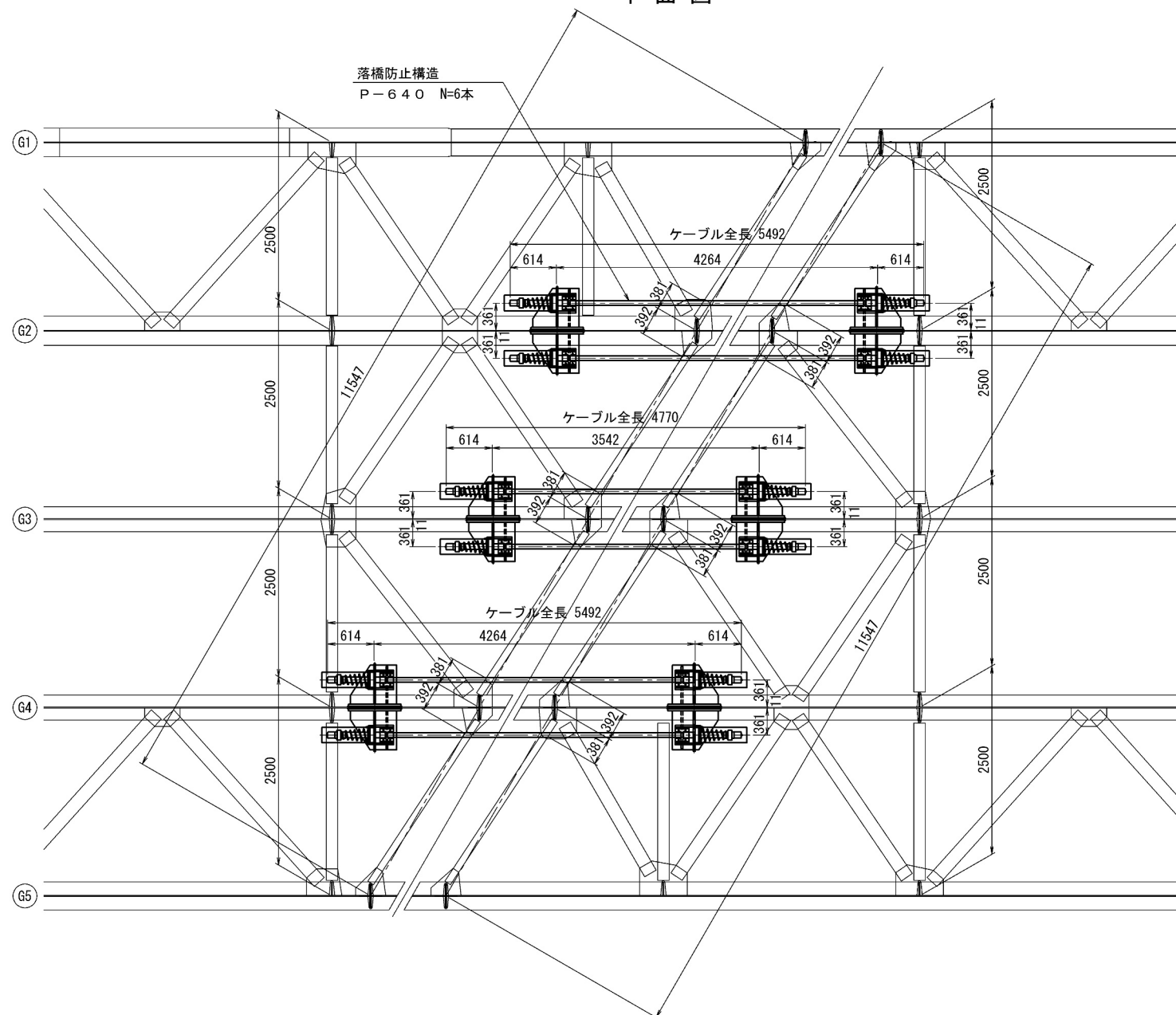
八戸自動車道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 A2橋台 落橋防止構造詳細図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 P-640

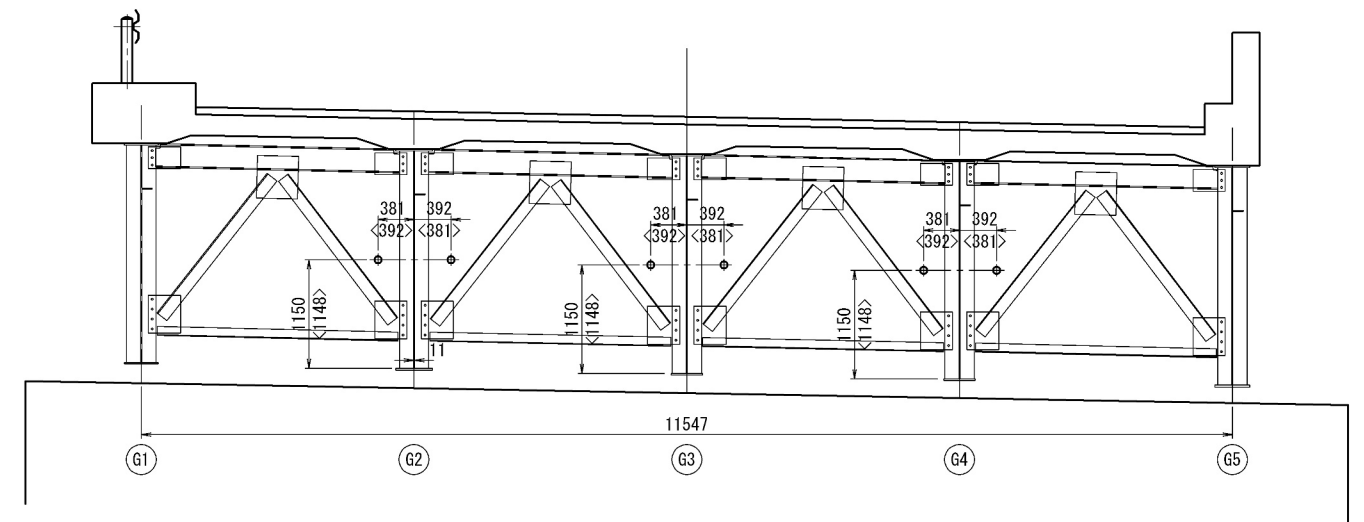
側面図



平面図



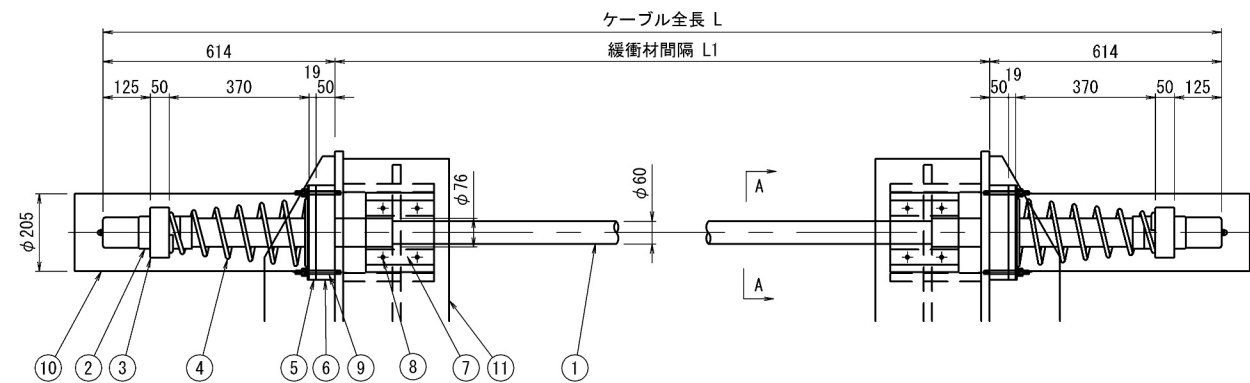
断面図



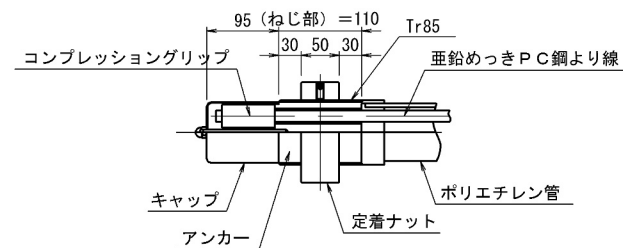
八戸自動車道 楢引馬淵川橋耐震補強工事			
奥入瀬川橋			
図面の種類	P3橋脚 落橋防止構造図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸 管 理 事 務 所		

上り線 P-640

落橋防止構造 P-640



ケーブル端部詳細図 S=1:10

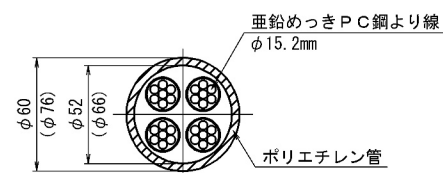


ケーブルの仕様

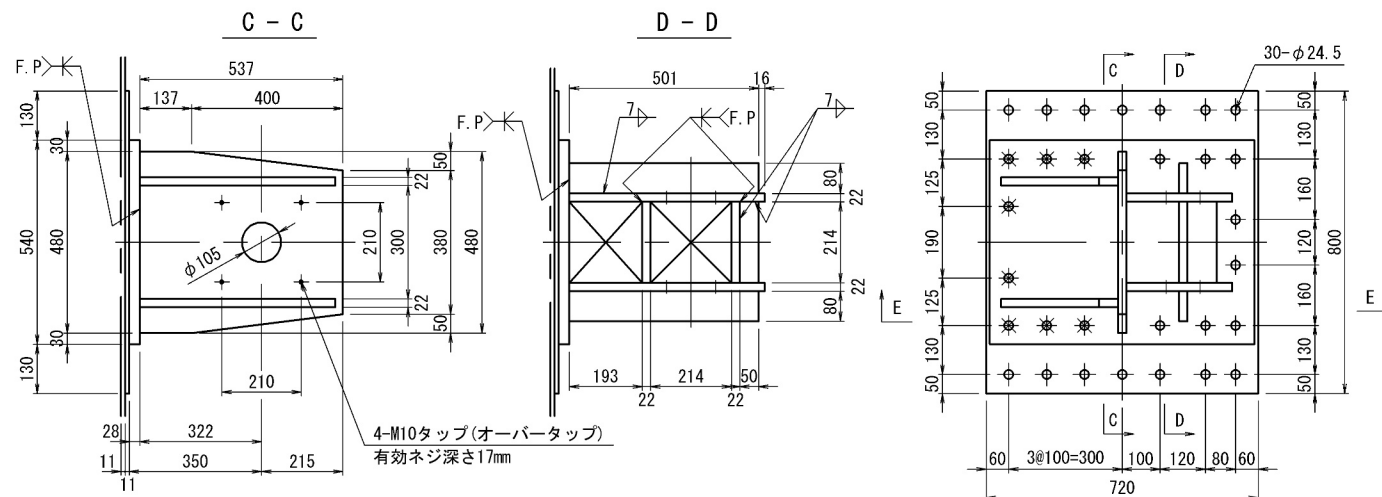
呼 称	P-640
構 成	4S15.2G
引張荷重	1044kN
降伏荷重	888kN
公称断面積	554.8mm ²
定着部最大径	φ85mm

ケーブル断面図 (A-A) S=1:4

() 内は、オーバーラップ管を示す。



11 ブラケット



1-PL 800×11×720 (SS400)

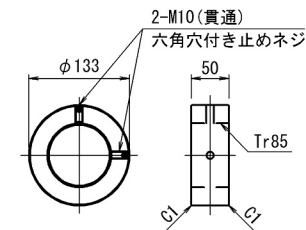
1-PL 540×28×700 (SM400A)
1-PL 480×22×537 (SM400A)
2-PL 280×22×517 (SM400A)
2-PL 310×22×517 (SM400A)
2-PL 214×22×240 (SM400A)
2-PL 80×22×501 (SM400A)
1-PL 50×22×214 (SM400A)

- ⑫ 8-TCB M22×125 (S10T, 1-ワッシャー)
⑬ 8-TCB M22×130 (S10T, 2-ワッシャー)
⑭ 14-TCB M22×70 (S10T, 1-ワッシャー)

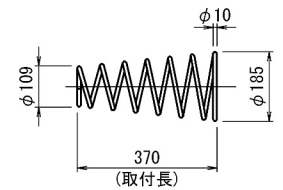
※ 印部は、2-ワッシャーとする。

	L	L1	本数
G2桁	5492	4264	2本
G3桁	4770	3542	2本
G4桁	5492	4264	2本

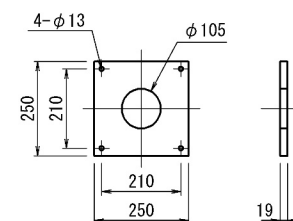
③ 定着ナット S=1:10



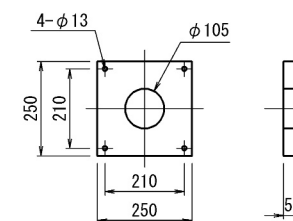
④ スプリング



⑤ 支圧板

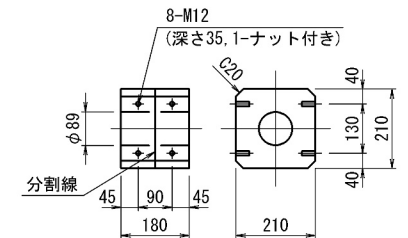


⑥ 緩衝材



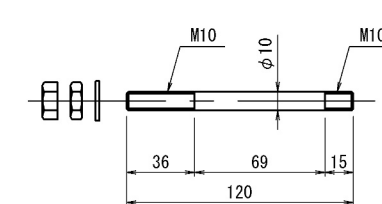
⑦ 偏向具

8-M12取付ボルト付 (8)

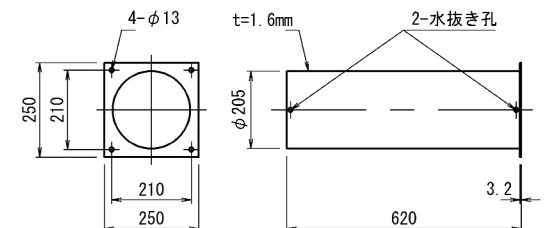


⑨ 定着部取付ボルト S=1:4

1種ナット, 3種ナット, ワッシャー各1個付



⑩ 定着部カバー (B-M型)



数 量 表 (ケーブル1本当たり)

合計:6本

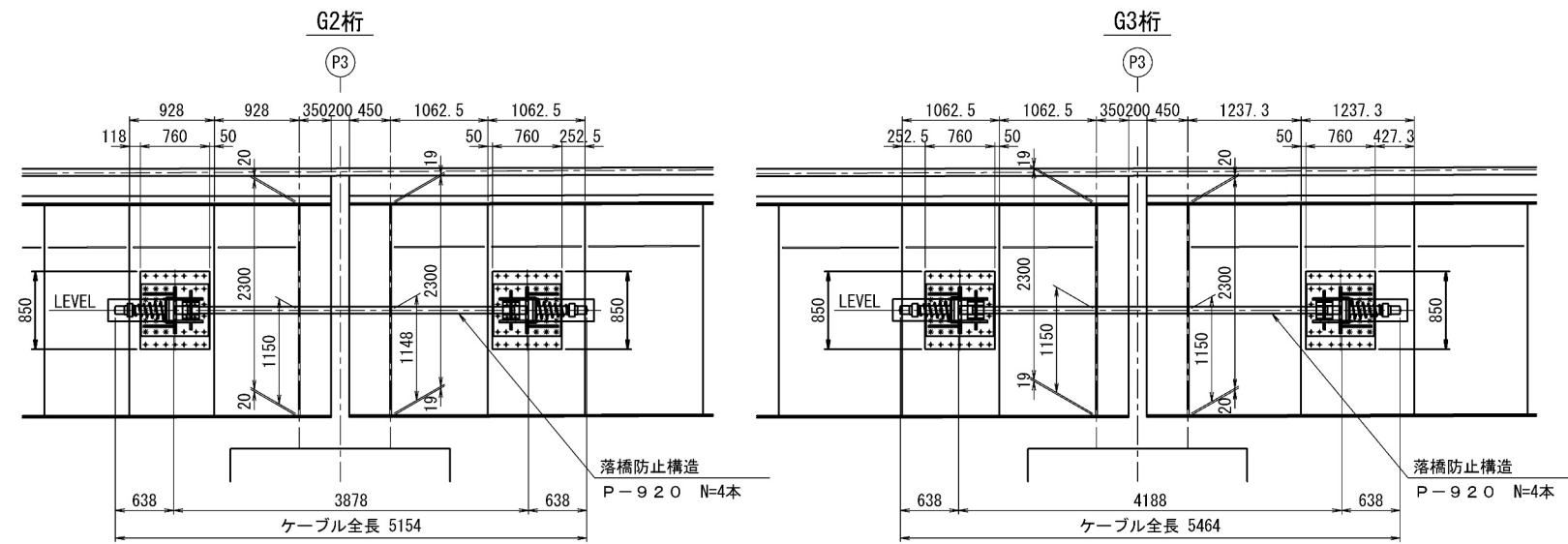
項 目	規格・寸法	単位	数量	摘 要
① ケーブル	1000kNタイプ、全長L	本	1	4S15.2G(垂鉛めっきPC鋼より線)
② アンカー	φ85×110	個	2	S45CN, 溶融垂鉛めっき (HDZT49) (ケーブルに組込)
③ 定着ナット	φ133×50	個	2	S45CN, 溶融垂鉛めっき (HDZT49), 止めネジ付
④ スプリング	取付長=370	個	2	SWOSC-B, SUP9, もしくは相当品, ポリエステル粉体塗装
⑤ 支圧板	250×19×250	個	2	SS400, 溶融垂鉛めっき (HDZT77)
⑥ 緩衝材	250×50×250	個	2	クロロブレンゴム 硬度(55±5°)
⑦ 偏向具	210×210×180	組	2	ポリエチレン
⑧ 偏向具取付ボルト	M12×50	本	16	ステンレス(ゆるみ止め加工品)
⑨ 定着部取付ボルト	φ10×120 (M10)	本	8	SWRCH相当品, 溶融垂鉛めっき (HDZT49)
⑩ 定着部カバー (B-M型)	φ205×620	個	2	SPHC, SS400, 溶融垂鉛めっき (HDZT49)
⑪ ブラケット	G1000kN用	組	2	
⑫ TCB	M22×125	本	16	S10T, 1-ワッシャー
⑬ TCB	M22×130	本	16	S10T, 2-ワッシャー
⑭ TCB	M22×70	本	28	S10T, 1-ワッシャー

- 注記)
1. スプリングの取付長は設計基準温度時の値とする。
2. ケーブルは、現地実測後製作すること。

八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚 落橋防止構造図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエントコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

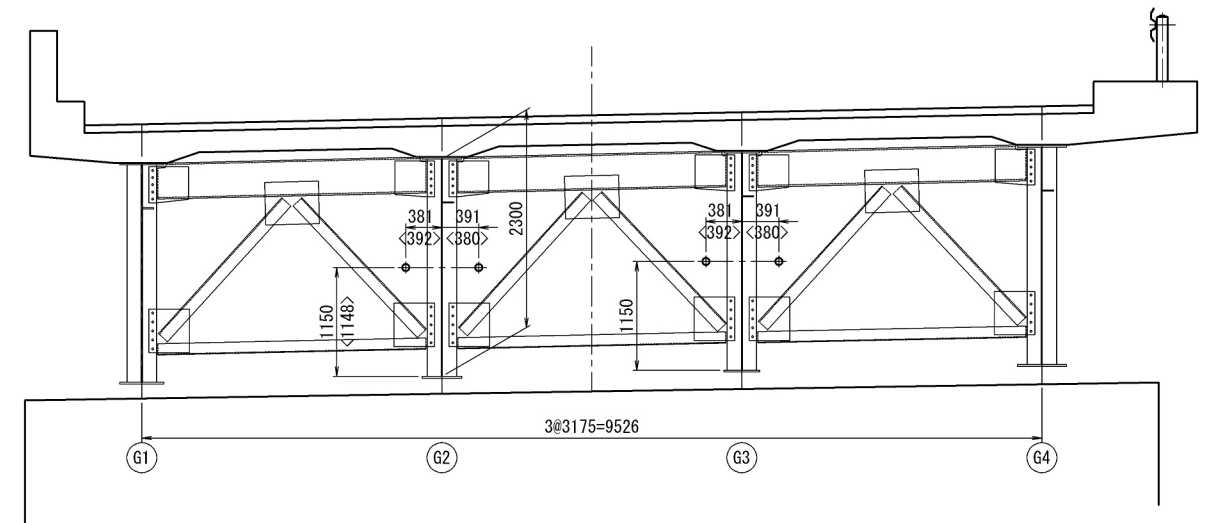
下り線 P-920

側面図

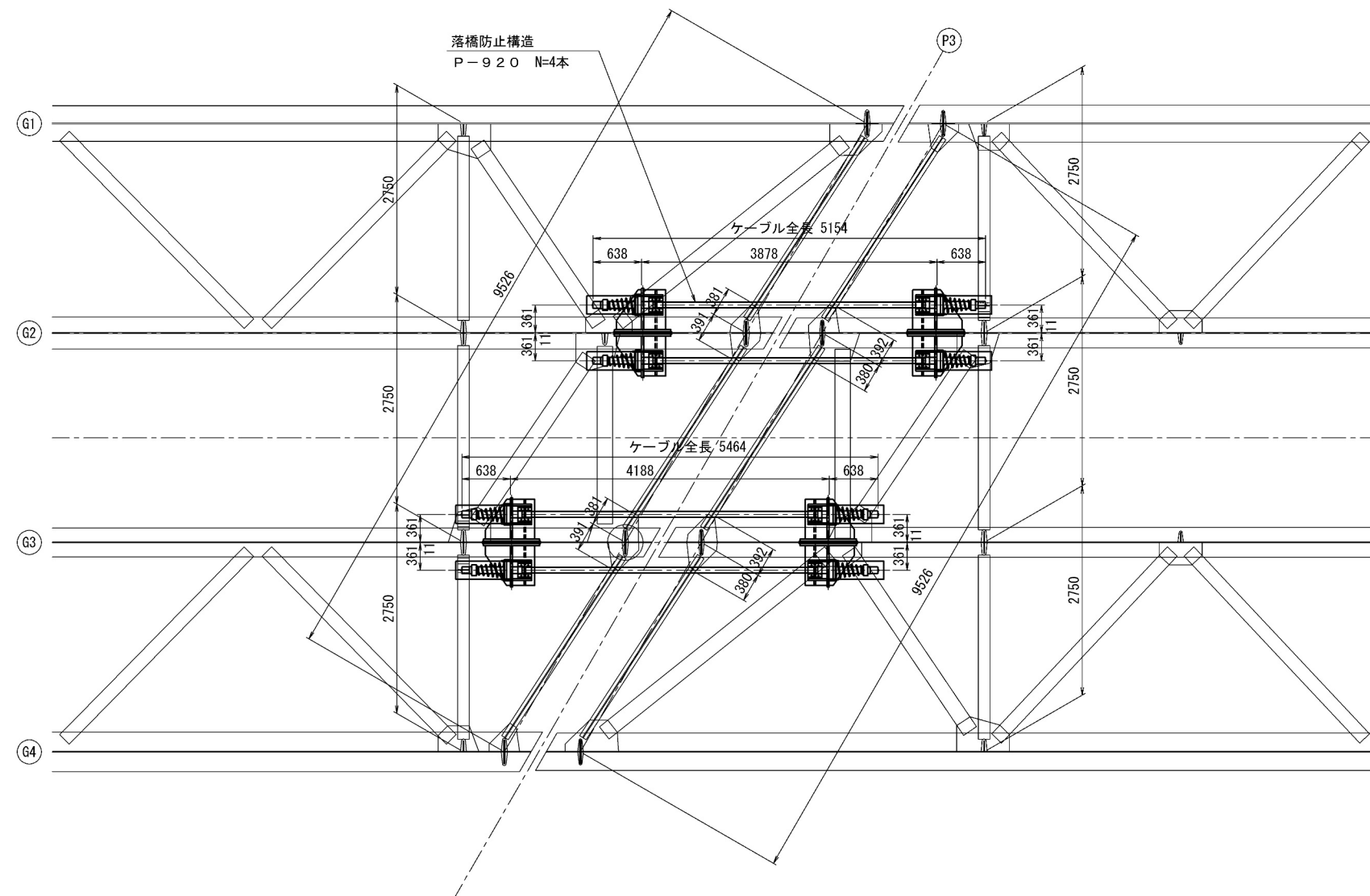


断面図

< >内は、終点側を示す。



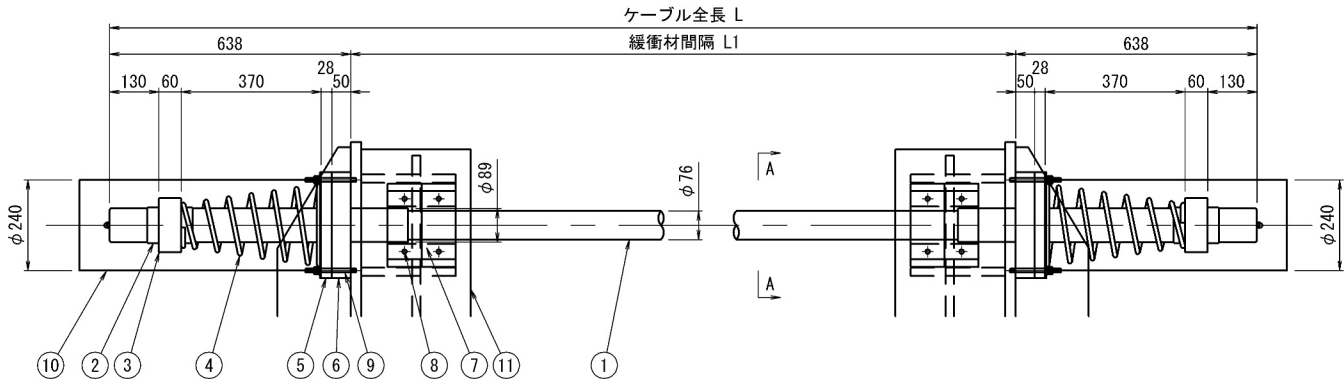
平面図



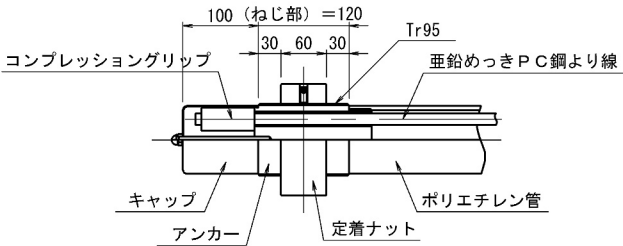
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 P3橋脚 落橋防止構造図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

下り線 P-920

落橋防止構造 P-920



ケーブル端部詳細図 S=1:10

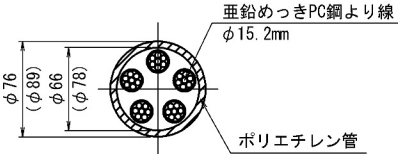


ケーブルの仕様

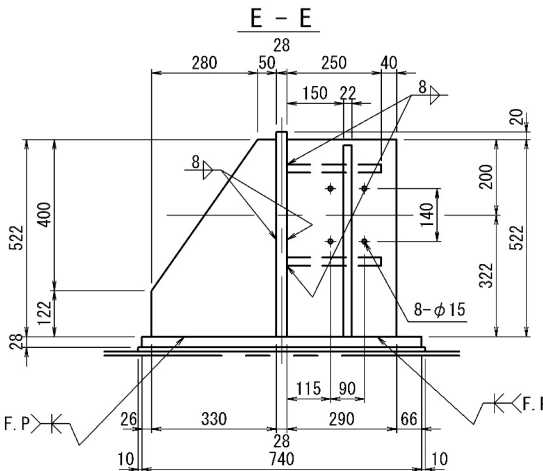
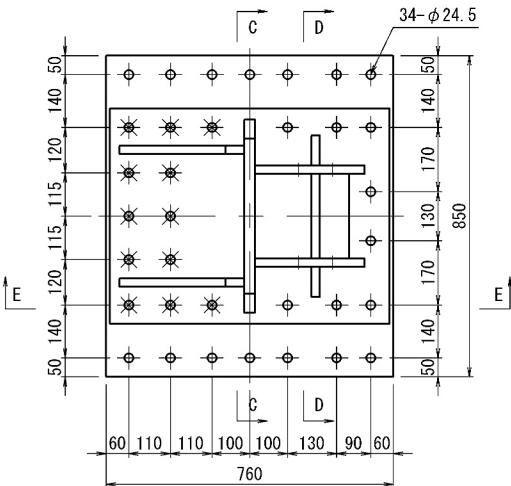
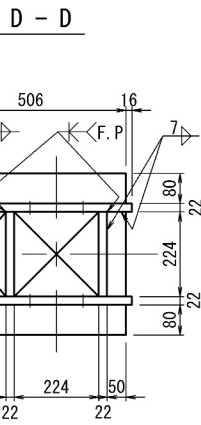
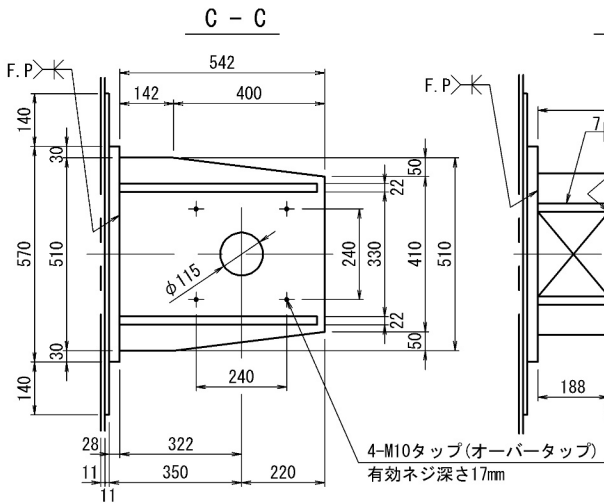
呼 称	P-920
構 成	5S15.2G
引張荷重	1305kN
降伏荷重	1110kN
公称断面積	693.5mm ²
定着部最大径	φ95mm

ケーブル断面図 (A-A) S=1:6

() 内は、オーバーラップ管を示す。



11) ブラケット



1-PL 850×11×760 (SS400)

1-PL 570×28×740 (SM400A)

1-PL 510×28×542 (SM400A)

2-PL 290×22×522 (SM400A)

2-PL 330×22×522 (SM400A)

2-PL 224×22×250 (SM400A)

2-PL 80×22×506 (SM400A)

1-PL 50×22×224 (SM400A)

12) 8-TCB M22×125 (S10T, 1-ワッシャー)

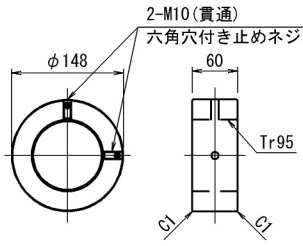
13) 12-TCB M22×130 (S10T, 2-ワッシャー)

14) 14-TCB M22×70 (S10T, 1-ワッシャー)

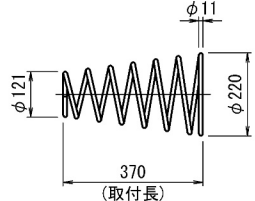
※ 印部は、2-ワッシャーとする。

	L	L1	本数
G2桁	5154	3878	2本
G3桁	5464	4188	2本

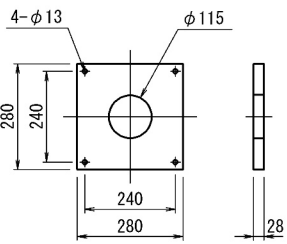
3) 定着ナット S=1:10



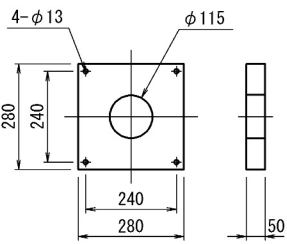
4) スプリング



5) 支圧板

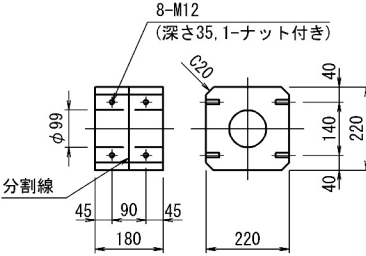


6) 緩衝材



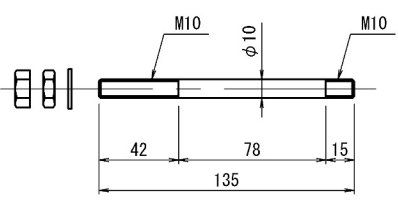
7) 偏向具

8-M12取付ボルト付 (8)

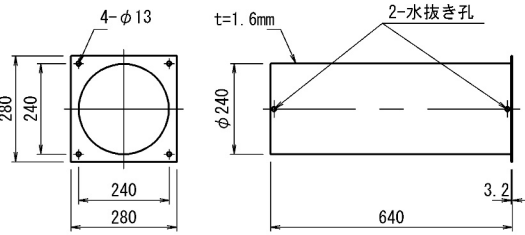


9) 定着部取付ボルト S=1:4

1種ナット, 3種ナット, ワッシャー各1個付



10) 定着部カバー (B-M型)



数 量 表 (ケーブル1本当たり)

合計:4本

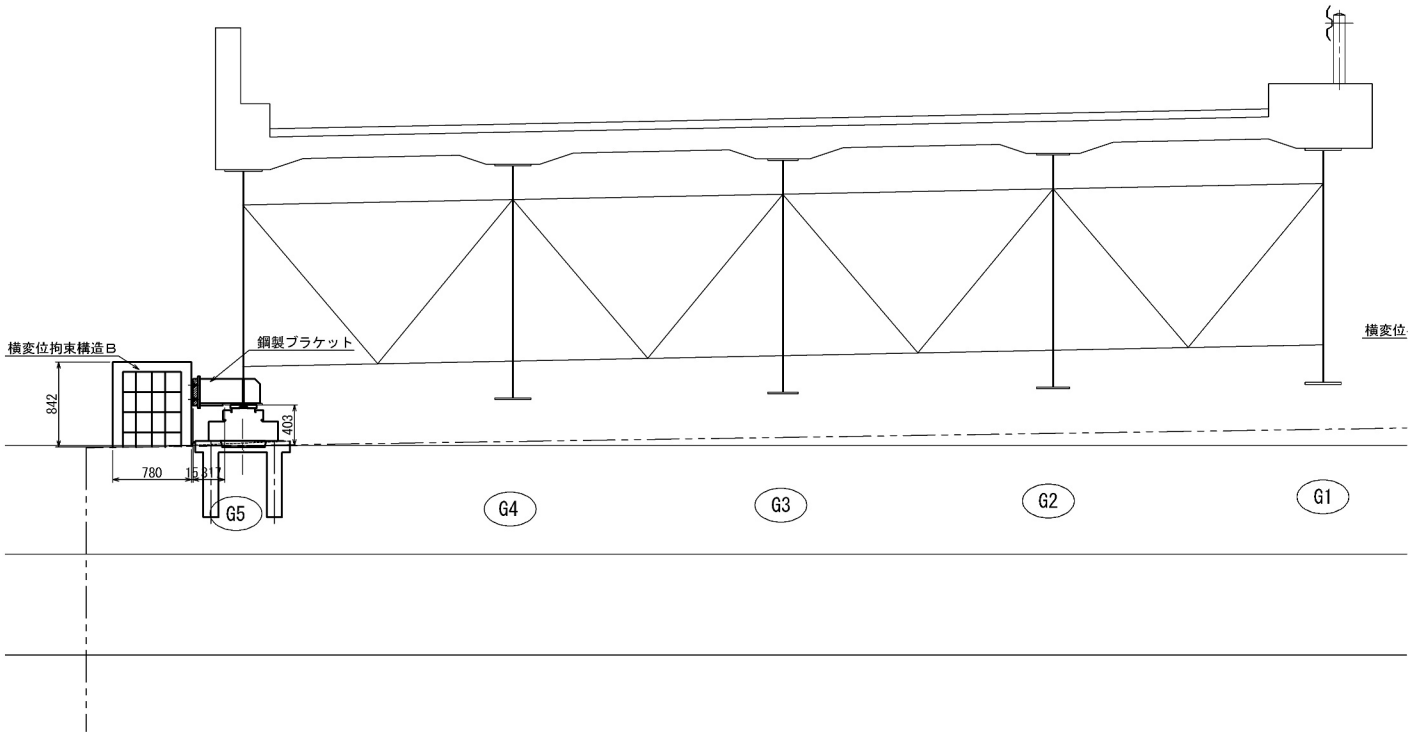
項 目	規格・寸法	単位	数量	摘 要
1) ケーブル	1300kNタイプ, 全長L	本	1	5S15.2G (垂鉛めっきPC鋼より線)
2) アンカー	φ95×120	個	2	S45CN, 溶融垂鉛めっき (HDZT49) (ケーブルに組込)
3) 定着ナット	φ148×60	個	2	S45CN, 溶融垂鉛めっき (HDZT49), 止めネジ付
4) スプリング	取付長=370	個	2	SWOSC-B, SUP9, もしくは相当品, ポリエステル粉体塗装
5) 支圧板	280×28×280	個	2	SS400, 溶融垂鉛めっき (HDZT77)
6) 緩衝材	280×50×280	個	2	クロロブレンゴム 硬度 (55±5°)
7) 偏向具	220×220×180	組	2	ポリエチレン
8) 偏向具取付ボルト	M12×50	本	16	ステンレス (ゆるみ止め加工品)
9) 定着部取付ボルト	φ10×135 (M10)	本	8	SWRCH相当品, 溶融垂鉛めっき (HDZT49)
10) 定着部カバー (B-M型)	φ240×640	個	2	SPHC, SS400, 溶融垂鉛めっき (HDZT49)
11) ブラケット	G1300kN用	組	2	ポリエチレン
12) TCB	M22×125	本	16	S10T, 1-ワッシャー
13) TCB	M22×130	本	24	S10T, 2-ワッシャー
14) TCB	M22×70	本	28	S10T, 1-ワッシャー

注記)
1. スプリングの取付長は設計基準温度時の値とする。
2. ケーブルは、現地実測後製作すること。

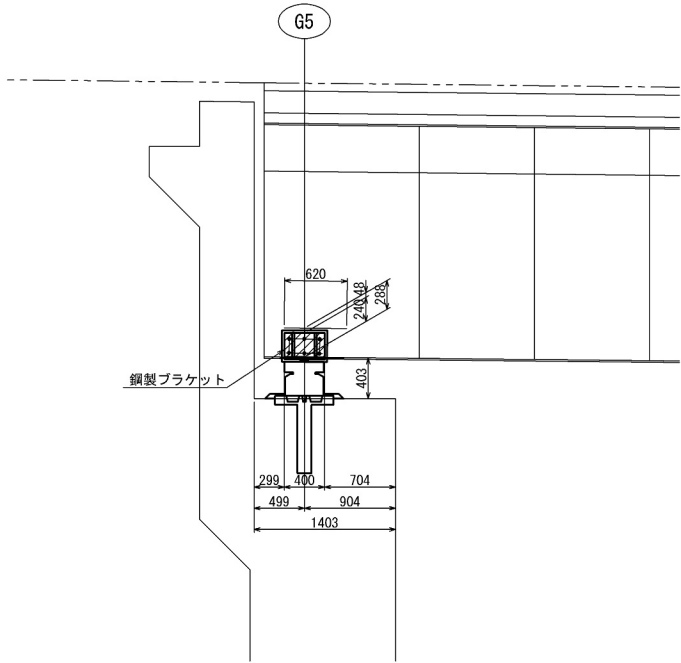
八 戸 自 動 車 道 櫛引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋	P3橋脚 落橋防止構造図 (その4)	
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 A1橋台
横変位拘束構造 B 配置図

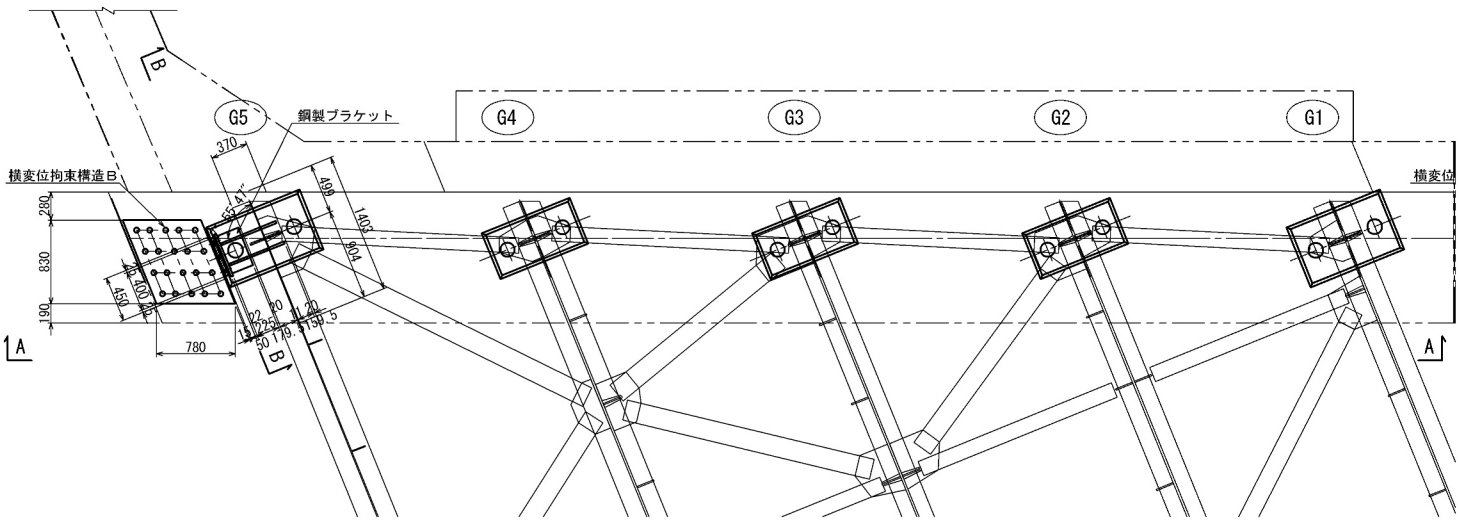
正面図 (A-A)



側面図 (B-B)



平面図



横変位拘束構造数量表 A1橋台(上り線)

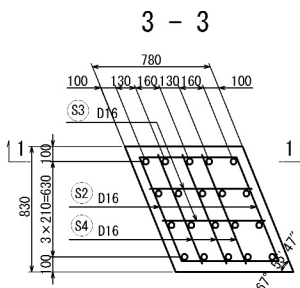
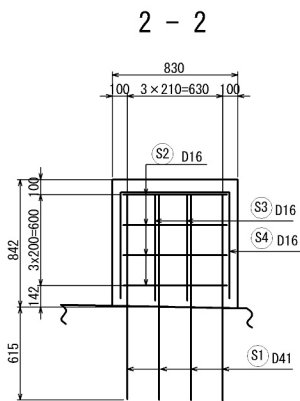
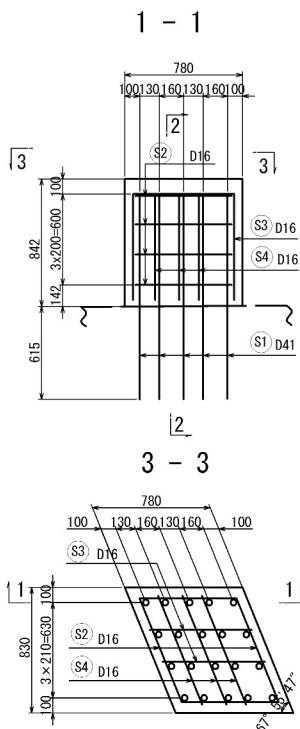
単価表の項目		単位	数量	摘要
横変位拘束構造 B		箇所	1	
数量内訳表				
種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1ー5		m ³	0.5	
鉄筋A	SD345	t	0.326	
型わくD		m ²	2.8	
アンカー工	φ51,L=625mm	本	20	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	88	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探索を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その1)		
縮尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 A1橋台
横変位拘束構造B 詳細図

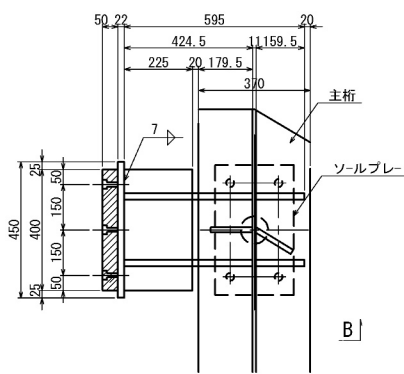
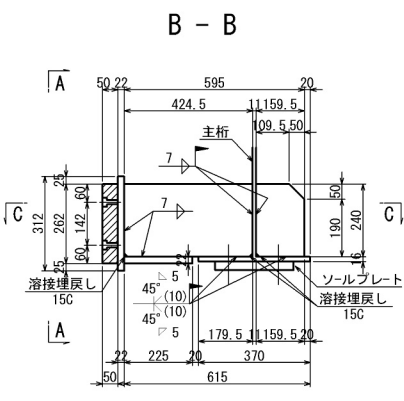
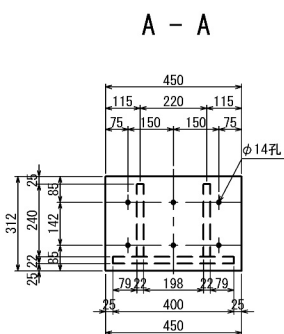
横変位拘束構造B 詳細図



鉄筋重量表

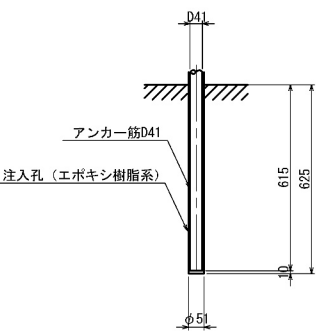
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	摘要
S1	D41	1360	20	10.500	14.28	286	1 2 3 4
S2	D16	1950	8	1.560	3.04	24	
S3	D16	2080	2	1.560	3.24	6	
S4	D16	2180	3	1.560	3.40	10	
					D41	286	kg
					D16	40	kg
				SD345	合計	326	kg

鋼製ブラケット詳細図 S=1 : 25

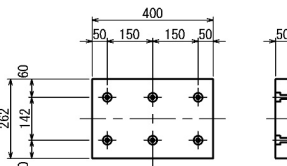


桁付ブラケット材料 1基当り (製作数: 1基)
1-Fig PL 312×22×450
1-Web PL 225×22×400
2-Rib PL 240×22×425
2-Rib PL 240×22×160

アンカー掘削孔詳細 S=1:25

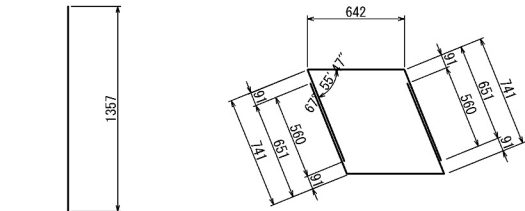
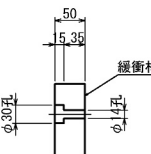


緩衝材詳細図 S=1 : 25



製作数: 1基
1-クロロブレンゴム 262×50×400 (硬度55° ±5° 程度)
6-BN M12×95 (SUS304) (1-W, 1-SW)

座くり孔詳細図 S=1:12.5



S1 20 - D41 × 1360

S2 8 - D16 × 1950

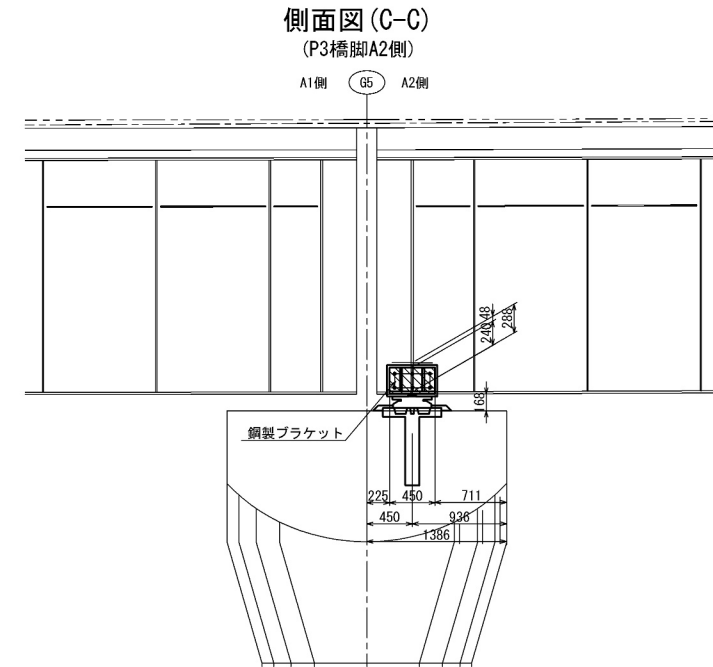
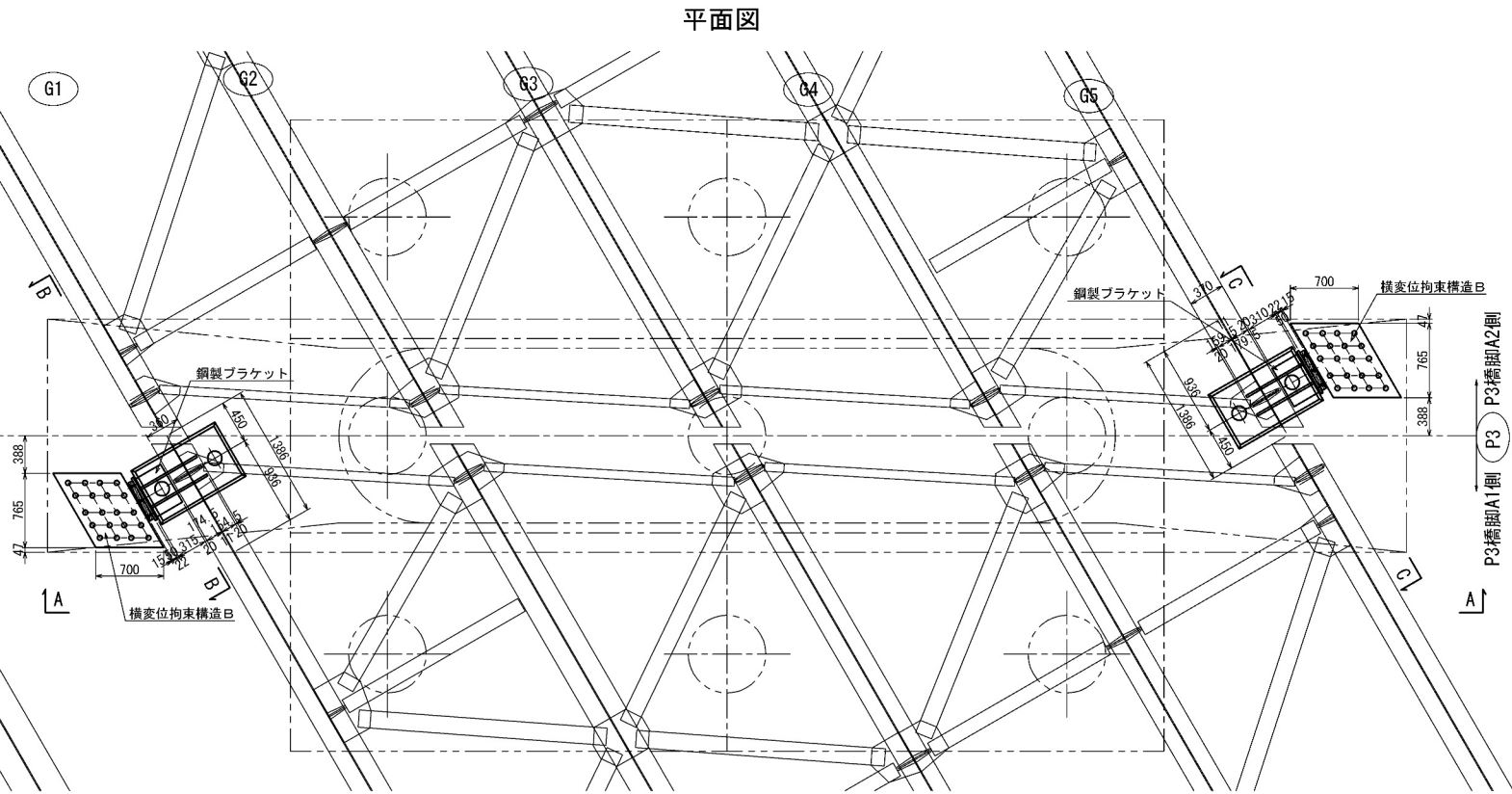
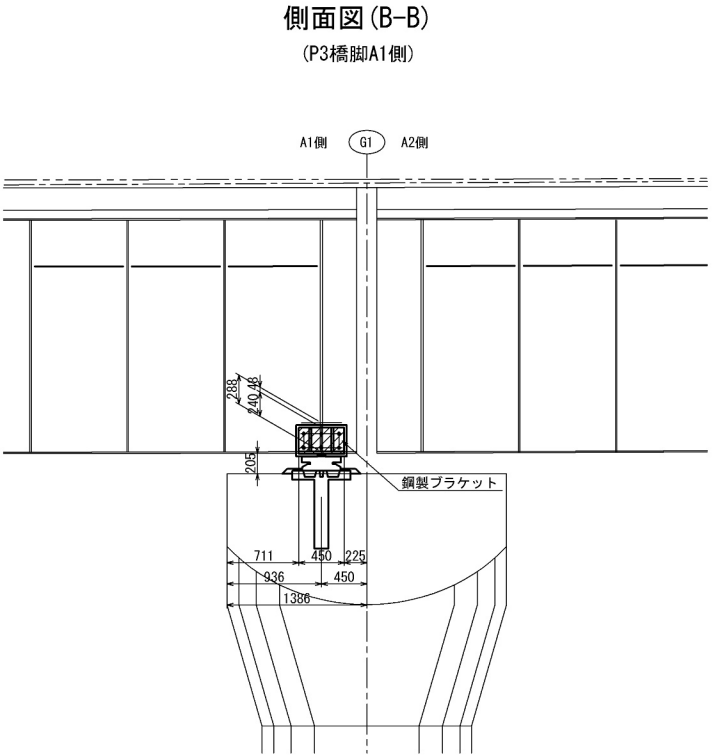
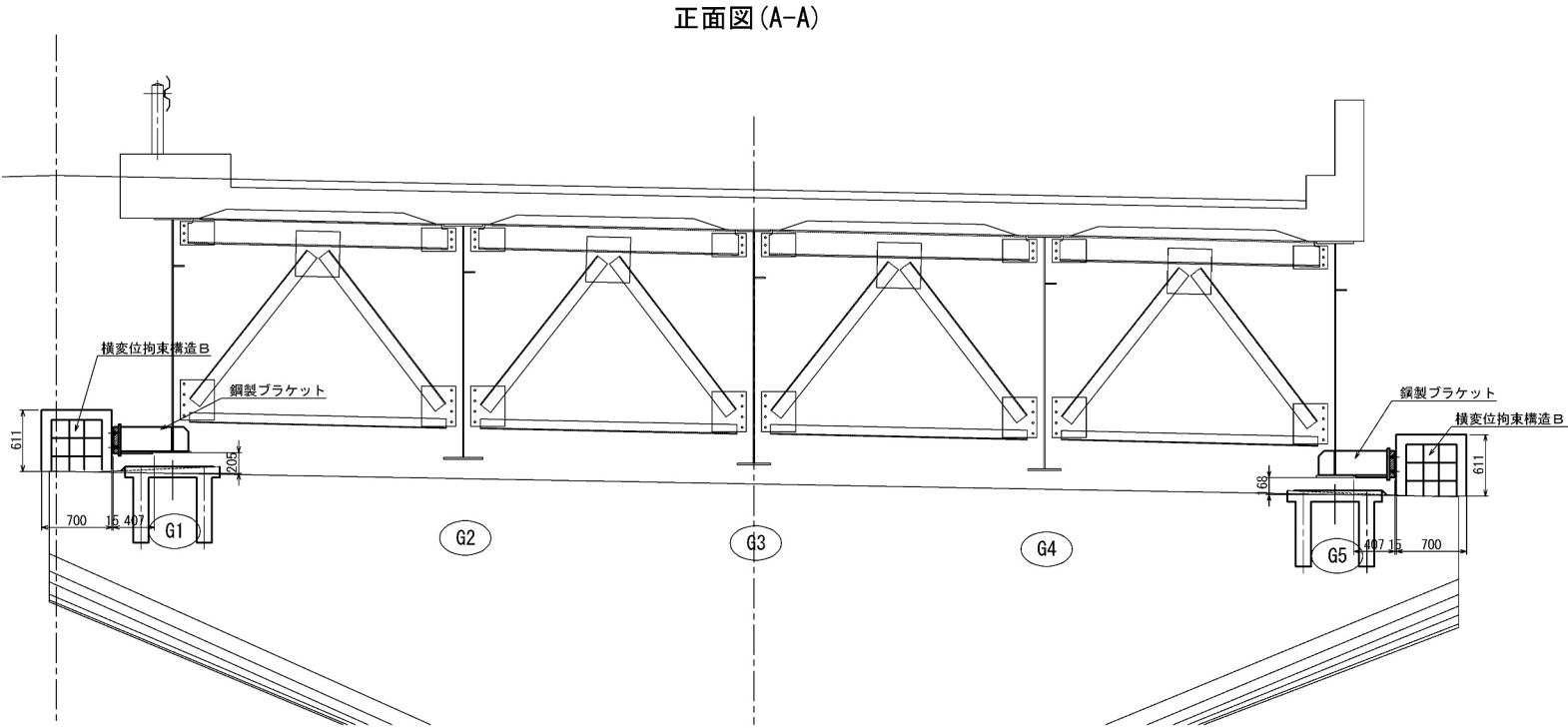
S3 2 - D16 × 2080

S4 3 - D16 × 2180

注記: 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 現地計測を行い、寸法を確認の上製作すること。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 P3橋脚
横変位拘束構造B 配置図



横変位拘束構造数量表 P3橋脚(上り線)

単価表の項目	単位	数量	摘要
横変位拘束構造 B	箇所	2	

P3橋脚A1側数量内訳表

種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1-5		m ³	0.3	
鉄筋A	SD345	t	0.266	
型わくD		m ²	1.9	
アンカー工	φ51,L=625mm	本	16	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	107	

P3橋脚A2側数量内訳表

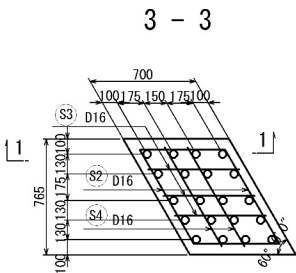
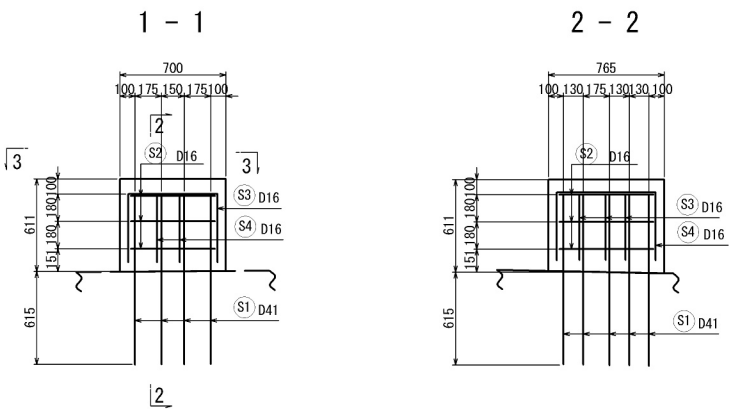
種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1-5		m ³	0.3	
鉄筋A	SD345	t	0.266	
型わくD		m ²	1.9	
アンカー工	φ51,L=625mm	本	16	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	106	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その3)		
縮尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 P3橋脚
横変位拘束構造B 詳細図

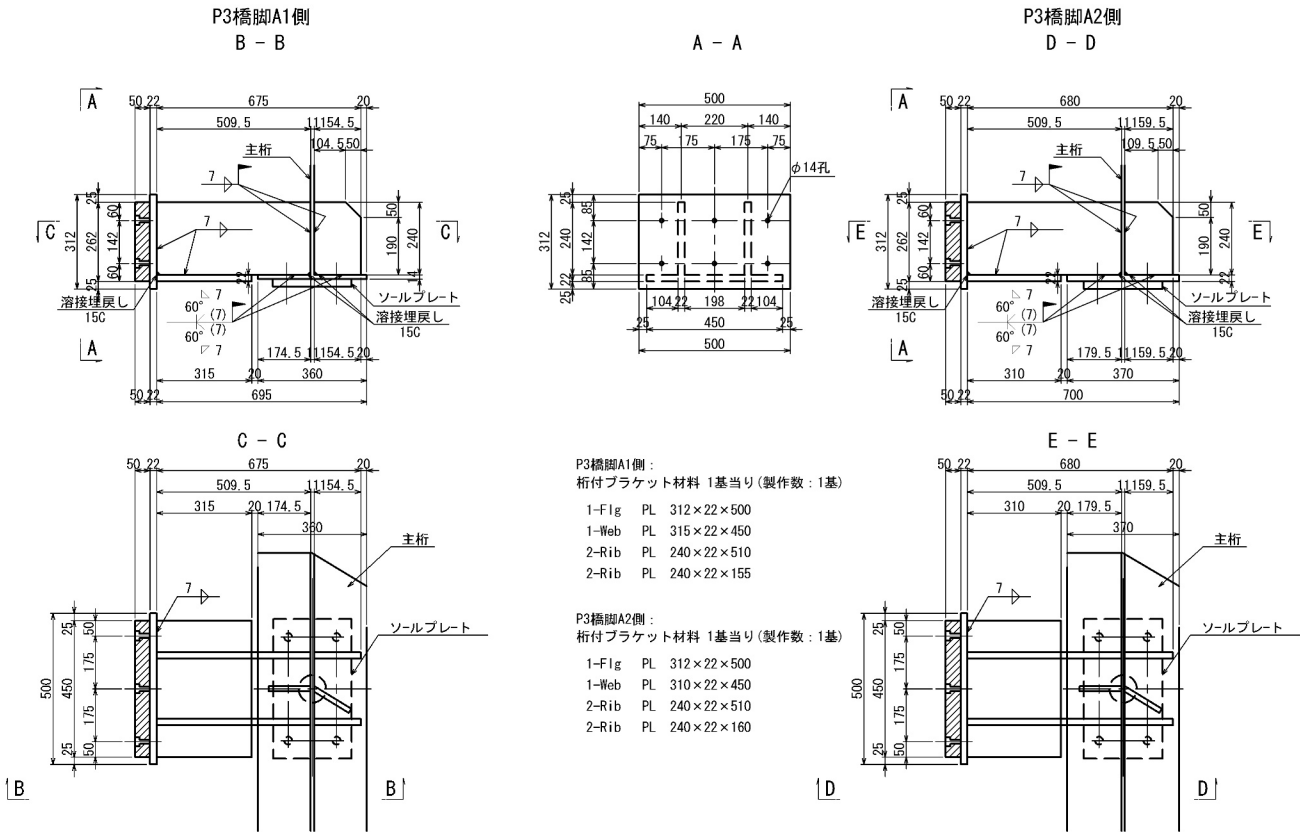
横変位拘束構造B詳細図



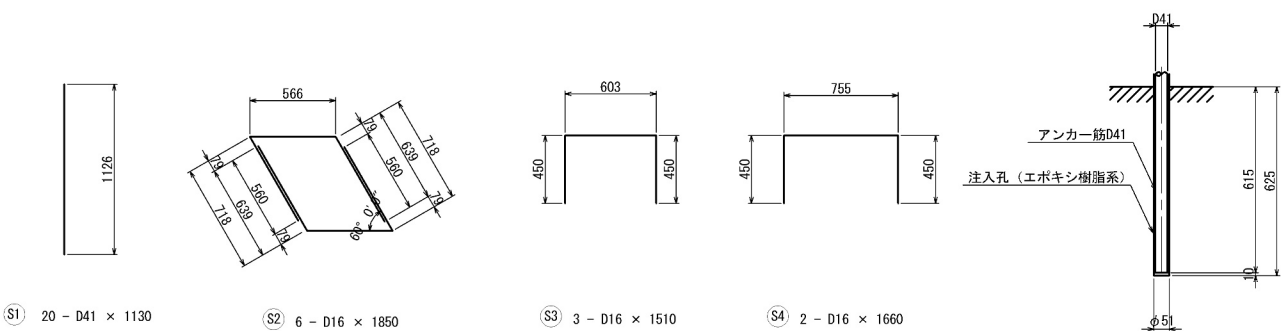
鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	摘要
S1	D41	1130	20	10.500	11.87	237	
S2	D16	1850	6	1.560	2.89	17	
S3	D16	1510	3	1.560	2.36	7	
S4	D16	1660	2	1.560	2.59	5	
					D41	237	kg
					D16	29	kg
					SD345	合計	266 kg

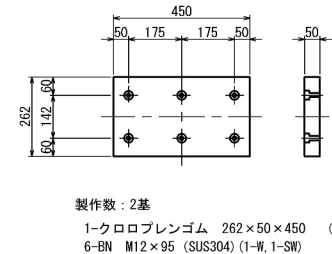
鋼製ブラケット詳細図 S=1:25



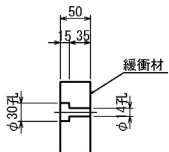
アンカー掘削孔詳細 S=1:25



緩衝材詳細図 S=1:25



座くり孔詳細図 S=1:12.5

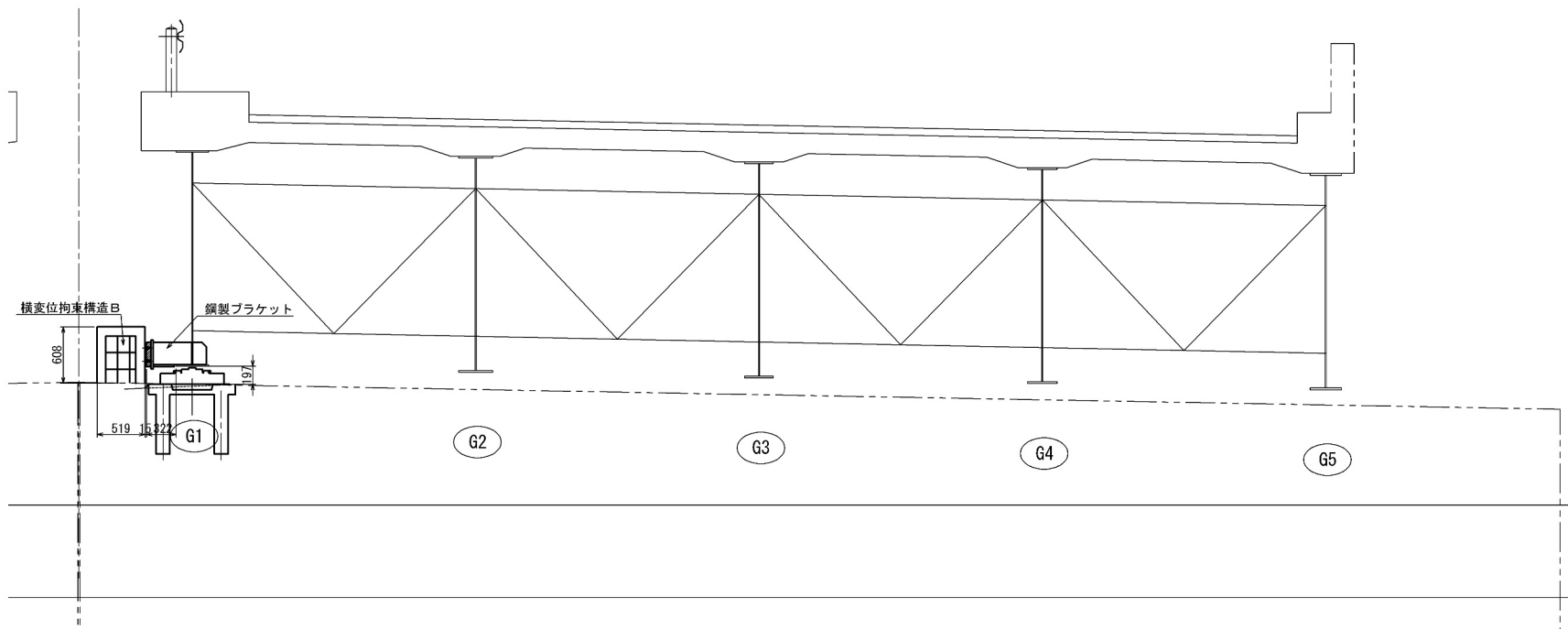


注記：1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 現地計測を行い。寸法を確認の上製作すること。

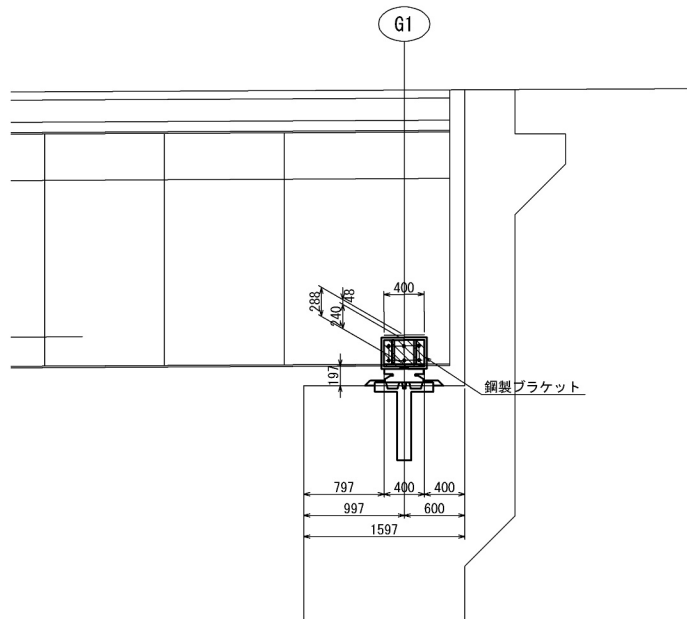
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

上り線 A2橋台
横変位拘束構造B 配置図

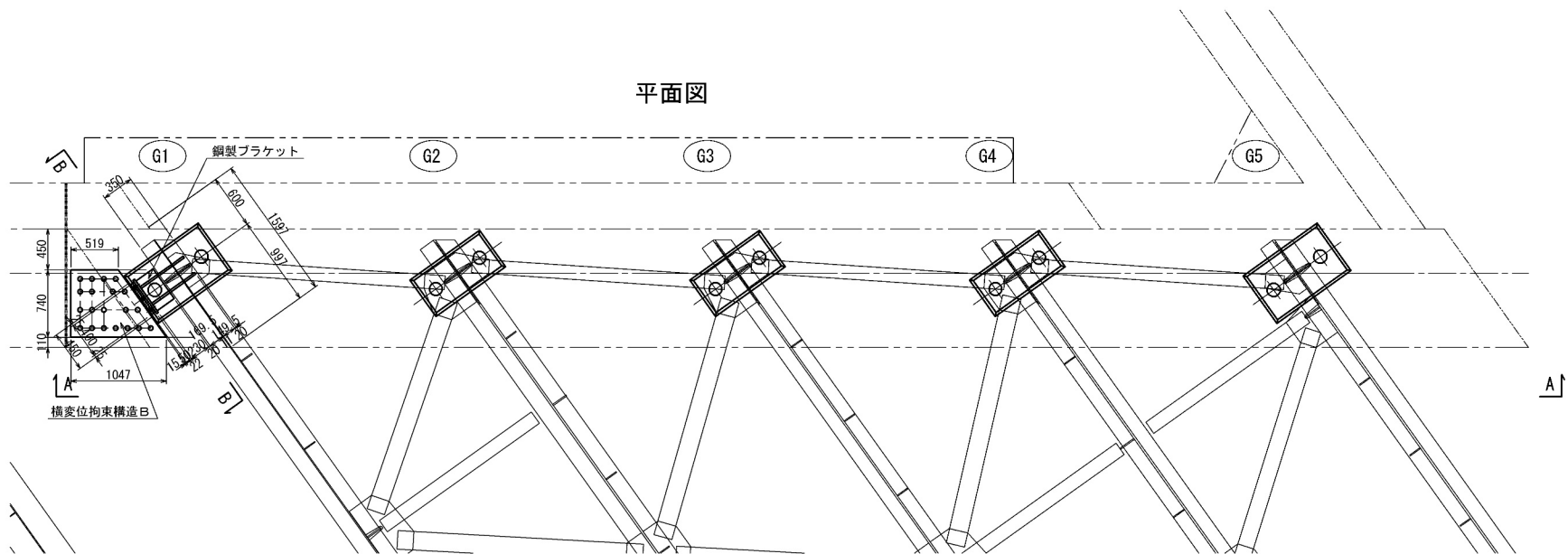
正面図 (A-A)



側面図 (B-B)



平面図



横変位拘束構造数量表 A2橋台(上り線)

単価表の項目	単位	数量	摘要
横変位拘束構造 B	箇所	1	

数量内訳表

種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1-5		m ³	0.4	
鉄筋A	SD345	t	0.268	
型わくD		m ²	1.9	
アンカー工	φ 51,L=625mm	本	20	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	87	

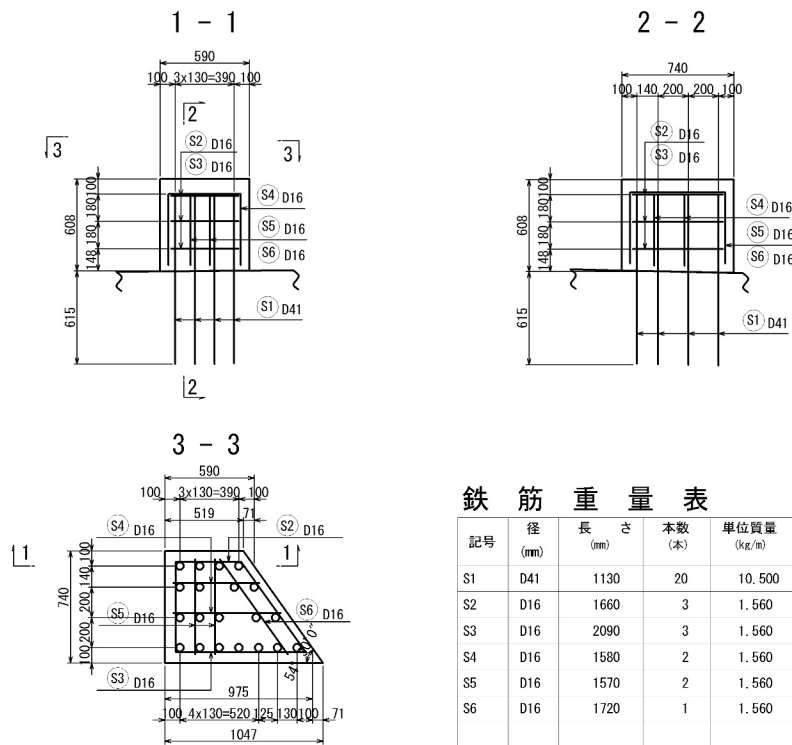
注記)

1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

八 戸 自 動 車 道 柳引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋		
	横変位拘束構造図(その5)		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

上り線 A2橋台
横変位拘束構造B 詳細図

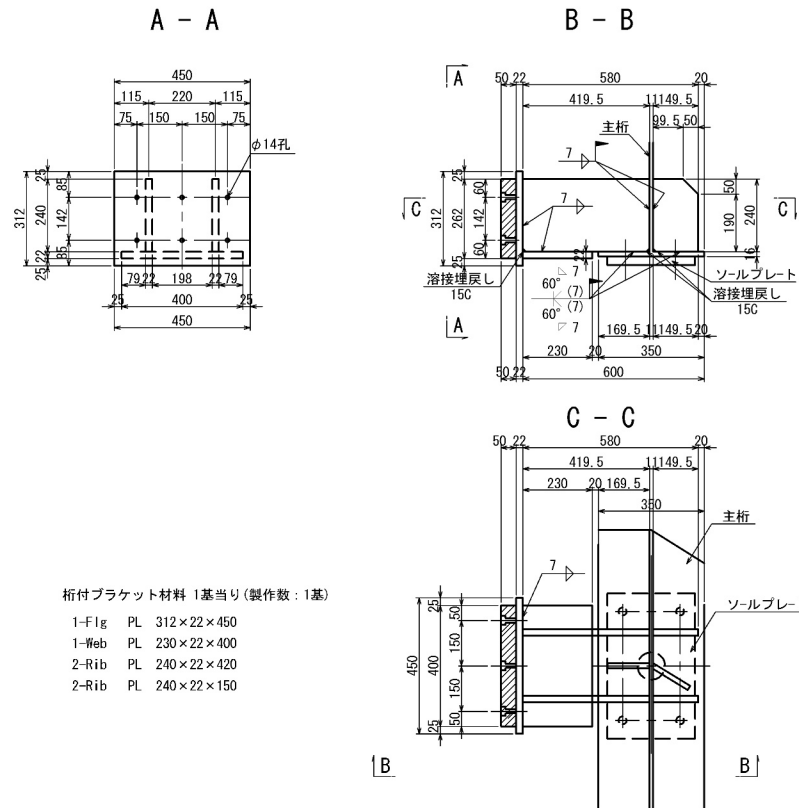
横変位拘束構造B詳細図



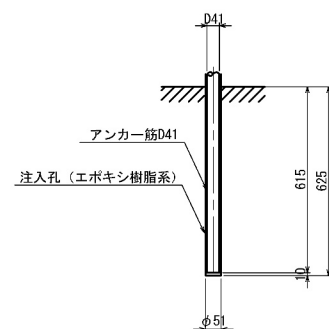
鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	摘要
S1	D41	1130	20	10.500	11.87	237	1
S2	D16	1660	3	1.560	2.59	8	     (平均値)
S3	D16	2090	3	1.560	3.26	10	
S4	D16	1580	2	1.560	2.46	5	
S5	D16	1570	2	1.560	2.45	5	
S6	D16	1720	1	1.560	2.68	3	
					D41	237	kg
					D16	31	kg
				SD345 合計		268	kg

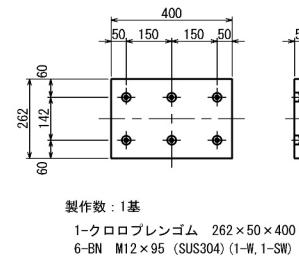
鋼製ブラケット詳細図 S=1 : 25



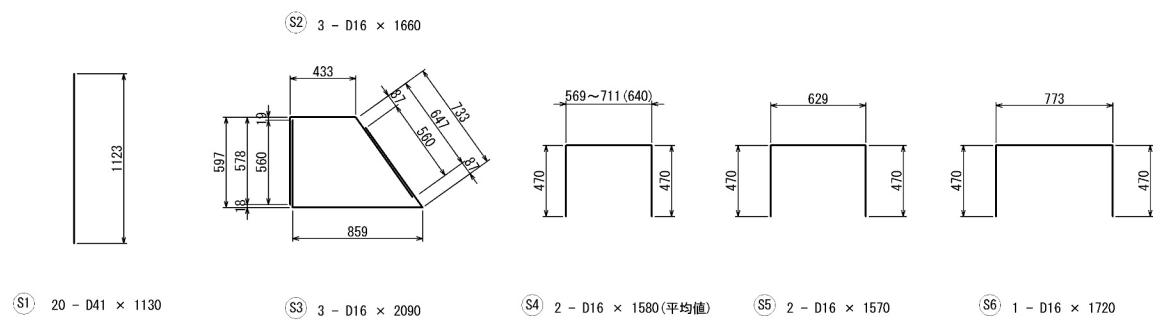
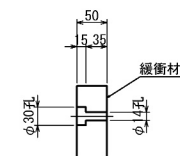
アンカー掘削孔詳細 S=1:25



緩衝材詳細図 S=1 : 25



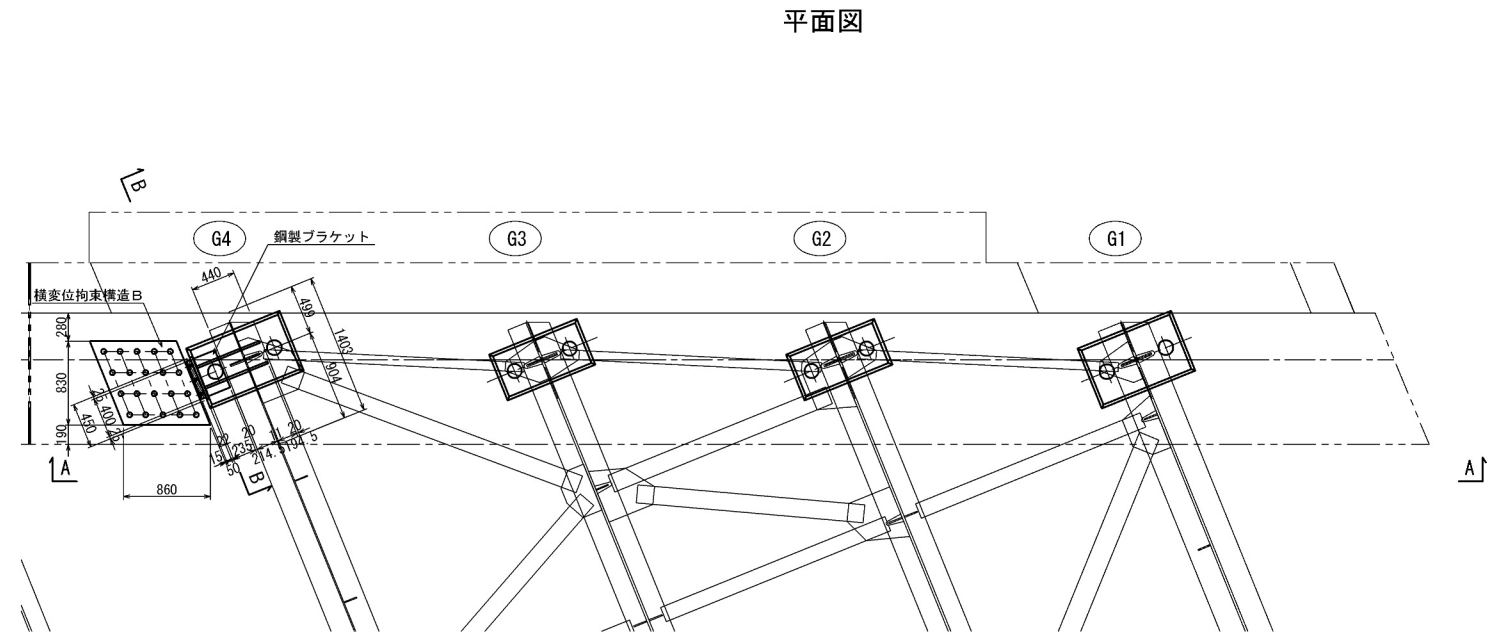
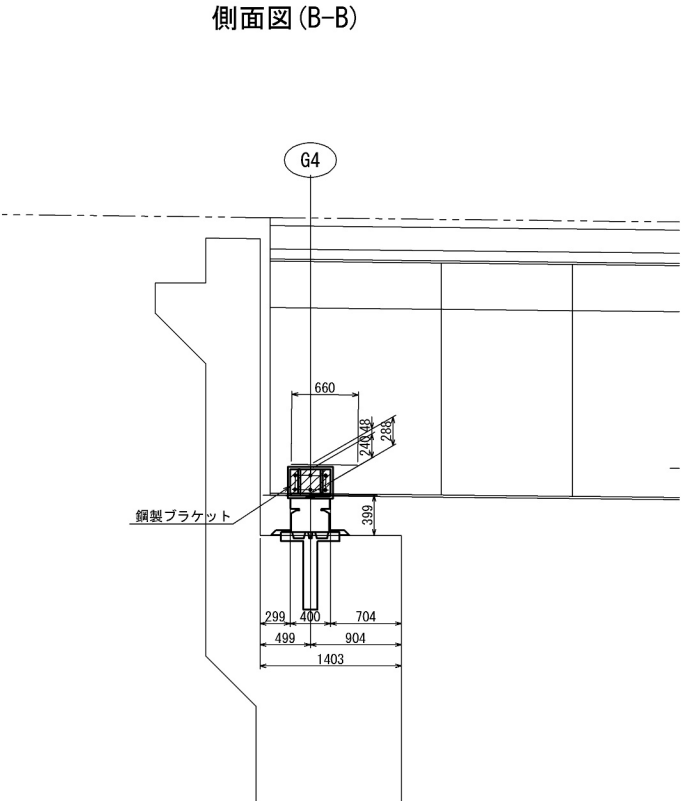
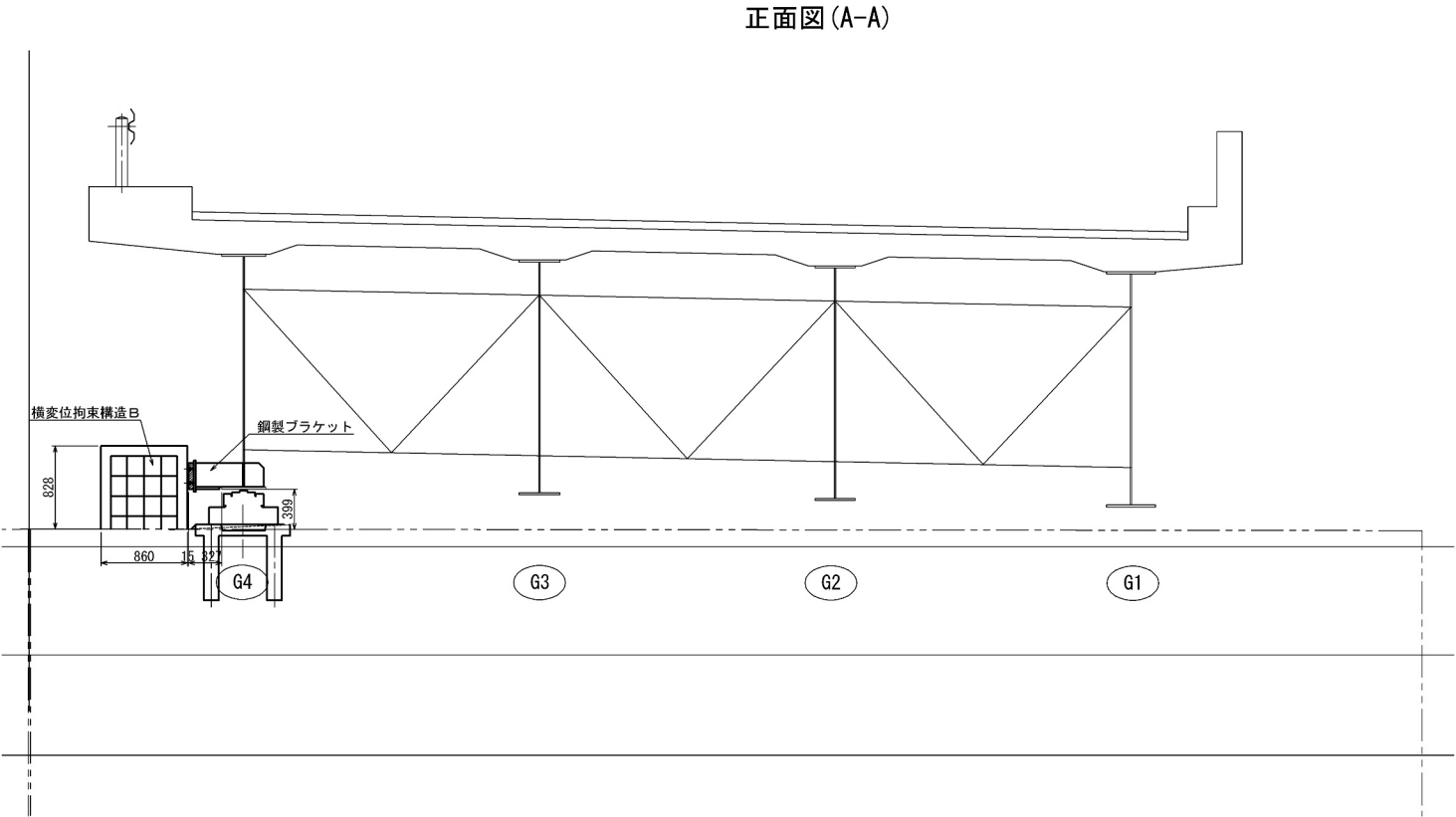
座くり孔詳細図 S=1:12.5



注記：1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 現地計測を行い、寸法を確認の上製作すること。

八戸自動車道 楢引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 A1橋台
横変位拘束構造 B 配置図



横変位拘束構造数量表 A1橋台(下り線)

単価表の項目	単位	数量	摘要
横変位拘束構造 B	箇所	1	

数量内訳表

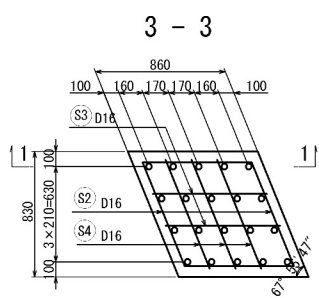
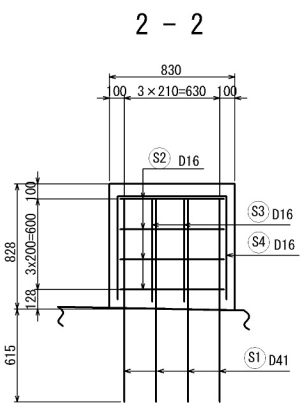
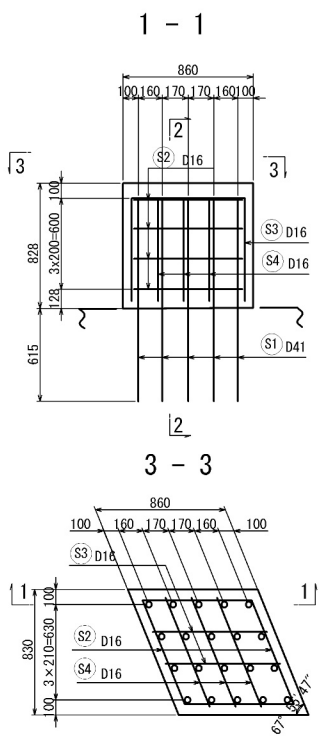
種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1ー5		m ³	0.6	
鉄筋A	SD345	t	0.326	
型わくD		m ²	2.9	
アンカー工	φ 51,L=625mm	本	20	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	95	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その7)		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

下り線 A1橋台
横変位拘束構造B 詳細図

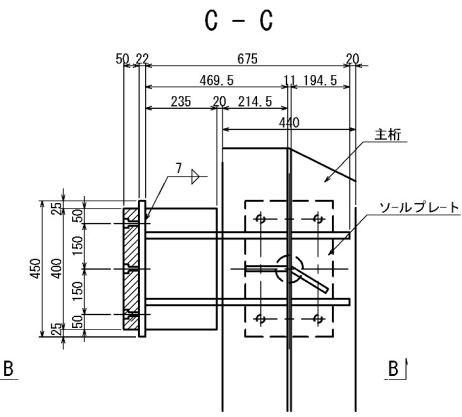
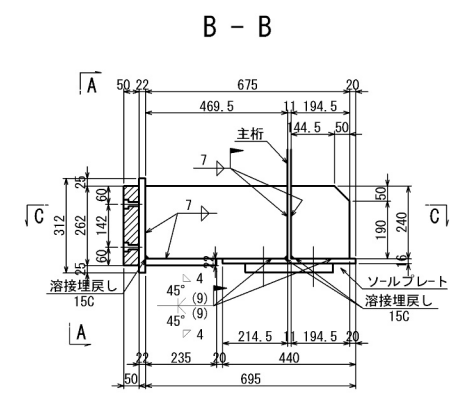
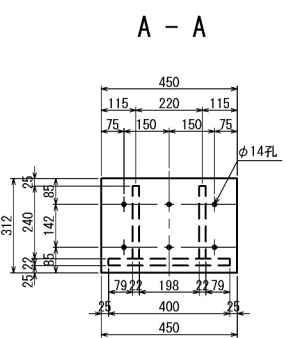
横変位拘束構造B 詳細図



鉄筋重量表

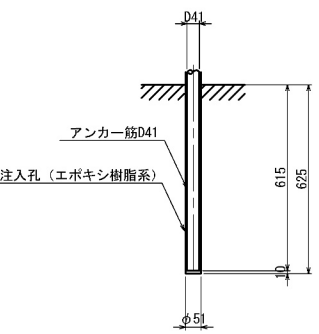
記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	摘要
S1	D41	1350	20	10.500	14.18	284	
S2	D16	2030	8	1.560	3.17	25	
S3	D16	2120	2	1.560	3.31	7	
S4	D16	2140	3	1.560	3.34	10	
					D41	284	kg
					D16	42	kg
				SD345	合計	326	kg

鋼製ブラケット詳細図 S=1:25

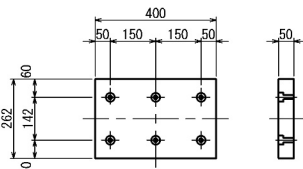


桁付ブラケット材料 1基当り (製作数: 1基)
1-Flg PL 312×22×450
1-Web PL 235×22×400
2-Rib PL 240×22×470
2-Rib PL 240×22×195

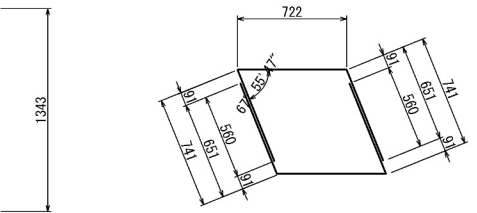
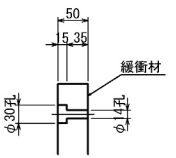
アンカー掘削孔詳細 S=1:25



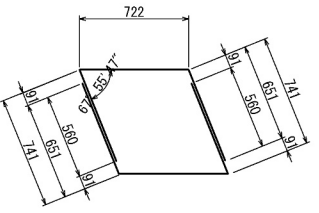
緩衝材詳細図 S=1:25



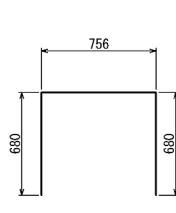
座くり孔詳細図 S=1:12.5



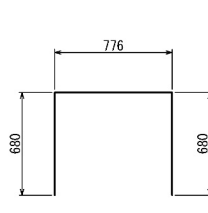
(S1) 20 - D41 × 1350



(S2) 8 - D16 × 2030



(S3) 2 - D16 × 2120



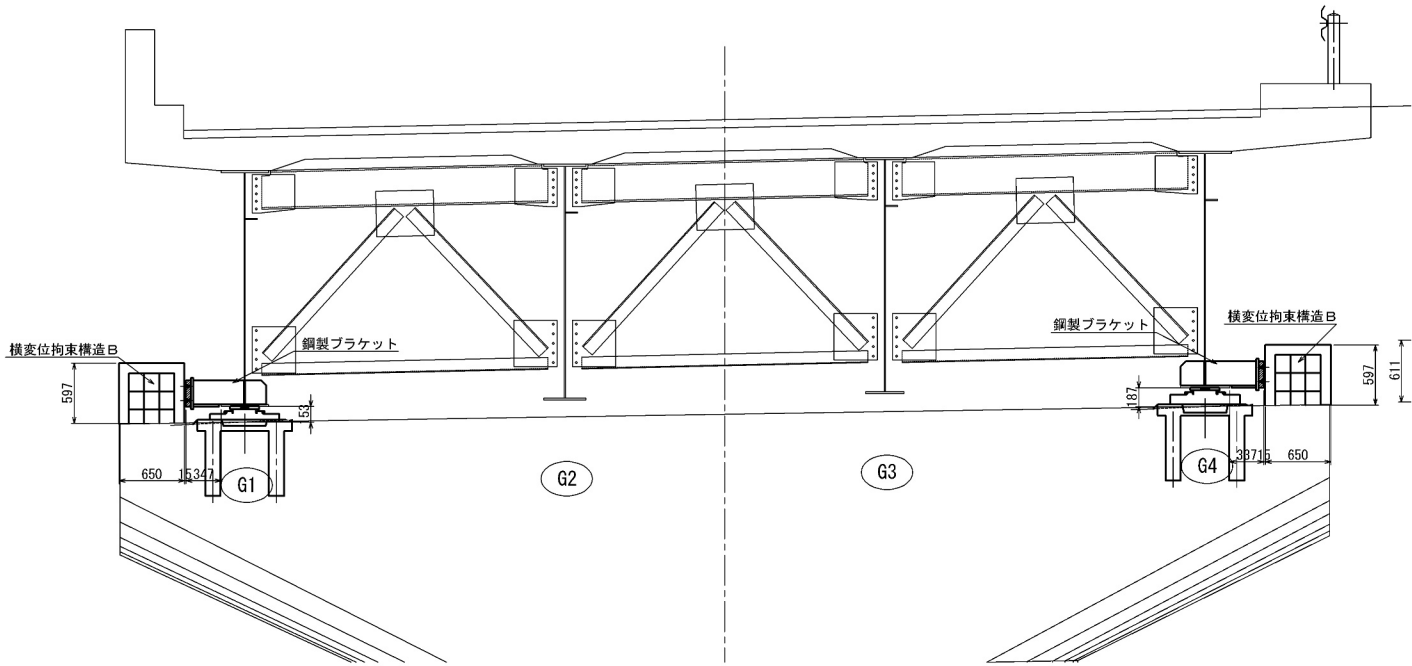
(S4) 3 - D16 × 2140

注記: 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 現地計測を行い。寸法を確認の上製作すること。

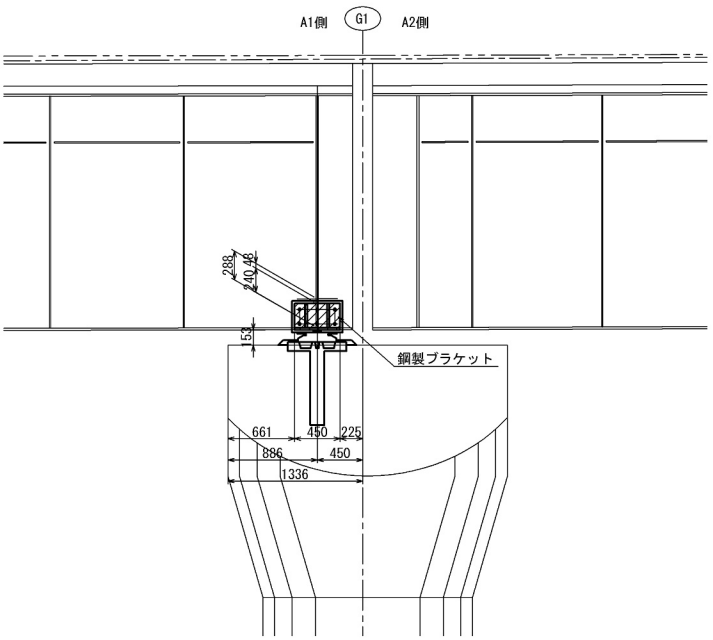
八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 P3橋脚
横変位拘束構造B 配置図

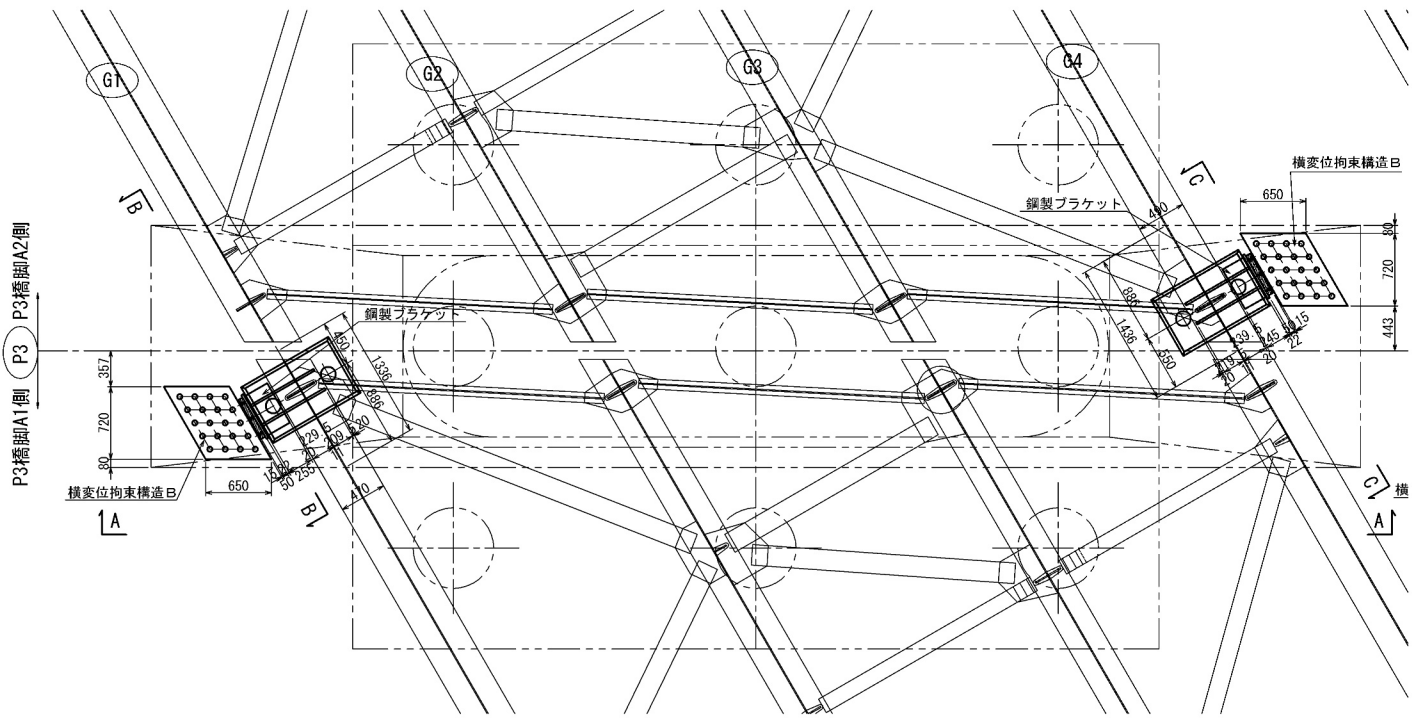
正面図 (A-A)



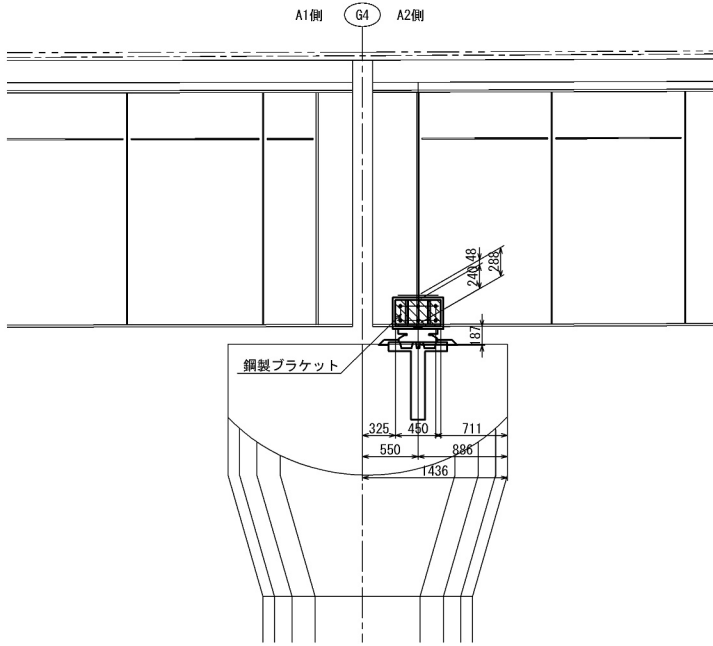
側面図 (B-B)
(P3橋脚A1側)



平面図



側面図 (C-C)
(P3橋脚A2側)



横変位拘束構造数量表 P3橋脚(下り線)

単価表の項目	単位	数量	摘要
横変位拘束構造 B	箇所	2	

P3橋脚A1側数量内訳表

種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1-5		m ³	0.3	
鉄筋A	SD345	t	0.284	
型わくD		m ²	1.8	
アンカー工	φ51.L=625mm	本	20	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	106	

P3橋脚A2側数量内訳表

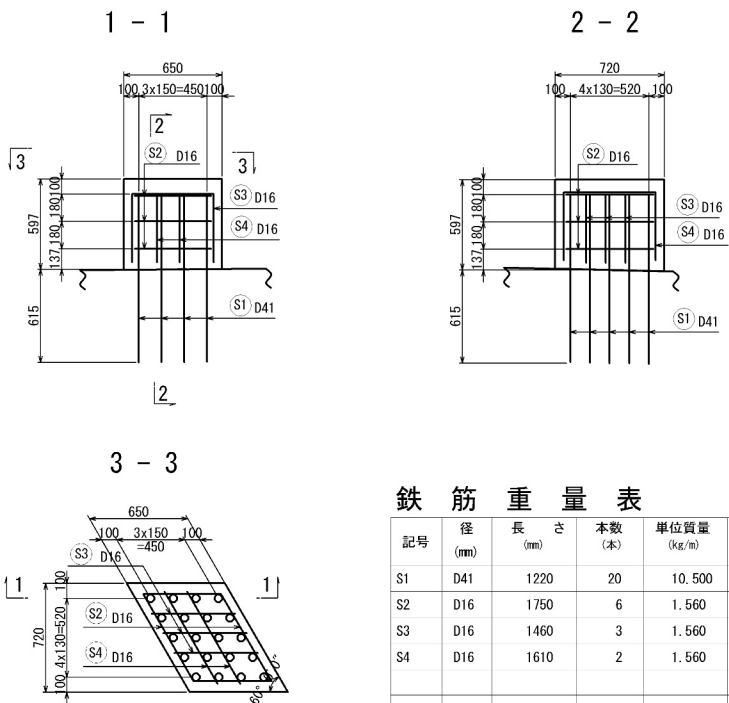
種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1-5		m ³	0.3	
鉄筋A	SD345	t	0.284	
型わくD		m ²	1.8	
アンカー工	φ51.L=625mm	本	20	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	106	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その9)		
縮尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 P3橋脚
横変位拘束構造B 詳細図

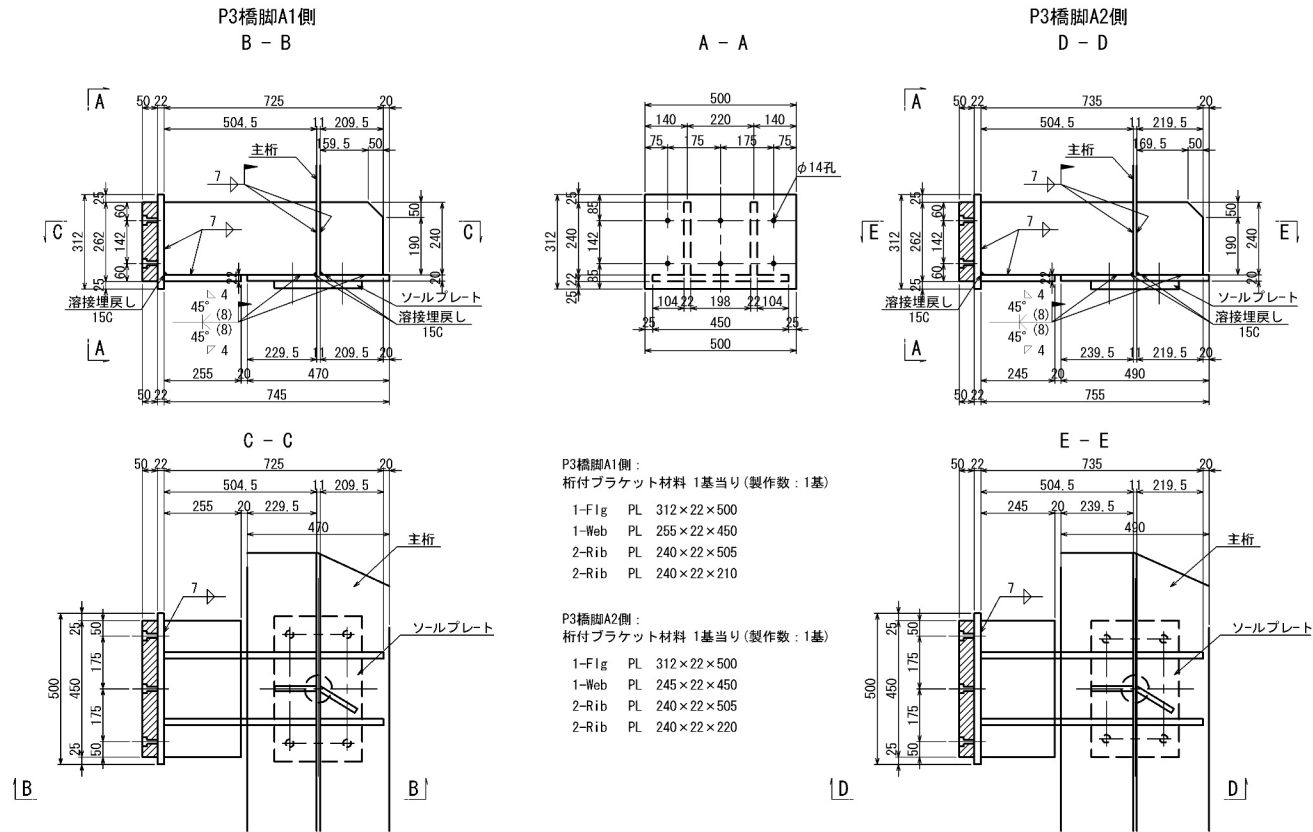
横変位拘束構造B詳細図



鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	重量 (kg)	摘要
S1	D41	1220	20	10.500	12.81	256	
S2	D16	1750	6	1.560	2.73	16	
S3	D16	1460	3	1.560	2.28	7	
S4	D16	1610	2	1.560	2.51	5	
				D41		256	kg
				D16		28	kg
				SD345	合計	284	kg

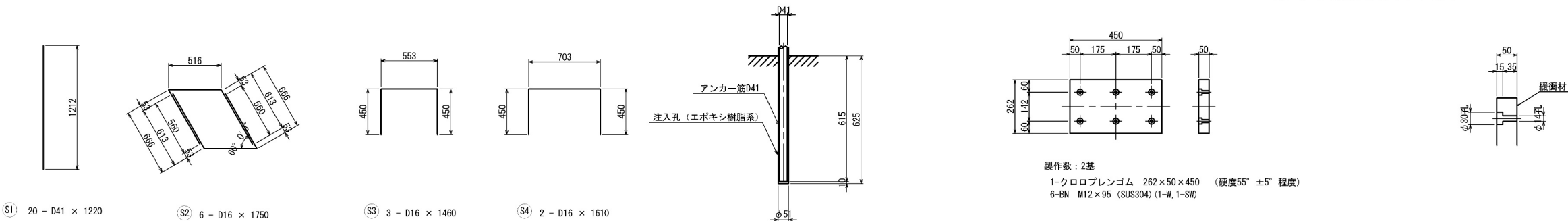
鋼製ブラケット詳細図 S=1:25



アンカー掘削孔詳細 S=1:25

緩衝材詳細図 S=1:25

座くり孔詳細図 S=1:12.5

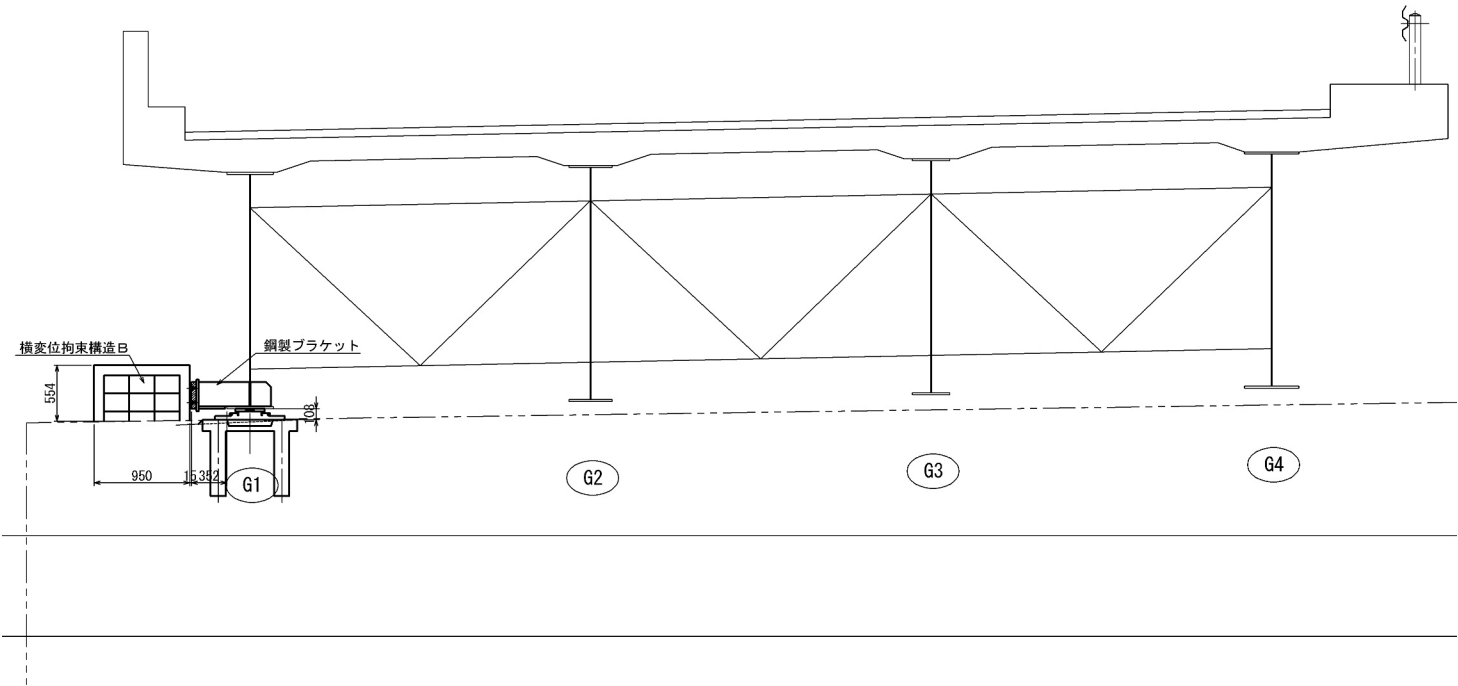


注記：1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 現地計測を行い、寸法を確認の上製作すること。

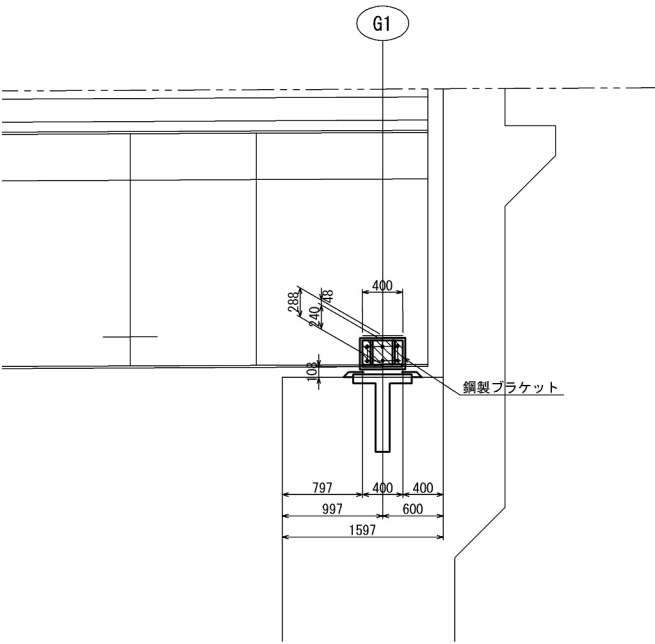
八戸自動車道 柵引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その10)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		

下り線 A2橋台
横変位拘束構造B 配置図

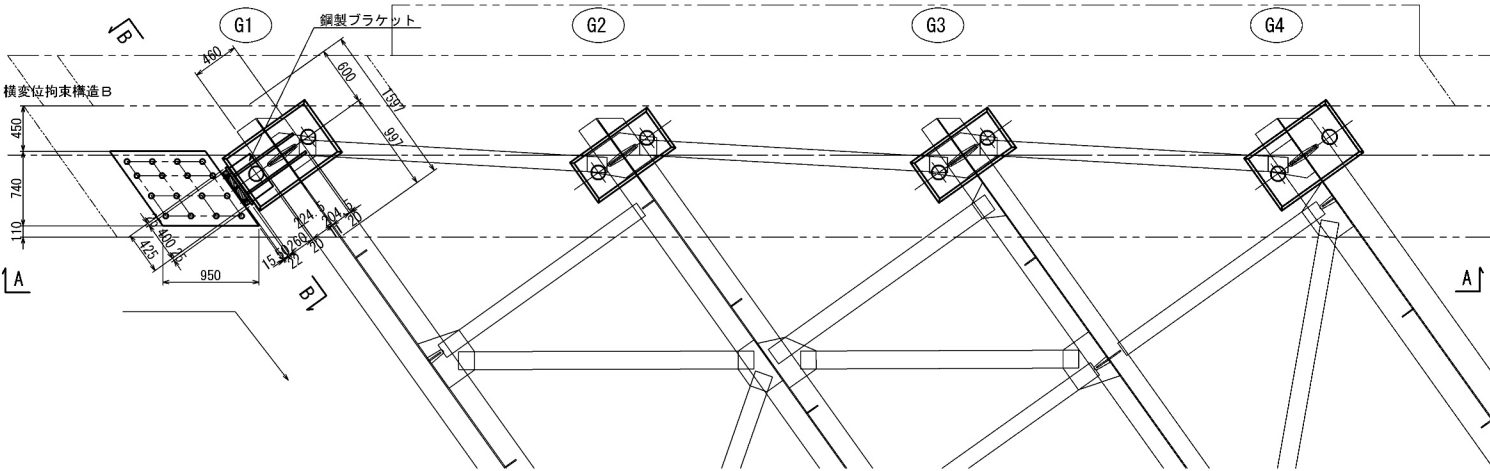
正面図 (A-A)



側面図 (B-B)



平面図



横変位拘束構造数量表 A2橋台(下り線)

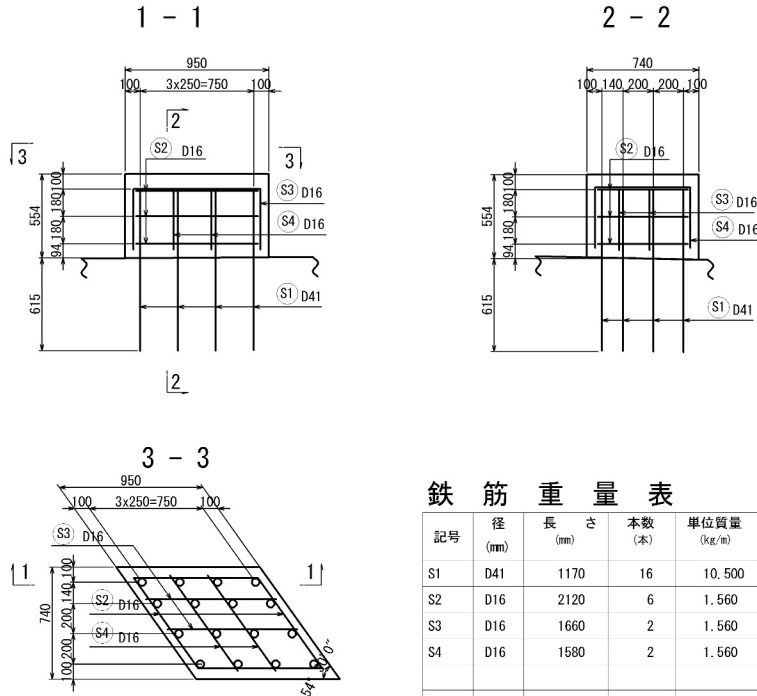
単価表の項目		単位	数量	摘要
横変位拘束構造 B		箇所	1	
数量内訳表				
種別	規格	単位	数量	摘要
コンクリートA1ー5		m ³	0.4	
鉄筋A	SD345	t	0.227	
型わくD		m ²	2.1	
アンカー工	φ51,L=625mm	本	16	鉛直方向
鋼製ブラケット	SM400A	kg	101	

注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。
2. 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、アンカーボルト位置の調整を行うこと。

八戸自動車道 楢引馬瀬川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横変位拘束構造図(その11)		
縮 尺	1:75	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八 戸 管 理 事 務 所		

横変位拘束構造B 詳細図

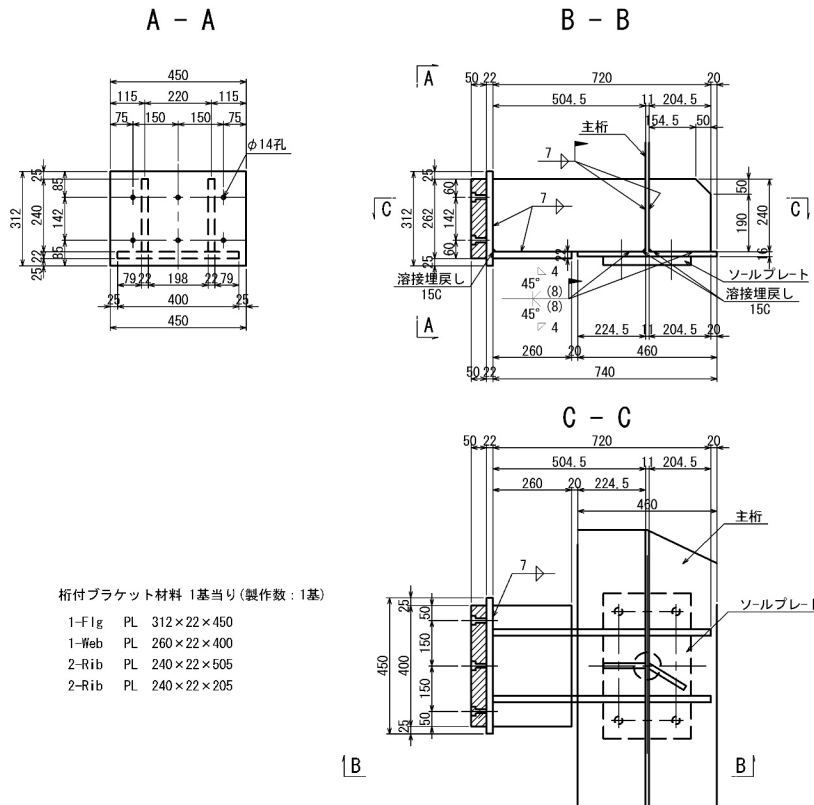
横変位拘束構造B詳細図



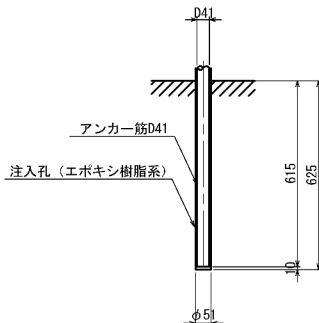
鉄筋重量表

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	重 量 (kg)	摘 要
S1	D41	1170	16	10.500	12.29	197	┆
S2	D16	2120	6	1.560	3.31	20	≡
S3	D16	1660	2	1.560	2.59	5	┐
S4	D16	1580	2	1.560	2.46	5	└
					D41	197	kg
				SD345	D16 合計	30 227	kg kg

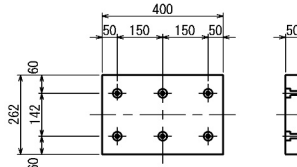
鋼製ブラケット詳細図 S=1 : 25



アンカー掘削孔詳細 S=1:25

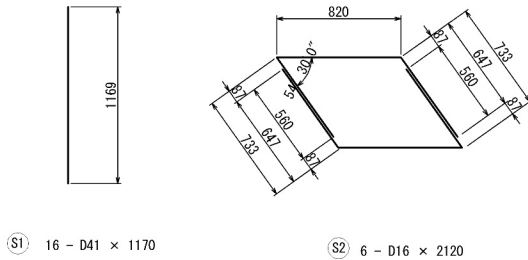
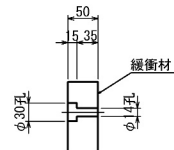


緩衝材詳細図 S=1 : 25



製作数：1基
1-クロロブレンゴム 262×50×400 (硬度55° ±5° 程度)
6-BN M12×95 (SUS304) (1-W, 1-SW)

座くり孔詳細図 S=1:12.5



注記：1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 現地計測を行い。寸法を確認の上製作すること。

八戸自動車道 柳引馬淵川橋耐震補強工事			
図面の種類	奥入瀬川橋 横梁位拘束構造図(その12)		
縮 尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社オリエントコンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 八戸管理事務所		